

平成26年度
授業改善のための学生アンケート報告書

- 全体集計 -

第 部

平成27年3月

拓殖大学 F D委員会

はじめに

現代社会の大学教育に対する厳しい評価に対応し、斬新で充実した教育実現への要望に応えるために、我が国の多くの大学で学生アンケートを実施し、その授業改善への活用がなされております。

本学では、他大学に先駆けて全学的な「授業改善のための学生アンケート」を実施してきました。アンケート結果にもとづく学生の意見や授業効果を分析し、これらを各種の教育改善につなげ、学生の学修意欲の向上、効果的学修の推進、国際化・情報化などに対応した教育方法の工夫・改善等に積極的に取り組んでまいりました。

また、平成19年度からは、各学部の「FD委員会」に加えて、全学的な「FD委員会」を設置し、アンケート結果に基づいた授業改善の方策を検討しております。

本報告書は、昨年度同様に、平成26年度に実施した「授業改善のための学生アンケート」について、「全体集計」(第 部)と、「科目別集計」(第 部)の2分冊としました。第 部には「科目別集計(個表)」の形で授業評価に参加した全教員のデータとともに、学生の主な意見、ならびにこれに対する担当教員の所見を掲載しています。さらに、「分野別集計」を加え、学部・学科目別にきめ細かな評価分析を試みております。

本報告書を活用し、教員各位が今回のデータを過去のデータと比較検討し、他の教員や他学部の状況をも参考にしながら、今後の改善に役立てて下さるようお願いいたします。

大学・学部の教育目標の達成を目指して、学生の効果的学修のため、教育方法を工夫・改善されるよう願っています。

平成27年3月

拓殖大学 学長
高橋 敏夫

目 次

はじめに

学生アンケートの実施について

1．経緯と実施方針	3
2．実施状況	3
3．集計結果の概要	3
4．今後の課題	5

実施状況

1．実施期間	7
2．実施教員数	7
3．実施科目数	8
4．アンケート回答数（延べ人数）	8
5．学科目別実施科目数	8

全体集計

1．学科目別（講義等科目）平均値・標準偏差	1 1
2．教員所属別（講義等科目）平均値・標準偏差	
（1）専任教員所属別	1 2
（2）講師(非常勤)所属別	1 3
3．履修登録者数別比較表	1 4
4．設問項目ごとの集計結果（年度比較）	
（1）学科目別平均値	
商学部専門科目	1 5
政経学部専門科目	1 6
外国語学部専門科目	1 7
工学部専門科目（講義等科目、実験・実習科目別）	1 8
国際学部専門科目	2 0
教養教育科目	2 1
外国語科目	2 2
スポーツ・トレーニング科目	2 3
教職・社教・日語科目	2 4
ゼミ・外書講読科目	2 5
全体（講義等科目）	2 6
（2）学生所属別平均値・標準偏差（講義等科目）	
学年別	2 7
学科別	2 8
（3）満足度平均値	
学科目別	3 0

所属別	-----	3 1
身分別	-----	3 2
年齢別	-----	3 3
5. 学科目別 回答の分析	-----	3 4
6. 学部設問項目 平均値・標準偏差	-----	3 8

コース・分野・学科別集計

1. 商学部専門科目(コース別)	-----	4 1
2. 政経学部専門科目(分野別)	-----	4 2
3. 外国語学部専門科目(学科別)	-----	4 3
4. 工学部専門科目		
(1) 実験・実習科目(学科別)	-----	4 4
(2) 学科・学科目別(講義等科目)	-----	4 5
5. 国際学部科目		
(1) 英語群	-----	4 6
(2) 地域言語群	-----	4 7
(3) 基礎科目群	-----	4 8
(4) 専門共通科目	-----	4 9
(5) 専門コース科目	-----	5 0
6. 教養教育等科目		
(1) 講義等科目(群別)	-----	5 1
(2) 外国語科目(1 2カ国語)	-----	5 2
(3) スポーツ・トレーニング科目	-----	5 3
(4) 教職課程・社会教育主事講座科目、日本語教員養成基礎講座科目	-----	5 4

評価及び課題

1. 商学部	-----	5 7
2. 政経学部	-----	6 1
3. 外国語学部	-----	7 2
4. 工学部	-----	7 8
5. 国際学部	-----	8 5
6. 教養教育	-----	9 3
7. 教職課程・社会教育主事講座・日本語教員養成基礎講座科目	-----	1 0 9

参考資料

実施要領	-----	1 1 3
アンケート様式	-----	1 1 7
科目別集計様式	-----	1 2 3

学生アンケートの実施について

1．経緯と実施方針

拓殖大学における教育内容と方法の改善を目的とした組織的な取り組みは、1992年（平成4年）の拓殖大学自己点検評価委員会の設置から始まり、各学部自己点検評価委員会を設置、Plan・Do・check・actを実施するなかで教育改革に取り組んできました。具体的な取り組みは、1994年（平成6年）から始った「学生による授業評価（現・授業改善のための学生アンケート）」の実施、全学的なFDワークショップの開催、教育・研究等業績報告書の作成、新任教員研修会の開催、教員相互の授業参観の実施などです。このうち「授業改善のための学生アンケート」は、これら一連の教育改革の柱となるものであり、次のような特色を持っています。

（1）大学（5学部）全体の取り組みとして実施していること。

（2）全教員が参加していること

（平成26年度は講師（非常勤）を含め99.2%の実施率）。

（3）授業科目ごとの集計表には、統計処理したデータだけでなく学生からの要望・担当教員の所見及び改善に向けた取り組み方針を記載し、改善に向けて取り組んでいること。

（4）結果を広く学内外に公開し、全教員が参照できるようにしていること。

平成26年度「授業改善のための学生アンケート」の変更点は、隔年実施で後期（平成26年11月17日～12月20日）に実施したこと、および実施方法に客観性をもたせるため教員任せから受講生がアンケート用紙を配布し回収、枚数確認・厳封を行う方法に変えた点である。

2．実施状況

平成26年度「授業改善のための学生アンケート」の実施状況は、専任教員では対象となる教員236名全員が実施し、講師（非常勤）については対象者385名のうち5名を除く380名が実施した。全体の実施率は、98.7%であった。

実施科目数は専任教員で509科目（前年度は544科目）講師（非常勤）で709科目（前年度720科目）合計1,218科目（前年度1,264科目）で前年度と比べやや減少し、学生からの回答数も延べ35,847人（前年度43,441人）これまた前年度より7,594人減少した。

3．集計結果の概要

全教員の「満足度」の平均は3.98で、前期実施の昨年度と比べ0.07アップしたが、後期に実施した平成24年度（4.02）と比較すると0.02ポイント減少した。ただ

し、この数値は学部別、学問分野別では大きく異なってくる。たとえば専任教員の学部別では、外国語学部が最も高く 4.23、続いて国際学部(4.15)、政経学部(4.05)、商学部(3.95)、最も低いのが工学部で 3.68 となっている。分野別では、ゼミ・外書講読(4.48)が最も高く、次いで教職関係科目(4.24)、以下外国語学部専門科目(4.12)、各学部の外国語科目(4.10)、国際学部専門科目(4.05)、政経学部専門科目(4.02)、商学部専門科目(4.00)、教養教育科目(3.85)、工学部専門科目(講義科目)3.67と続いている。

こうした評価の差は、学問分野別に加え、授業規模や授業方法の違いによっても異なってくる。たとえば、講義科目の履修登録者数別比較表をみると、履修者数が 100 人以下では満足度 4.02 に対して、301 人以上では 3.97 とわずか 0.05 ポイントではあるが、後者の方が低くなっている。

学生の学年別「満足度」をみると、高学年になればなるほど高く、また教員の身分別では特別非常勤講師(4.28)が圧倒的に高く、教授(3.93)が最も低くなっている。この傾向は教員の年齢別でも裏付けられ、40 歳未満の教員が 4.08 と最も高く、40 歳代(4.06)と 50 歳代(4.06)が同水準、そして 60 歳代が 3.82 と最も低くなっている。60 の大台を超えると、知識や経験が豊富である一方、加齢とともに「満足度」が低くなっていく傾向がみられる。熟練教員は、今後この点も念頭において授業改善に取り組んでいくことが求められよう。

「満足度」以外の項目については、今後の課題も含め学部別あるいは学科目別に詳細に分析され報告されていますので、本報告書「V 評価と課題」をご覧ください。

4. 今後の課題

(1) 客観性が担保できる学生アンケート実施方法の継続。

平成 26 年度から始めた学生アンケート実施方法の変更がまだすべての教員に浸透していないため、これを引き続き継続して実施していくことが必要である。

(2) 「授業改善のための学生アンケート」結果が低い科目への対応。

「授業改善のための学生アンケート」結果が 2 年連続 2.9 以下の科目についても、拓殖大学の教育力の底上げが求められているため、今年度と同様に学部長と各学部 F D 委員長に改善方をお願いする方向で推進していきたいと考える。

なお、「授業改善のための学生アンケート」に関して、満足度と最も密接に関係している設問項目は「(- 1) 狙いの明確さ(3.99)」である。「狙いの明確さ」が高ければ「満足度」が高く、また「狙いの明確さ」が低ければ「満足度」も同程度に低いことを示している。したがって、今後教育の質を向上していくためには、シラバスの書き方や実際の授業展開において授業の「狙いの明確さ」を強く打ち出していくことが重要であると考えられる。

(3) 大学院の F D 対策

平成 27 年度から大学院の F D も拓殖大学 F D 委員会が対応することになった。詳細は新年度に入って委員会で検討することになるが、大学院の授業評価をどのように進めてい

くかが一つ焦点になってくると考える。

文京ルネサンス事業が完成し、今度は中身の教育力の改善が求められている折り、FD委員会に課せられた課題は多い。今後ともご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

平成27年3月

拓殖大学 FD委員会

委員長 芦田 誠

实施状况

1. 実施期間

平成26年11月17日（月） ～ 平成26年12月20日（土）

※予備日： 1月5日（月） ～ 1月10日（土）

2. 実施教員数

1) 専任教員

所 属	実施対象教員数	実 施 者 数	未 実 施 者 数	実施率（％）
商 学 部	45	45	0	100.0%
政 経 学 部	51	51	0	100.0%
外国語学部	41	41	0	100.0%
工 学 部	56	56	0	100.0%
国 際 学 部	32	32	0	100.0%
兼 担	11	11	0	100.0%
合 計	236	236	0	100.0%

（注）専任教員：教授、准教授、助教、特別非常勤講師

2) 講師（非常勤）

所 属	実施対象教員数	実 施 者 数	未 実 施 者 数	実施率（％）
商 学 部	121	119	2	98.3%
政 経 学 部	110	108	2	98.2%
外国語学部	42	41	1	97.6%
工 学 部	50	50	0	100.0%
国 際 学 部	52	52	0	100.0%
兼 担	10	10	0	100.0%
合 計	385	380	5	98.7%

（注）講師（非常勤）：客員教授を含む

3) 全体

所 属	実施対象教員数	実 施 者 数	未 実 施 者 数	実施率（％）
専任教員	236	236	0	100.0%
講師（非常勤）	385	380	5	98.7%
合 計	621	616	5	99.2%

3. 実施科目数

所 属	専任教員	非常勤講師	合 計
商 学 部	91	206	297
政 経 学 部	110	168	278
外 国 語 学 部	88	76	164
工 学 部	104	65	169
国 際 学 部	97	173	270
兼 担	19	21	40
合 計	509	709	1,218

4. アンケート回答数（延べ人数）

回答者の所属	1 年	2 年	3 年	4 年	無回答	合 計
商 学 部	3,403	2,403	2,244	760	17	8,827
政 経 学 部	3,010	2,446	2,415	916	28	8,815
外 国 語 学 部	1,250	559	355	104	16	2,284
工 学 部	2,052	2,256	1,512	138	81	6,039
国 際 学 部	2,430	2,569	1,038	338	147	6,522
無 回 答	76	91	93	32	3,068	3,360
合 計	12,221	10,324	7,657	2,288	3,357	35,847

(注) 「無回答」は、「所属学科」「学年」についての未記入を示す

5. 学科目別実施科目数

所 属	商学部	政経学部	外国語学部	工学部	国際学部	兼 担	合 計
商学部 専門科目	139	1			1	3	144
政経学部 専門科目	3	119		1	1	6	130
外国語学部 専門科目	4	3	104				111
工学部 講義				103			103
工学部 実験実習				27			27
国際学部 専門科目	1	1	1		63	6	72
教養科目・総合教育科目	21	23	16	7	17	6	90
外国語科目	114	99	28	24	184	16	465
スポーツ・トレーニング科目	4	8		2			14
教職・社教・日本語科目	4	13	7	5	4		33
ゼミ・外書講読	7	11	8			3	29
合 計	297	278	164	169	270	40	1,218

(注) 教養科目・総合教育科目：国際学部基礎科目を含む

外国語科目：英語、第2外国語、選択外国語、地域言語、留学生用の日本語

全 体 集 計

1. 学科目別（講義等科目） 平均値・標準偏差

設問項目	区分	商学部 専門科目	政経学 部専門 科目	外国語 学部 専門科 目	工学部 専門科 目（講 義）	国際学 部専門 科目	教養科 目・総 合教育 科目	外国語 科目	教職・ 社教・ 日語科 目	ゼミ・ 外書講 読	全体
		科目数： (144)	科目数： (130)	科目数： (111)	科目数： (103)	科目数： (72)	科目数： (90)	科目数： (465)	科目数： (33)	科目数： (29)	科目数： (1177)
I-1	平均値	4.50	4.42	4.59	4.66	4.36	4.48	4.49	4.46	4.45	4.49
	標準偏差	0.77	0.79	0.67	0.64	0.80	0.81	0.76	0.70	0.79	0.76
I-2	平均値	4.11	3.94	3.78	3.62	3.62	3.75	4.07	4.10	3.74	3.90
	標準偏差	1.08	1.17	1.21	1.20	1.25	1.25	1.04	0.99	1.28	1.17
I-3	平均値	1.71	1.63	2.04	1.75	1.69	1.54	2.00	1.62	2.10	1.76
	標準偏差	1.02	0.97	1.13	1.02	1.06	0.97	1.05	0.90	1.15	1.03
I-5	平均値	1.60	1.51	1.58	1.66	1.71	1.47	1.72	1.47	2.11	1.61
	標準偏差	1.06	1.00	1.03	1.07	1.15	0.99	1.14	0.92	1.35	1.07
II-1	平均値	4.01	4.03	4.11	3.78	4.04	3.81	4.10	4.21	4.36	3.99
	標準偏差	0.98	0.97	1.00	1.04	1.03	1.09	0.94	0.85	0.87	1.00
II-3	平均値	4.05	4.06	4.17	3.88	4.06	3.95	4.11	4.20	4.23	4.04
	標準偏差	0.88	0.88	0.89	0.90	0.92	0.95	0.88	0.81	0.91	0.90
II-5	平均値	4.14	4.13	4.26	3.93	4.17	3.92	4.24	4.17	4.46	4.12
	標準偏差	1.00	0.98	0.96	1.08	1.00	1.15	0.94	1.00	0.81	1.02
II-6	平均値	3.99	4.05	4.13	3.85	4.07	3.90	4.09	4.11	4.31	4.01
	標準偏差	1.01	0.99	0.96	1.05	1.04	1.07	0.96	0.95	0.84	1.01
II-7	平均値	4.03	4.13	4.20	3.79	4.16	3.90	4.16	4.28	4.39	4.06
	標準偏差	0.99	0.96	0.93	1.00	0.96	1.05	0.93	0.88	0.89	0.98
II-8	平均値	3.78	3.69	3.96	3.68	3.71	3.57	4.07	3.95	4.16	3.80
	標準偏差	1.02	1.03	1.01	0.98	1.09	1.10	0.94	1.01	0.92	1.03
II-9	平均値	3.75	3.73	3.98	3.46	3.88	3.65	3.94	4.01	4.20	3.78
	標準偏差	0.99	0.96	0.95	1.06	1.04	1.10	0.97	0.90	0.91	1.02
II-10	平均値	3.76	3.81	3.83	3.49	3.97	3.70	3.83	4.05	4.26	3.77
	標準偏差	1.00	0.98	1.03	1.04	1.02	1.09	1.00	0.93	0.89	1.03
III	平均値	4.00	4.02	4.12	3.67	4.05	3.85	4.10	4.24	4.48	3.98
	標準偏差	0.96	0.93	1.00	1.06	1.03	1.07	0.96	0.84	0.80	1.00

○3の回答が適切である項目

II-2	平均値	3.44	3.44	3.31	3.57	3.36	3.39	3.36	3.29	3.26	3.41
	標準偏差	0.72	0.72	0.69	0.79	0.70	0.76	0.73	0.60	0.68	0.73
II-4	平均値	3.27	3.23	3.18	3.32	3.18	3.23	3.20	3.13	3.05	3.23
	標準偏差	0.63	0.63	0.60	0.67	0.57	0.64	0.60	0.49	0.47	0.62

(注) I-4は、複数回答項目のため、「5. 回答の分布」を参照

2. 教員所属別（講義等科目）

（1）専任教員所属別

設問項目	区分	商学部	政経学部	外国語学部	工学部	国際学部	兼任教員	専任教員全体	講師全体	全体
		科目数： (91)	科目数： (109)	科目数： (88)	科目数： (79)	科目数： (97)	科目数： (19)	科目数： (483)	科目数： (694)	科目数： (1177)
I-1	平均値	4.52	4.46	4.63	4.65	4.43	4.39	4.52	4.46	4.49
	標準偏差	0.75	0.77	0.64	0.66	0.76	0.88	0.74	0.78	0.76
I-2	平均値	4.18	4.13	3.93	3.70	3.78	3.63	3.96	3.84	3.90
	標準偏差	1.04	1.06	1.12	1.19	1.18	1.22	1.13	1.19	1.17
I-3	平均値	1.70	1.67	2.11	1.77	1.84	1.64	1.76	1.76	1.76
	標準偏差	1.01	0.98	1.14	1.04	1.08	1.04	1.04	1.03	1.03
I-5	平均値	1.58	1.54	1.62	1.68	1.78	1.58	1.63	1.59	1.61
	標準偏差	1.05	1.02	1.04	1.10	1.18	1.07	1.08	1.07	1.07
II-1	平均値	3.97	4.06	4.22	3.81	4.15	3.92	4.01	3.97	3.99
	標準偏差	0.99	0.97	0.92	1.02	0.98	1.08	0.99	1.01	1.00
II-3	平均値	4.02	4.08	4.22	3.90	4.12	4.03	4.05	4.03	4.04
	標準偏差	0.88	0.89	0.86	0.90	0.90	0.97	0.90	0.90	0.90
II-5	平均値	4.05	4.18	4.35	3.91	4.25	3.98	4.11	4.13	4.12
	標準偏差	1.04	0.97	0.87	1.09	0.96	1.21	1.02	1.02	1.02
II-6	平均値	3.93	4.08	4.20	3.88	4.14	4.00	4.02	4.01	4.01
	標準偏差	1.03	0.99	0.92	1.04	0.99	1.11	1.01	1.01	1.01
II-7	平均値	4.00	4.15	4.27	3.83	4.27	4.05	4.08	4.04	4.06
	標準偏差	0.99	0.95	0.86	0.99	0.91	1.07	0.97	0.99	0.98
II-8	平均値	3.75	3.75	4.01	3.71	3.90	3.52	3.78	3.82	3.80
	標準偏差	1.02	1.04	0.97	0.97	1.06	1.16	1.03	1.03	1.03
II-9	平均値	3.73	3.77	4.05	3.49	4.01	3.79	3.77	3.78	3.78
	標準偏差	0.99	0.99	0.92	1.06	0.97	1.08	1.01	1.02	1.02
II-10	平均値	3.76	3.82	3.96	3.49	4.03	3.88	3.79	3.76	3.77
	標準偏差	1.00	1.00	0.99	1.04	0.97	1.08	1.02	1.03	1.03
III	平均値	3.95	4.05	4.23	3.68	4.15	4.02	3.99	3.98	3.98
	標準偏差	0.96	0.94	0.92	1.05	0.97	1.05	0.99	1.00	1.00

○3の回答が適切である項目

II-2	平均値	3.44	3.43	3.30	3.58	3.35	3.35	3.43	3.39	3.41
	標準偏差	0.71	0.73	0.65	0.79	0.67	0.73	0.73	0.74	0.73
II-4	平均値	3.27	3.22	3.15	3.31	3.18	3.15	3.24	3.22	3.23
	標準偏差	0.62	0.62	0.55	0.67	0.56	0.58	0.62	0.62	0.62

（注）専任教員：教授、准教授、助教、特別非常勤講師

I-4は、複数回答項目のため、「5. 学科目別 回答の分布」を参照

(2) 講師（非常勤）所属別

設問項目	区分	商学部	政経学部	外国語学部	工学部	国際学部	兼任教員	講師全体	専任教員全体	全体
		科目数: (202)	科目数: (161)	科目数: (76)	科目数: (61)	科目数: (173)	科目数: (21)	科目数: (694)	科目数: (483)	科目数: (1177)
I-1	平均値	4.49	4.40	4.47	4.60	4.45	4.45	4.46	4.52	4.49
	標準偏差	0.76	0.83	0.77	0.71	0.77	0.78	0.78	0.74	0.76
I-2	平均値	3.98	3.78	3.89	3.52	3.84	3.94	3.84	3.96	3.90
	標準偏差	1.13	1.21	1.16	1.26	1.21	1.10	1.19	1.13	1.17
I-3	平均値	1.80	1.64	1.77	1.68	1.89	2.29	1.76	1.76	1.76
	標準偏差	1.04	0.96	1.01	0.96	1.09	1.25	1.03	1.04	1.03
I-5	平均値	1.63	1.49	1.55	1.56	1.69	2.30	1.59	1.63	1.61
	標準偏差	1.09	0.99	1.03	0.99	1.14	1.41	1.07	1.08	1.07
II-1	平均値	4.06	3.91	3.90	3.71	4.10	4.26	3.97	4.01	3.99
	標準偏差	0.96	1.03	1.07	1.10	0.96	0.91	1.01	0.99	1.00
II-3	平均値	4.08	3.99	4.00	3.88	4.12	4.19	4.03	4.05	4.04
	標準偏差	0.88	0.91	0.92	0.91	0.88	0.89	0.90	0.90	0.90
II-5	平均値	4.22	4.03	4.05	3.91	4.26	4.43	4.13	4.11	4.12
	標準偏差	0.95	1.07	1.12	1.08	0.91	0.79	1.02	1.02	1.02
II-6	平均値	4.07	3.94	3.92	3.87	4.12	4.27	4.01	4.02	4.01
	標準偏差	0.98	1.04	1.05	1.03	0.95	0.91	1.01	1.01	1.01
II-7	平均値	4.08	4.02	4.00	3.85	4.12	4.18	4.04	4.08	4.06
	標準偏差	0.98	1.00	1.04	1.01	0.94	0.92	0.99	0.97	0.98
II-8	平均値	3.90	3.68	3.88	3.63	3.98	4.00	3.82	3.78	3.80
	標準偏差	1.00	1.05	1.01	1.01	1.00	1.04	1.03	1.03	1.03
II-9	平均値	3.84	3.67	3.78	3.51	3.99	4.17	3.78	3.77	3.78
	標準偏差	1.00	1.01	1.06	1.07	0.97	0.91	1.02	1.01	1.02
II-10	平均値	3.78	3.72	3.70	3.51	3.93	4.12	3.76	3.79	3.77
	標準偏差	1.02	1.02	1.08	1.05	0.99	0.92	1.03	1.02	1.03
III	平均値	4.06	3.92	3.95	3.68	4.13	4.22	3.98	3.99	3.98
	標準偏差	0.95	1.01	1.06	1.05	0.97	0.95	1.00	0.99	1.00

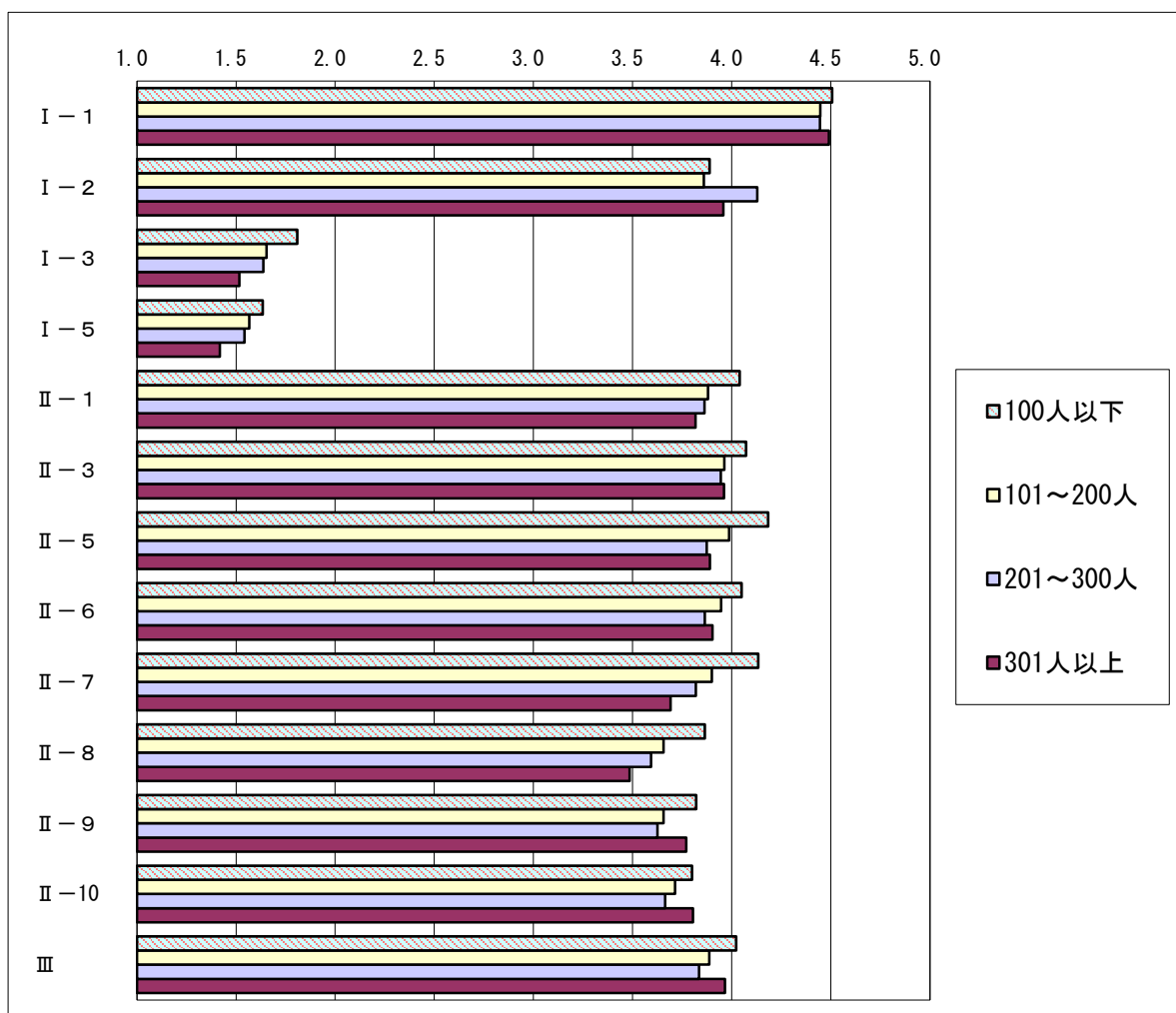
○3の回答が適切である項目

II-2	平均値	3.40	3.41	3.43	3.47	3.31	3.23	3.39	3.43	3.41
	標準偏差	0.73	0.72	0.75	0.77	0.75	0.68	0.74	0.73	0.73
II-4	平均値	3.23	3.23	3.25	3.26	3.16	3.14	3.22	3.24	3.23
	標準偏差	0.62	0.63	0.65	0.66	0.59	0.56	0.62	0.62	0.62

(注) 講師（非常勤）：客員教授を含む

I-4は、複数回答項目のため、「5. 学科目別 回答の分布」を参照

3. 履修登録者数別比較表（講義科目）



(注) I-4受講動機(複数回答)、II-2難易度、II-4進度(3の回答が適切)は回答の基準が異なるため、掲載していない。

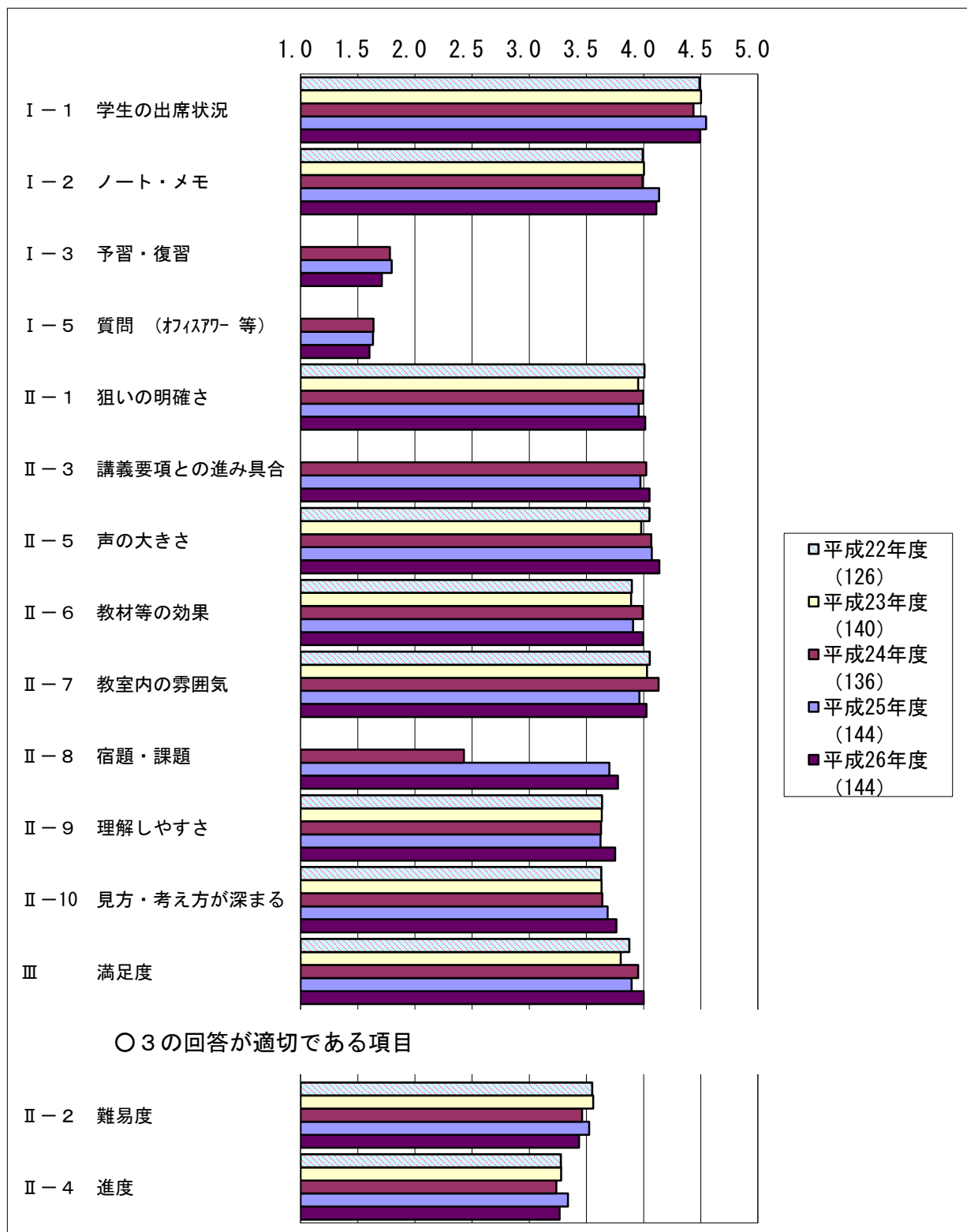
○ 平均値

区分		100人以下	101～200人	201～300人	301人以上
科目数		1,068	85	18	6
I-1	学生の出席状況	4.51	4.45	4.44	4.49
I-2	ノート・メモ	3.89	3.86	4.13	3.96
I-3	予習・復習	1.81	1.65	1.64	1.52
I-5	質問(オフィス等)	1.63	1.57	1.54	1.42
II-1	狙いの明確さ	4.04	3.88	3.86	3.82
II-3	講義要項との進み具合	4.07	3.96	3.94	3.96
II-5	声の大きさ	4.18	3.99	3.87	3.89
II-6	教材等の効果	4.05	3.95	3.86	3.90
II-7	教室内の雰囲気	4.13	3.90	3.82	3.69
II-8	宿題・課題	3.86	3.66	3.59	3.49
II-9	理解しやすさ	3.82	3.66	3.63	3.77
II-10	見方・考え方が深まる	3.80	3.71	3.66	3.80
III	満足度	4.02	3.89	3.84	3.97

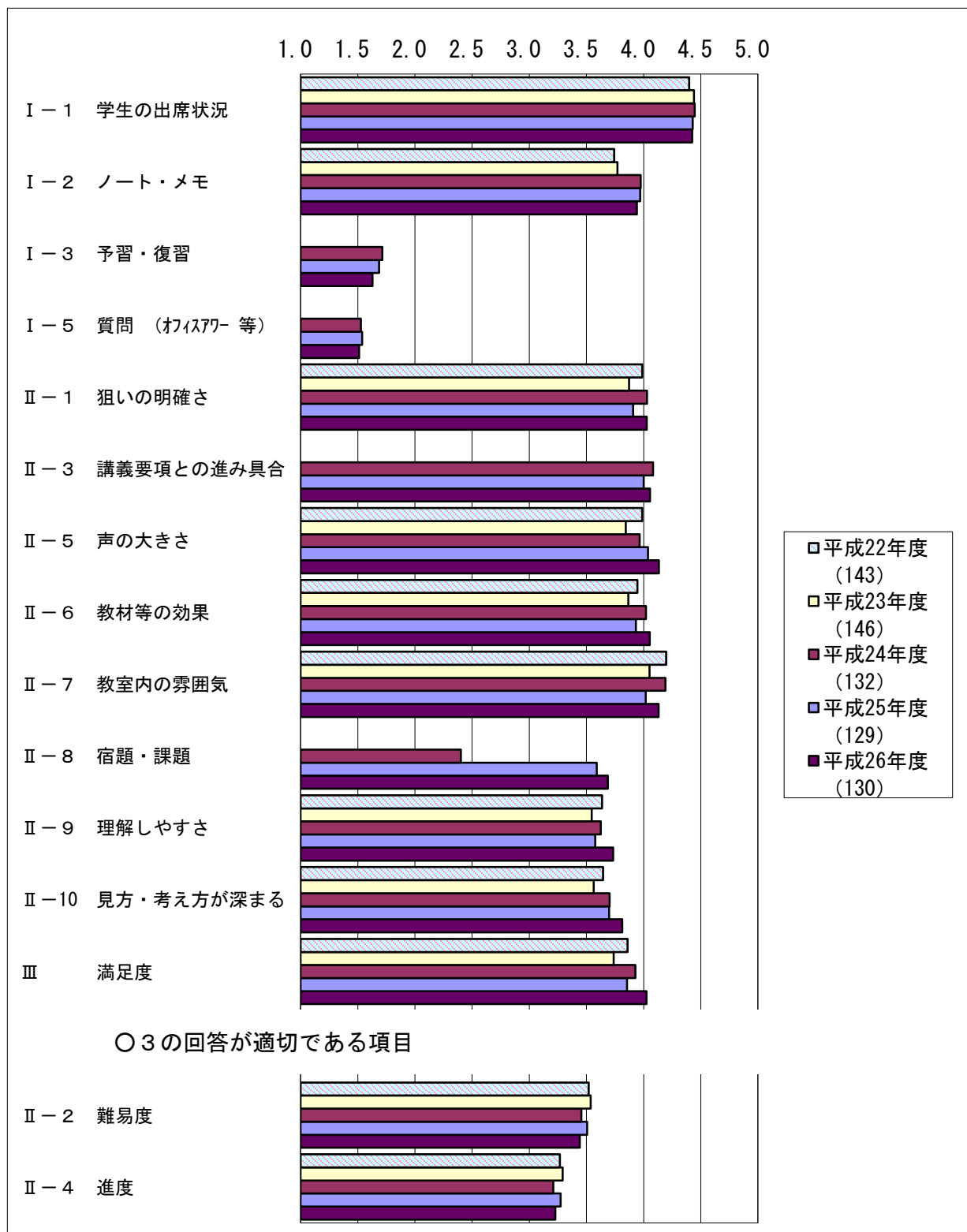
4. 設問項目ごとの集計結果（年度比較）

（1）学科目別平均値

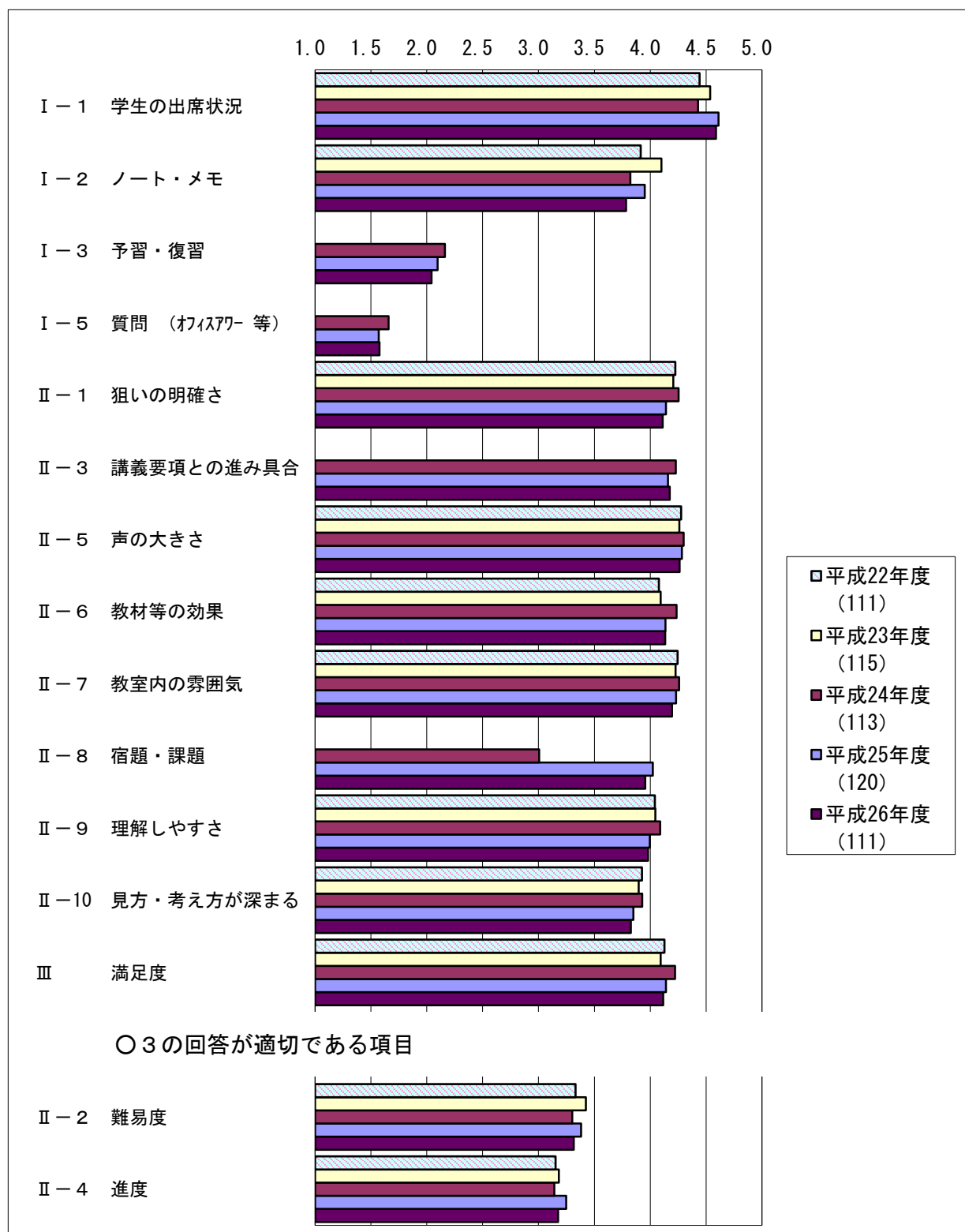
① 商学部専門科目



② 政経学部専門科目

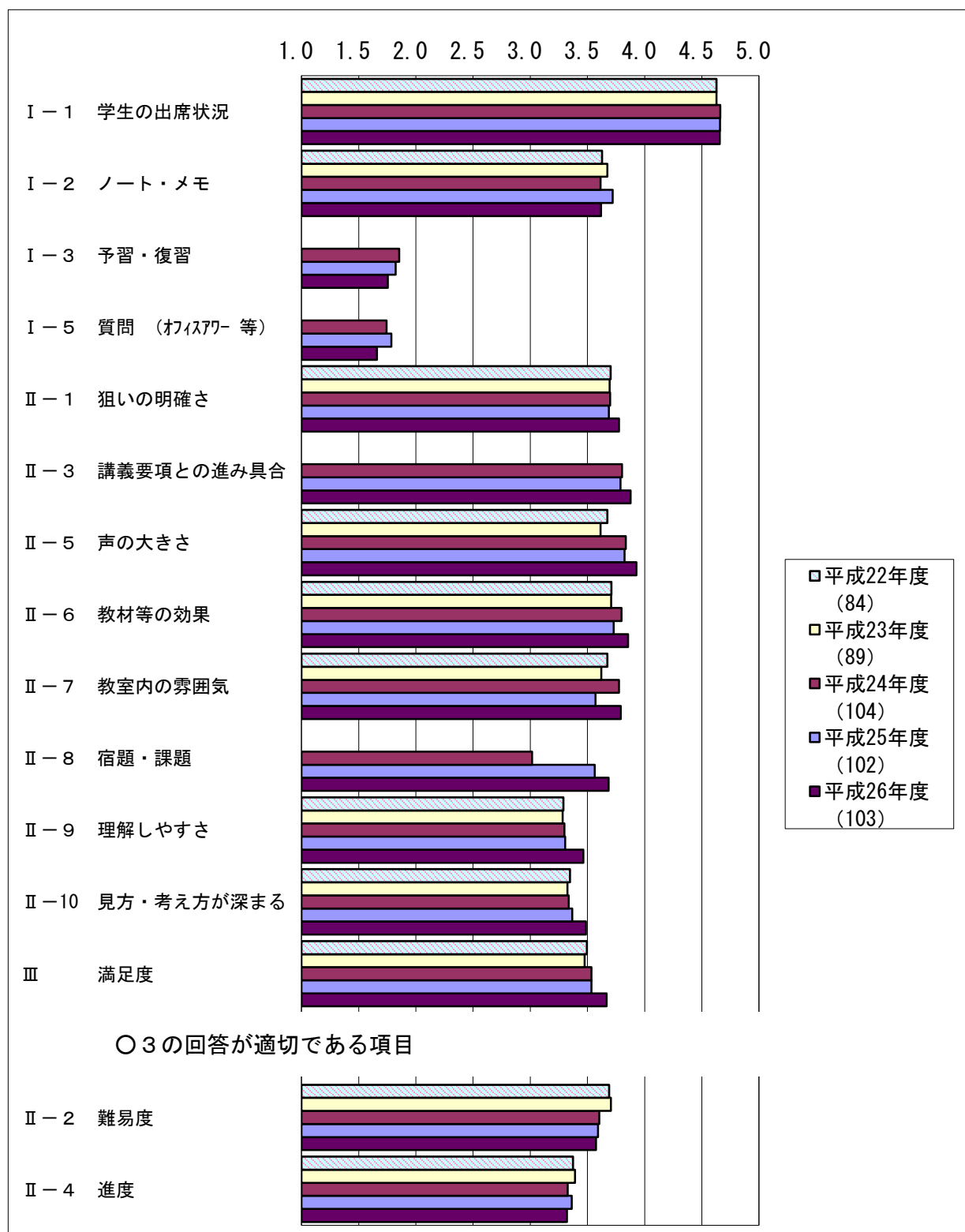


③ 外国語学部専門科目

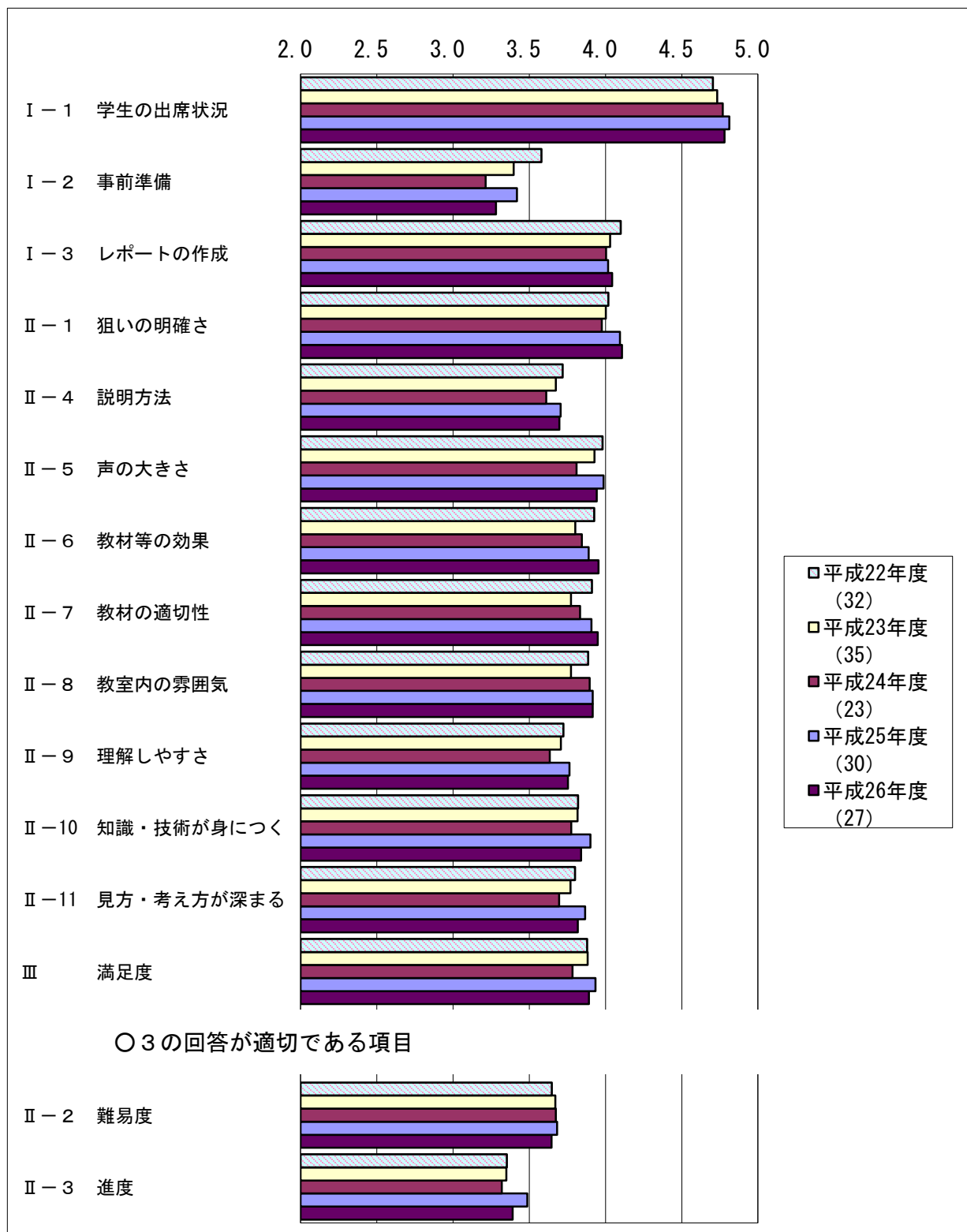


④ 工学部専門科目

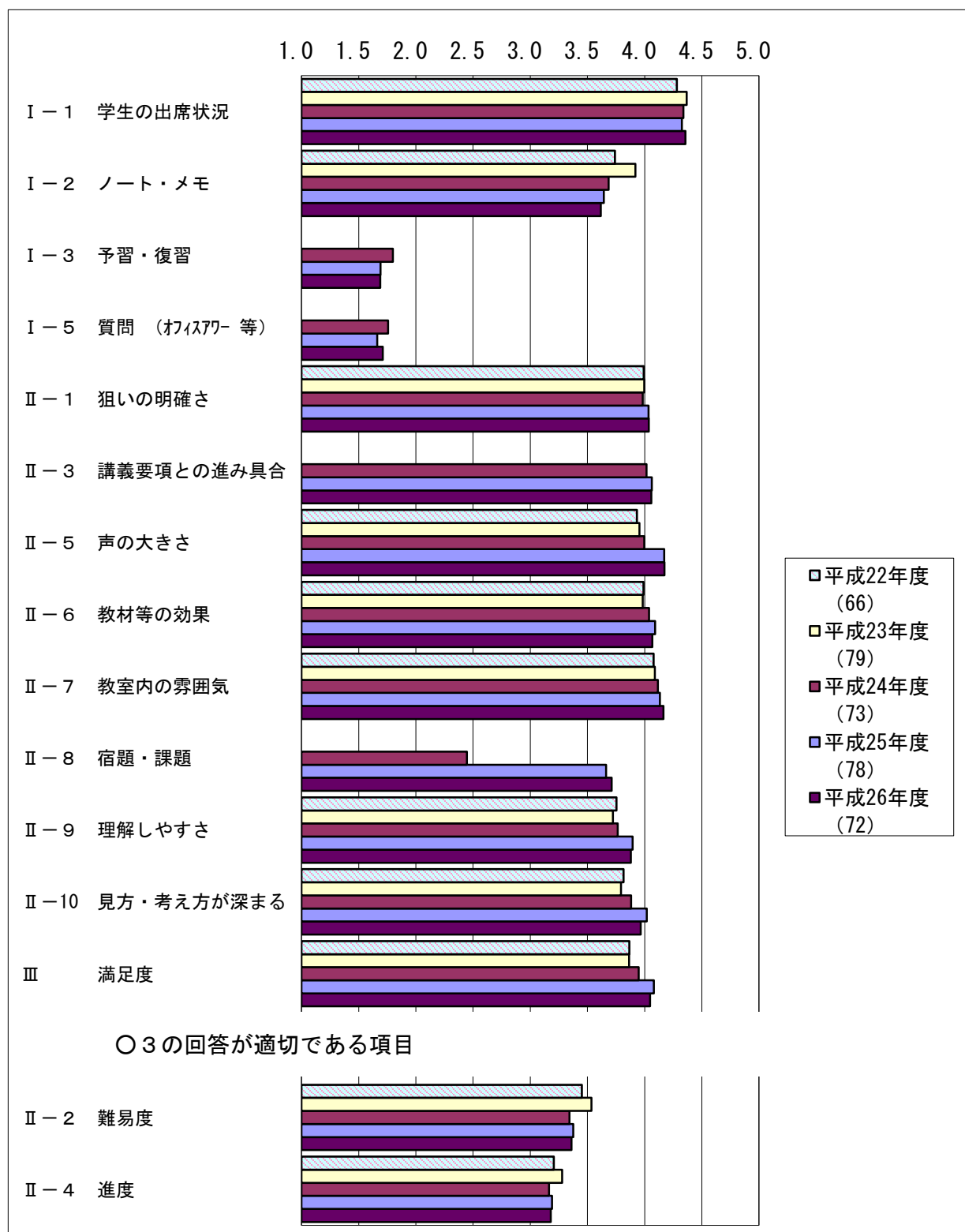
・ 講義等科目



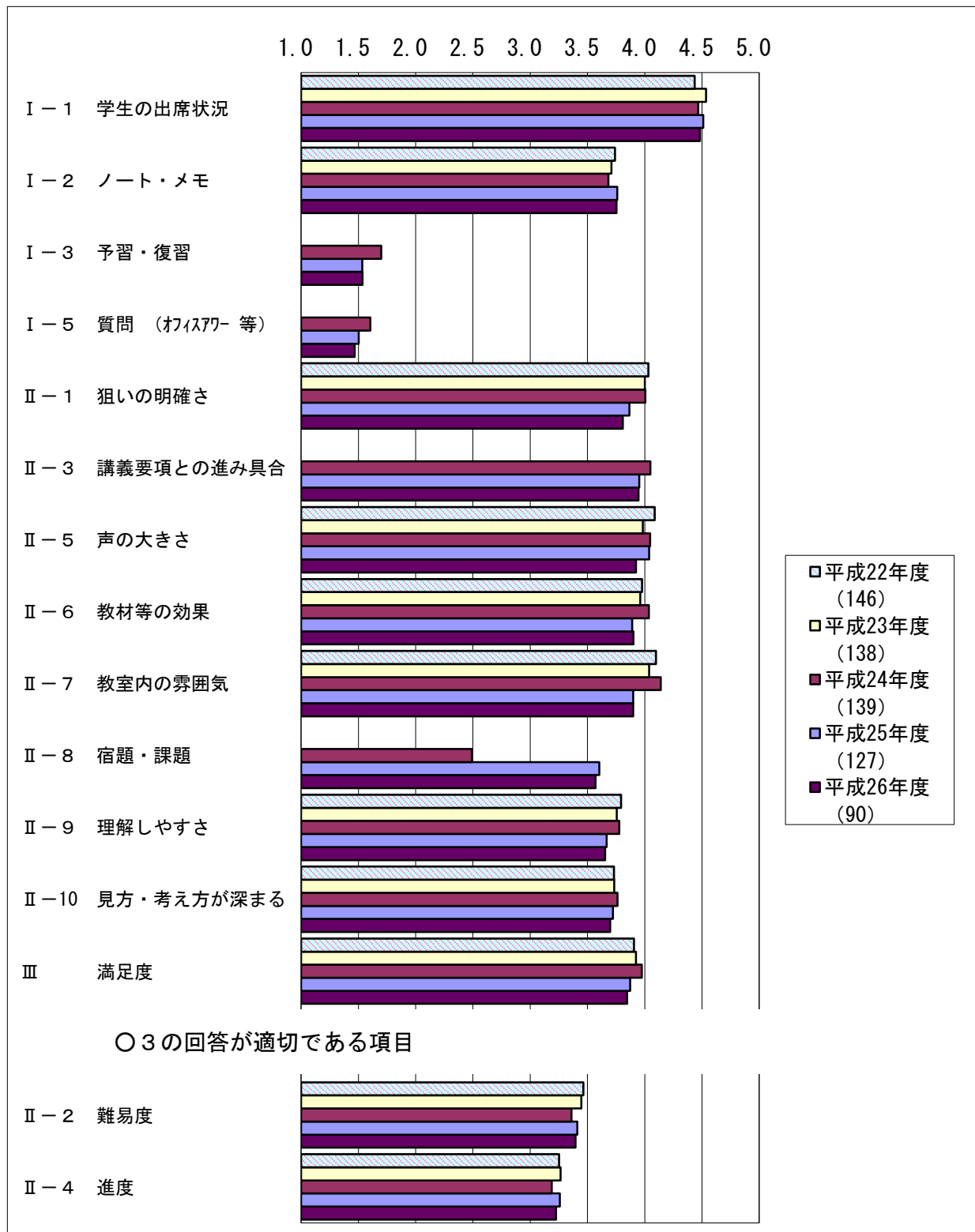
・工学部 実験・実習科目



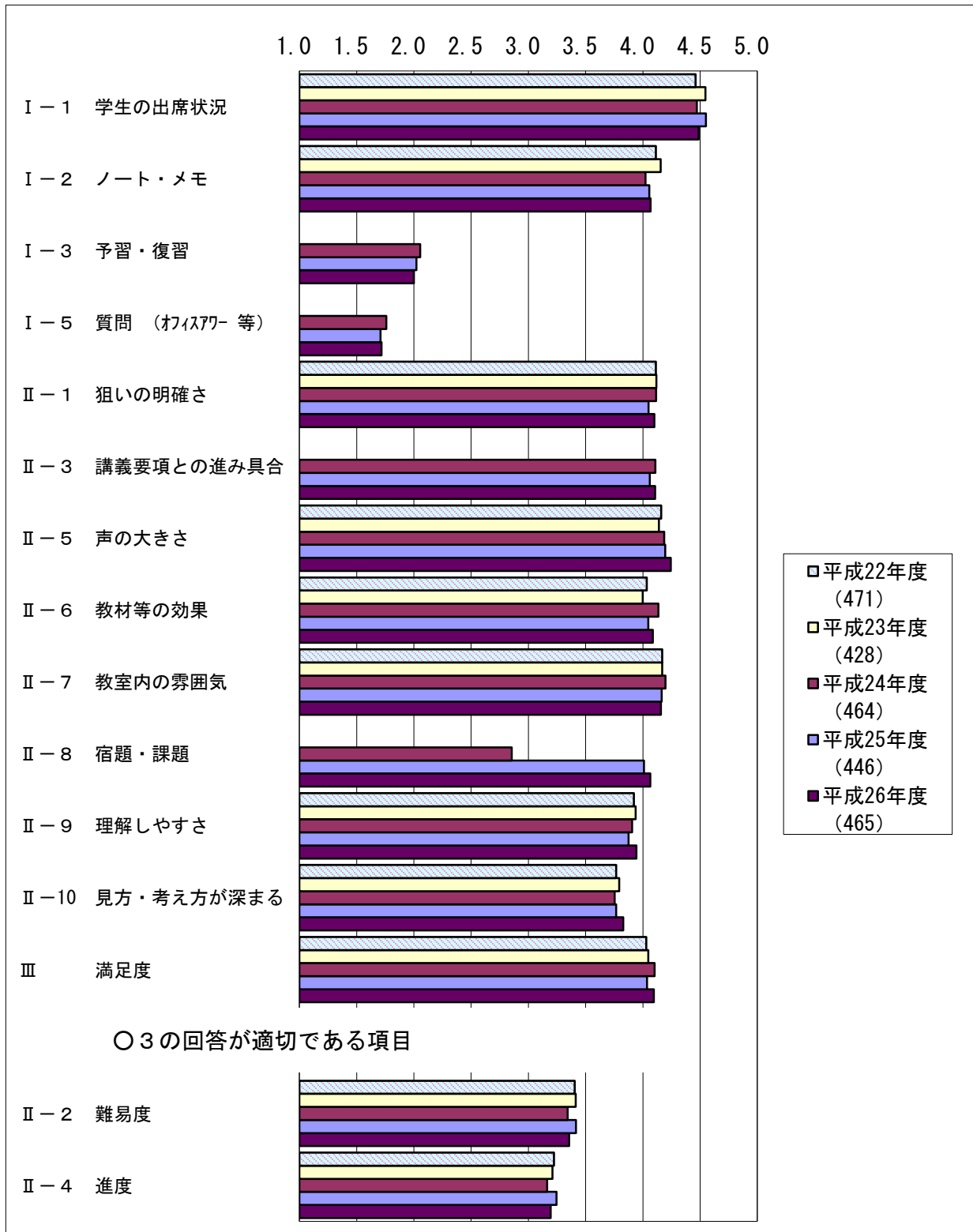
⑤ 国際学部専門科目



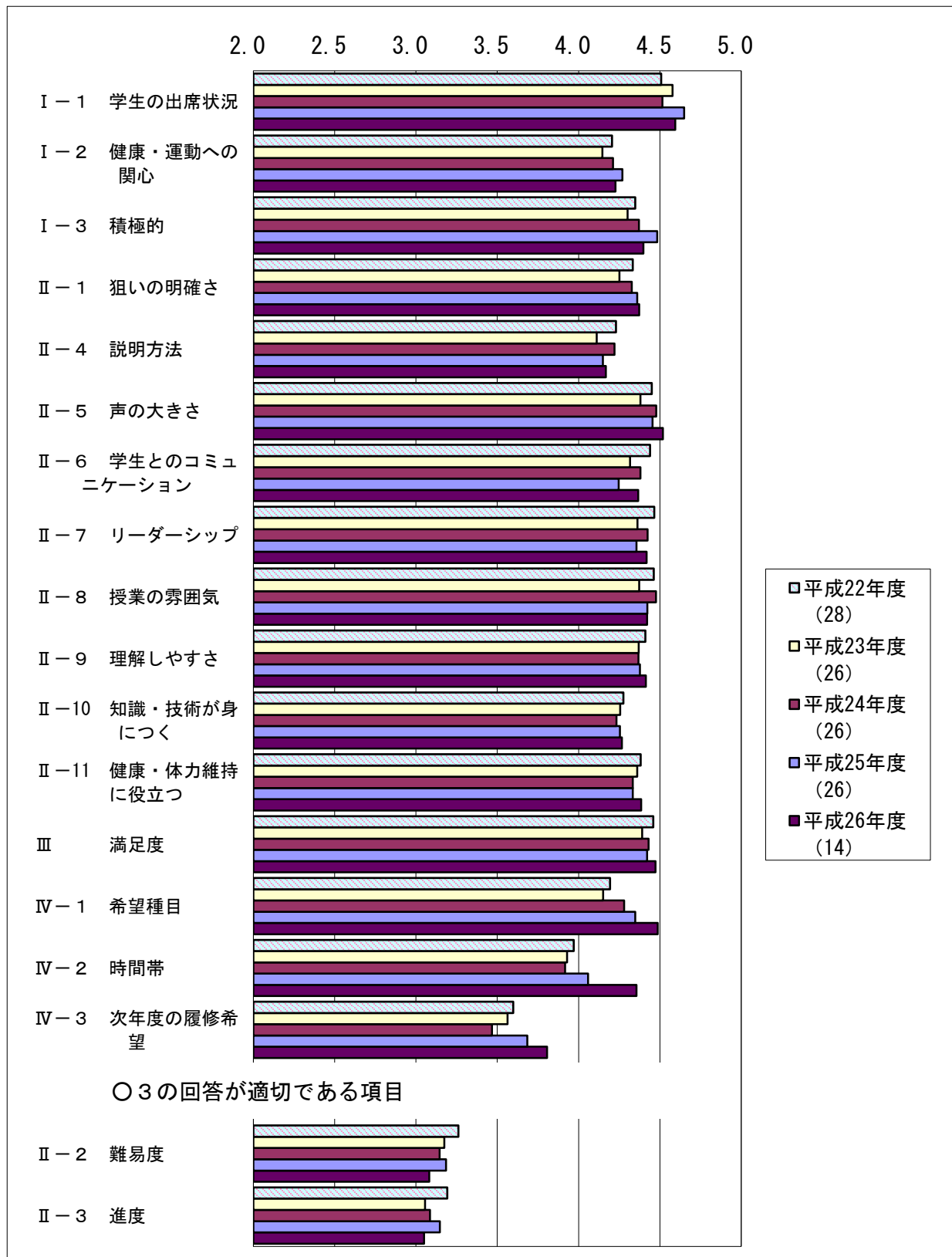
⑥ 教養教育科目



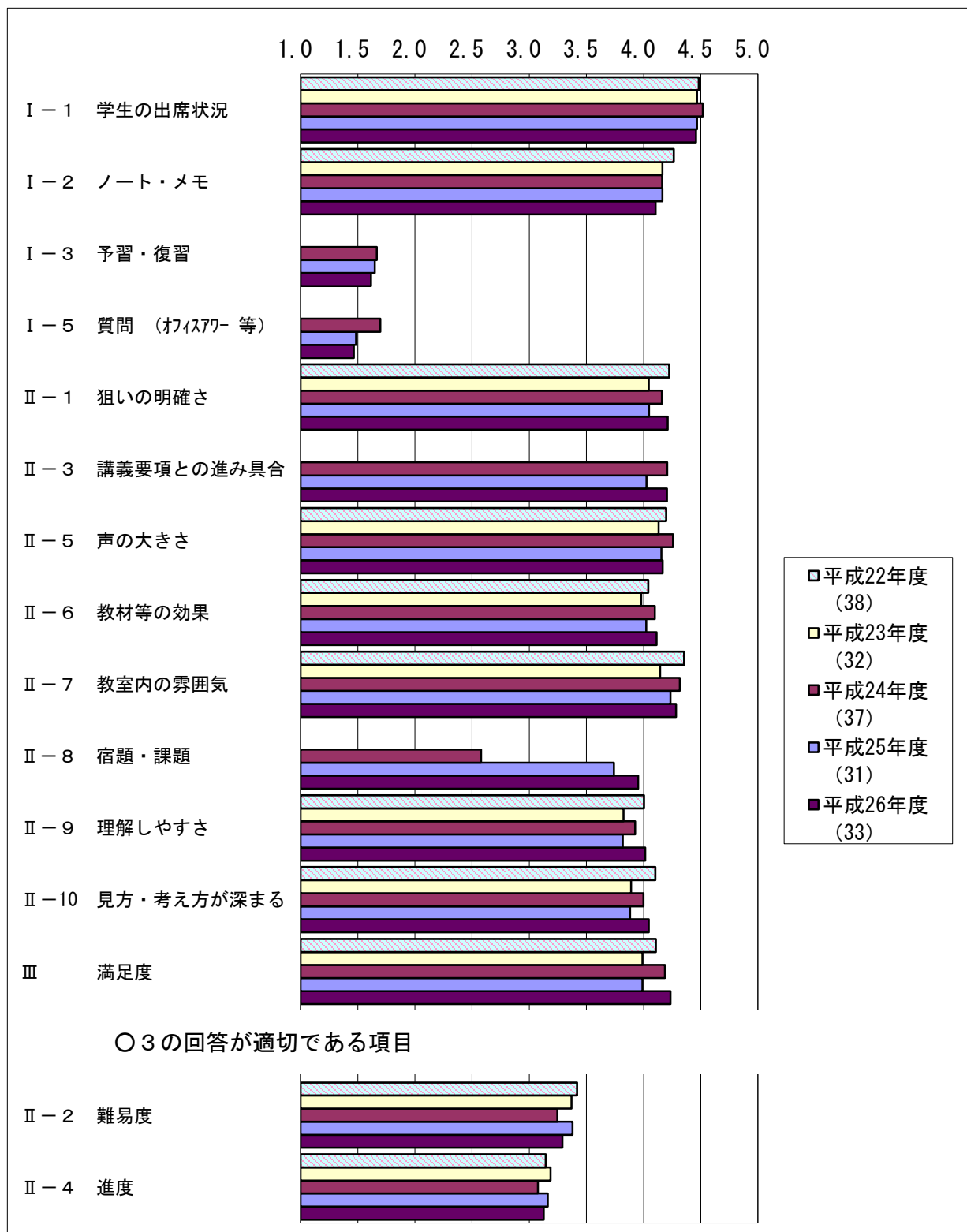
⑦ 外国語科目



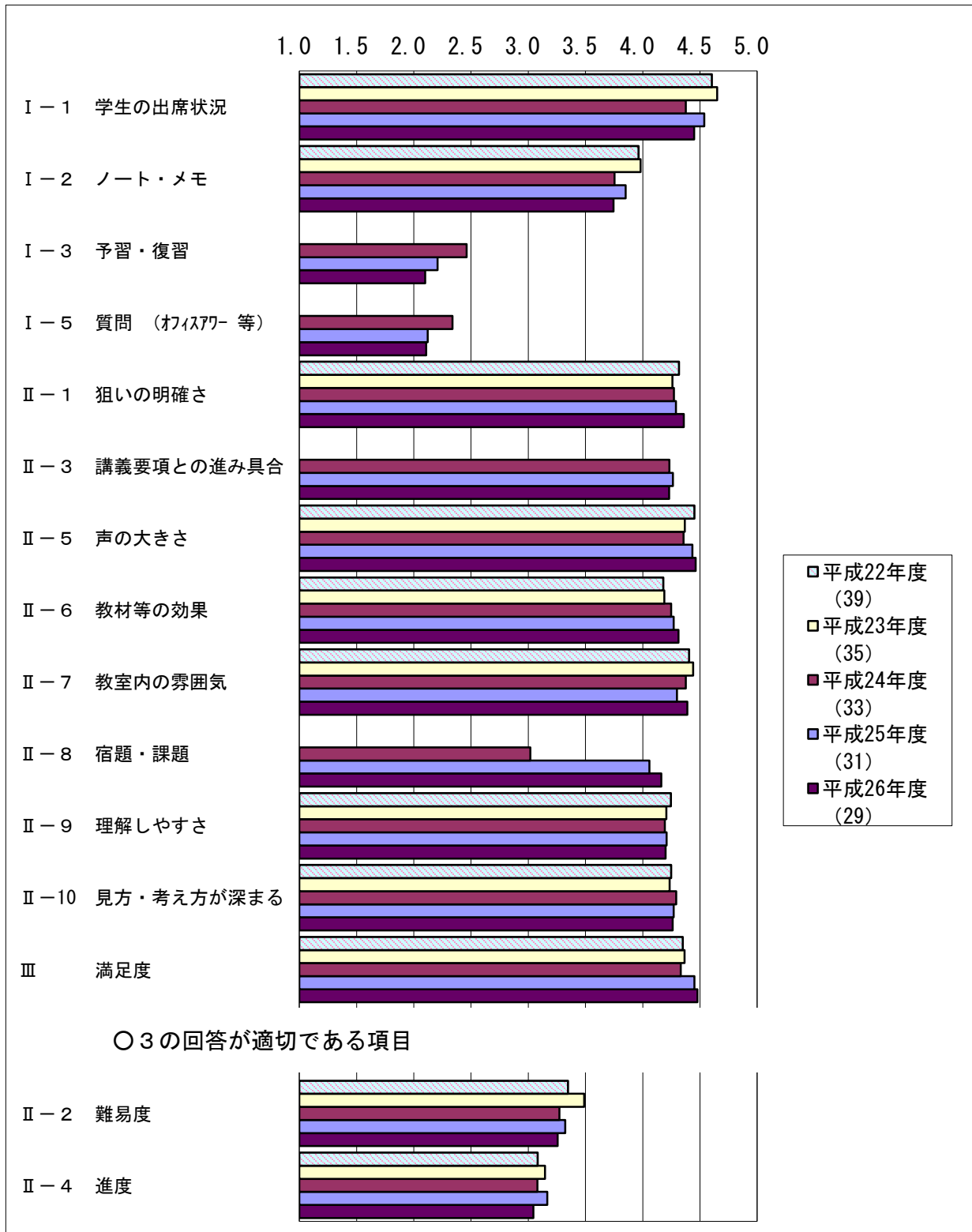
⑧ スポーツ・トレーニング科目



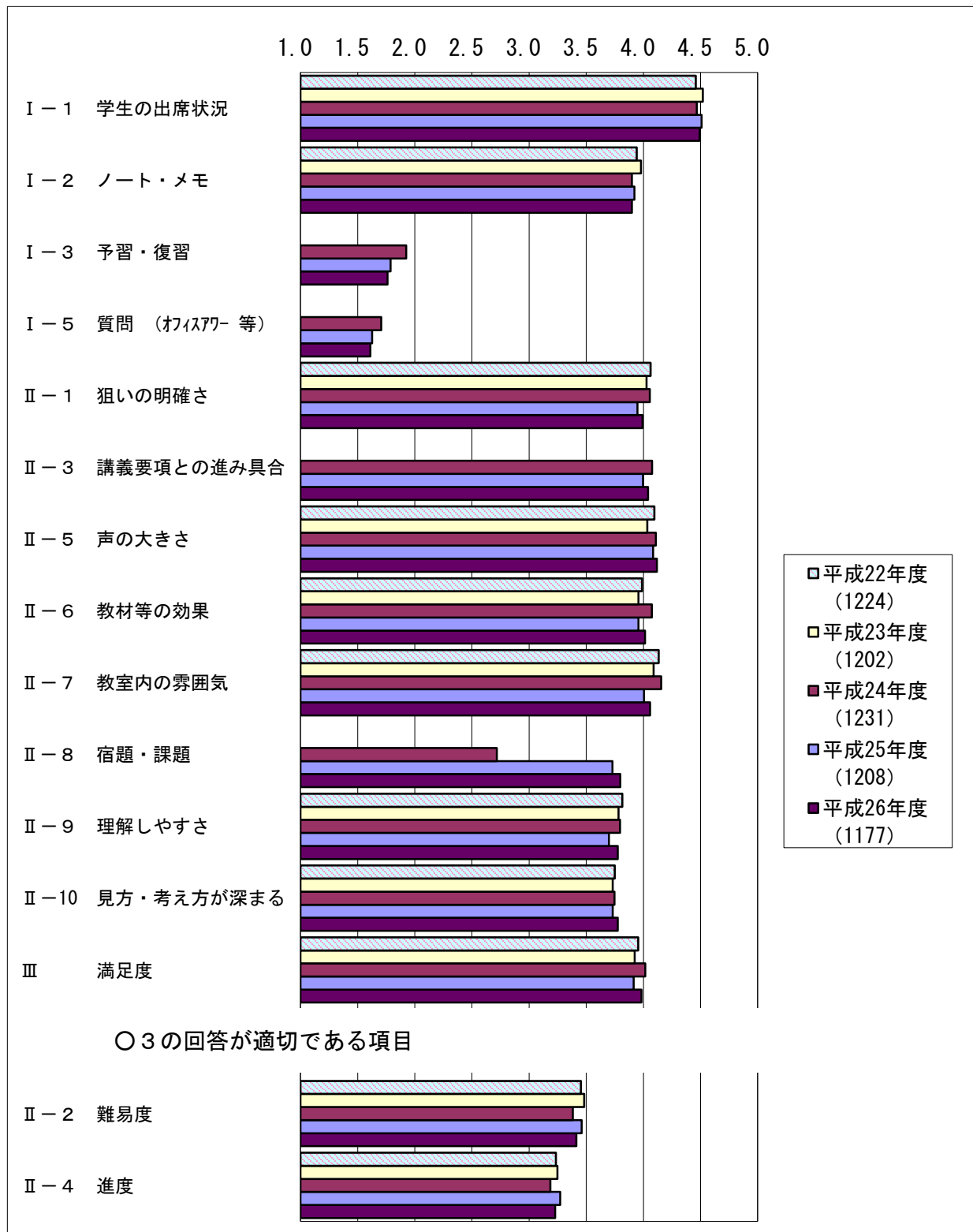
⑨ 教職・社教・日語科目



⑩ ゼミ・外書講読科目



⑪ 全体（講義等科目）



(2) 学生所属別平均値・標準偏差（講義科目）

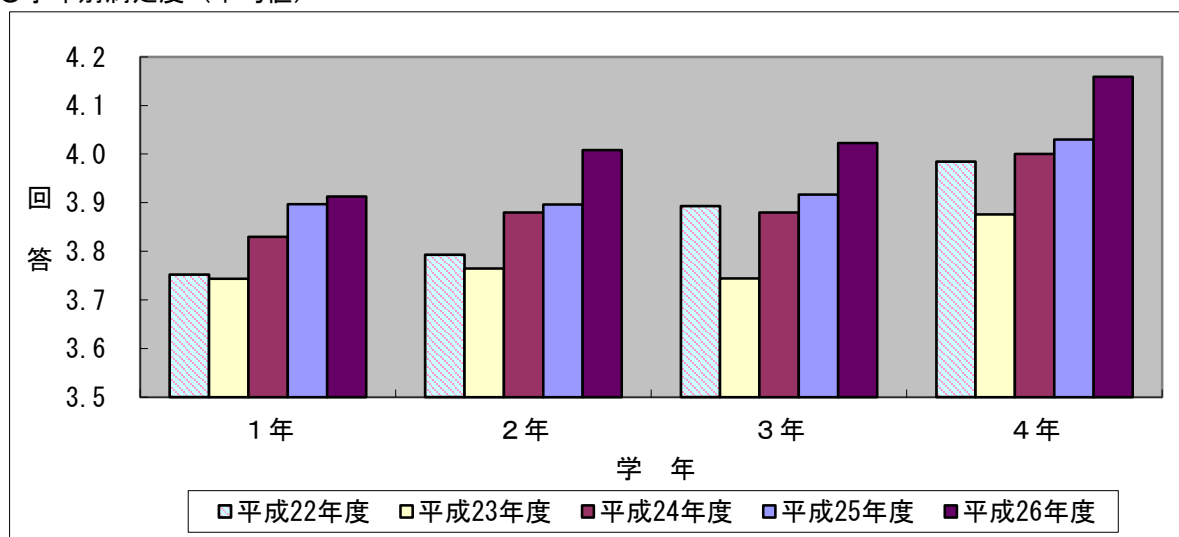
① 学年別

設問項目	区分	1年	2年	3年	4年
		回答件数：(11774)	回答件数：(9885)	回答件数：(7276)	回答件数：(2277)
I-1 学生の出席状況	平均値	4.59	4.50	4.45	4.12
	標準偏差	0.72	0.75	0.77	0.86
I-2 ノート・メモ	平均値	3.87	3.92	3.93	3.92
	標準偏差	1.20	1.16	1.14	1.07
I-3 予習・復習	平均値	1.75	1.78	1.69	1.66
	標準偏差	1.02	1.03	1.00	0.96
I-5 質問(オフィスアワー等)	平均値	1.58	1.60	1.57	1.57
	標準偏差	1.05	1.05	1.03	1.04
II-1 狙いの明確さ	平均値	3.94	4.00	4.02	4.14
	標準偏差	1.02	1.00	0.99	0.91
II-3 講義要項との進み具合	平均値	4.01	4.06	4.04	4.15
	標準偏差	0.91	0.90	0.89	0.83
II-5 声の大きさ	平均値	4.06	4.13	4.16	4.30
	標準偏差	1.06	1.02	0.99	0.87
II-6 教材等の効果	平均値	3.94	4.05	4.07	4.17
	標準偏差	1.03	1.00	0.99	0.91
II-7 教室内の雰囲気	平均値	3.97	4.06	4.15	4.23
	標準偏差	1.01	0.99	0.92	0.91
II-8 宿題・課題	平均値	3.77	3.85	3.78	3.82
	標準偏差	1.05	1.03	1.01	0.97
II-9 理解しやすさ	平均値	3.73	3.80	3.79	3.88
	標準偏差	1.05	1.01	0.98	0.92
II-10 見方・考え方が深まる	平均値	3.68	3.80	3.83	3.95
	標準偏差	1.05	1.01	1.00	0.93
III 満足度	平均値	3.91	4.01	4.02	4.16
	標準偏差	1.03	0.98	0.96	0.89

○3の回答が適切である項目

II-2 難易度	平均値	3.41	3.42	3.42	3.36
	標準偏差	0.76	0.72	0.69	0.66
II-4 進度	平均値	3.24	3.22	3.22	3.15
	標準偏差	0.64	0.61	0.60	0.54

○学年別満足度（平均値）



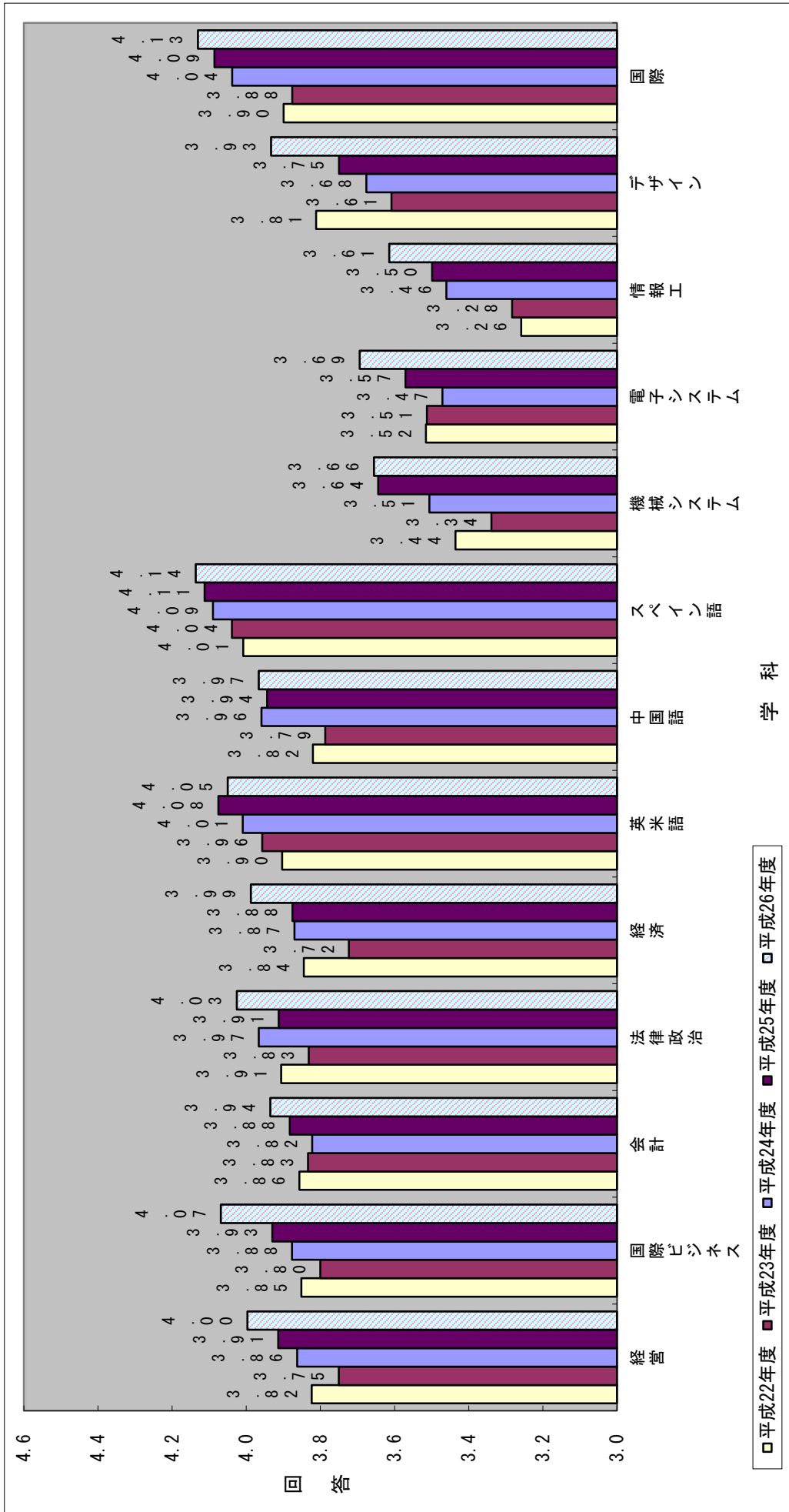
② 学科別

設問項目	区分	経営	国際ビジネス	会計	法律政治	経済	英米語	中国語	スペイン語	機械システム	電子システム	情報工	デザイン	国際
		回答件数 : (5725)	回答件数 : (1995)	回答件数 : (1093)	回答件数 : (3200)	回答件数 : (5570)	回答件数 : (1139)	回答件数 : (481)	回答件数 : (639)	回答件数 : (1343)	回答件数 : (1452)	回答件数 : (1290)	回答件数 : (782)	回答件数 : (6506)
I-1 学生の出席状況	平均値	4.51	4.49	4.52	4.41	4.42	4.65	4.35	4.56	4.72	4.73	4.57	4.50	4.45
	標準偏差	0.77	0.75	0.76	0.81	0.80	0.66	0.82	0.74	0.58	0.61	0.72	0.72	0.76
I-2 ノート・メモ	平均値	4.10	4.02	4.09	4.03	3.92	3.81	3.78	3.87	3.77	3.59	3.55	3.60	3.83
	標準偏差	1.09	1.11	1.03	1.11	1.16	1.26	1.15	1.13	1.20	1.25	1.18	1.15	1.19
I-3 予習・復習	平均値	1.71	1.82	1.61	1.65	1.68	1.95	1.91	1.86	1.63	1.73	1.70	1.79	1.83
	標準偏差	1.03	1.06	0.88	0.95	0.97	1.14	1.10	1.05	0.93	0.98	1.06	1.01	1.06
I-5 質問(オフィス等)	平均値	1.58	1.73	1.45	1.49	1.53	1.39	1.73	1.57	1.60	1.62	1.55	1.56	1.68
	標準偏差	1.05	1.17	0.89	0.99	1.00	0.91	1.13	0.99	1.02	1.03	1.05	0.99	1.13
II-1 狙いの明確さ	平均値	3.98	4.08	3.98	4.01	3.99	4.08	3.95	4.13	3.71	3.82	3.74	3.87	4.13
	標準偏差	1.00	0.97	0.95	0.97	0.98	1.06	1.00	0.96	1.03	1.02	1.05	1.04	0.98
II-3 講義要項との進み具合	平均値	4.04	4.12	4.03	4.04	4.05	4.15	4.04	4.20	3.81	3.88	3.89	4.01	4.12
	標準偏差	0.89	0.89	0.87	0.88	0.89	0.92	0.89	0.88	0.89	0.90	0.91	0.87	0.90
II-5 声の大きさ	平均値	4.12	4.16	4.09	4.13	4.10	4.24	4.07	4.26	3.90	3.94	3.91	4.08	4.26
	標準偏差	1.04	1.01	1.00	0.99	1.02	1.01	1.01	0.92	1.08	1.05	1.11	1.05	0.96
II-6 教材等の効果	平均値	3.98	4.09	3.99	4.03	4.02	4.14	3.96	4.12	3.79	3.87	3.85	4.07	4.12
	標準偏差	1.03	0.98	0.99	0.99	0.99	1.01	0.95	0.94	1.03	1.00	1.07	0.99	0.99
II-7 教室内の雰囲気	平均値	4.04	4.11	4.07	4.16	4.06	4.17	3.96	4.21	3.81	3.79	3.75	4.04	4.16
	標準偏差	0.99	0.98	0.96	0.94	0.98	0.97	1.00	0.90	0.98	1.01	1.03	0.93	0.96
II-8 宿題・課題	平均値	3.81	3.90	3.69	3.65	3.78	3.93	3.78	3.92	3.63	3.60	3.68	3.84	3.93
	標準偏差	1.02	1.04	0.98	1.06	1.00	1.07	1.00	0.96	0.99	0.96	1.00	1.00	1.05
II-9 理解しやすさ	平均値	3.75	3.86	3.69	3.78	3.71	3.94	3.81	3.98	3.45	3.49	3.44	3.77	3.99
	標準偏差	1.01	1.00	0.99	0.98	0.99	1.02	0.99	0.93	1.06	1.03	1.08	0.98	0.99
II-10 見方・考え方が深まる	平均値	3.75	3.83	3.70	3.85	3.74	3.84	3.70	3.83	3.43	3.47	3.44	3.87	3.97
	標準偏差	1.02	1.04	1.01	0.99	1.00	1.08	1.00	1.02	1.05	1.00	1.05	0.97	0.99
III 満足度	平均値	4.00	4.07	3.94	4.03	3.99	4.05	3.97	4.14	3.66	3.69	3.61	3.93	4.13
	標準偏差	0.97	0.98	0.94	0.96	0.96	1.07	0.97	0.97	1.07	1.02	1.07	0.94	0.98

○3の回答が適切である項目

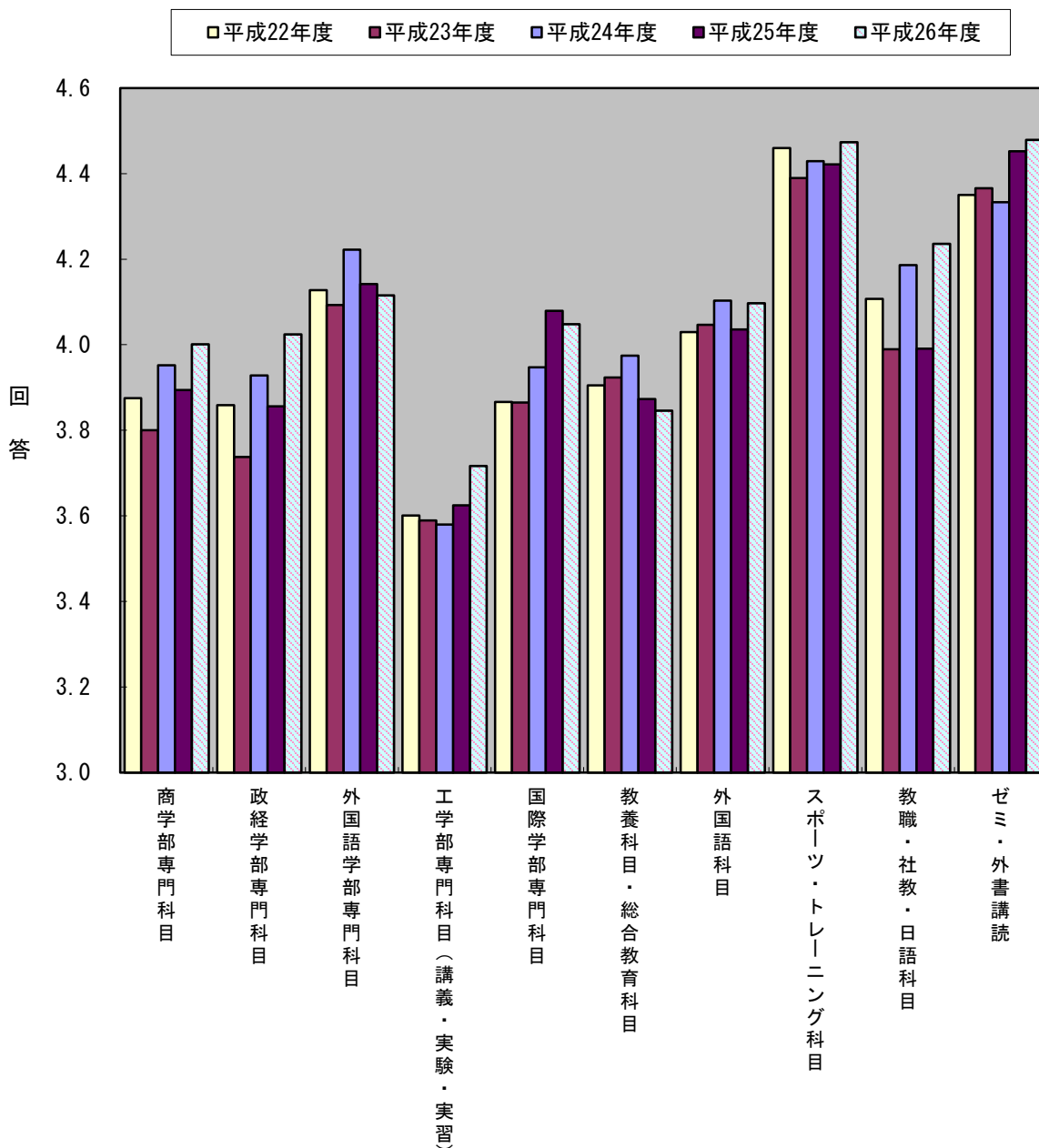
II-2 難易度	平均値	3.43	3.40	3.45	3.40	3.43	3.32	3.40	3.29	3.52	3.51	3.61	3.41	3.34
	標準偏差	0.72	0.70	0.73	0.71	0.73	0.68	0.71	0.69	0.78	0.75	0.80	0.70	0.71
II-4 進度	平均値	3.27	3.23	3.22	3.20	3.22	3.16	3.21	3.13	3.29	3.28	3.33	3.25	3.18
	標準偏差	0.63	0.59	0.59	0.60	0.62	0.57	0.61	0.59	0.68	0.62	0.66	0.61	0.58

○学科別満足度（平均値）



(3) 満足度 平均値

① 学科目別

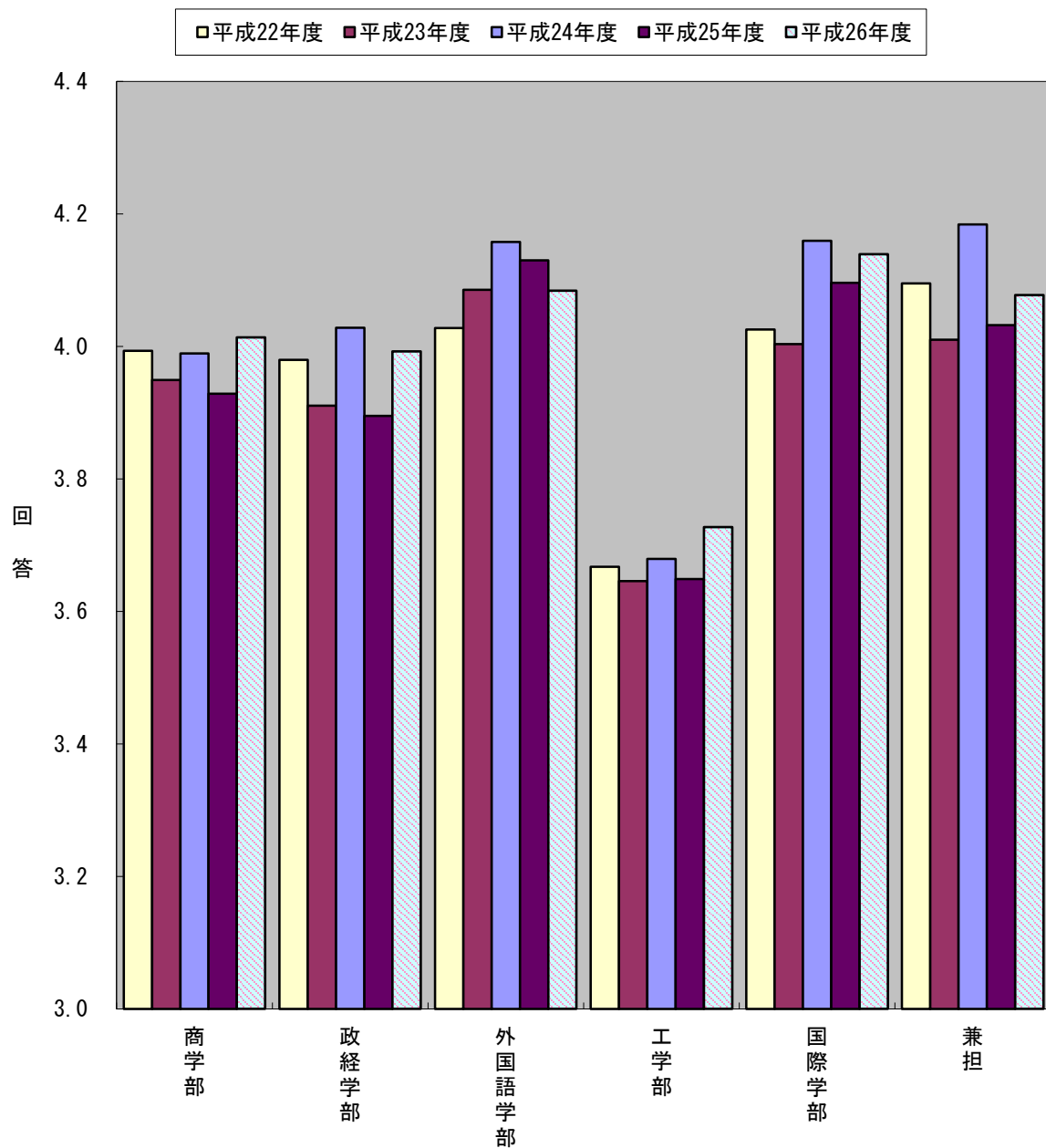


○科目数

平成22年度	126	143	111	116	66	146	471	28	38	39
平成23年度	140	146	115	124	79	138	428	26	32	35
平成24年度	136	132	113	127	73	139	464	26	37	33
平成25年度	144	129	120	132	78	127	446	26	31	31
平成26年度	144	130	111	130	72	90	465	14	33	29

学科目

② 所属別



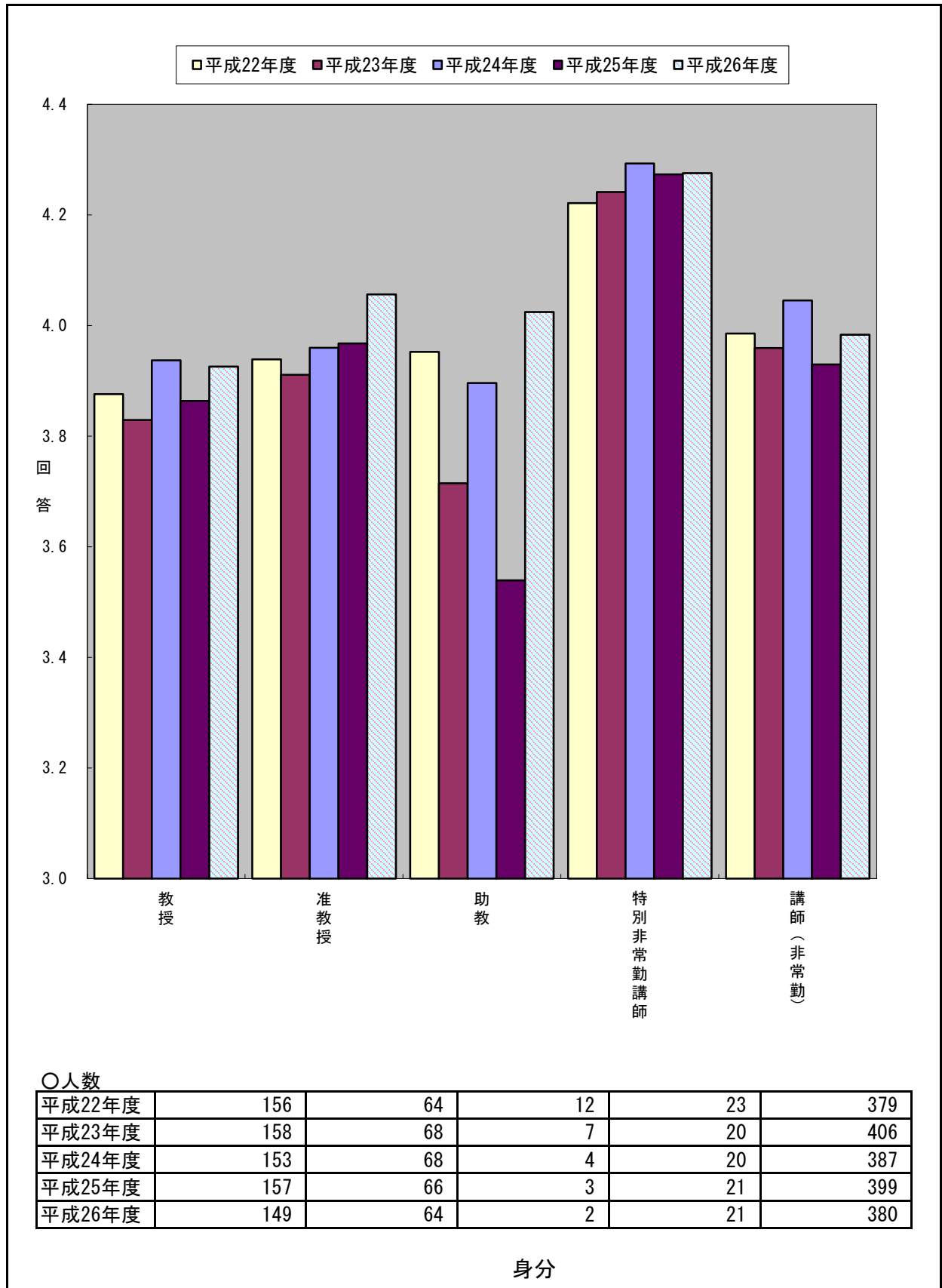
○人数

平成22年度	164	176	88	100	80	26
平成23年度	174	177	84	106	89	30
平成24年度	164	170	81	109	85	23
平成25年度	172	169	85	109	85	26
平成26年度	164	159	82	106	84	21

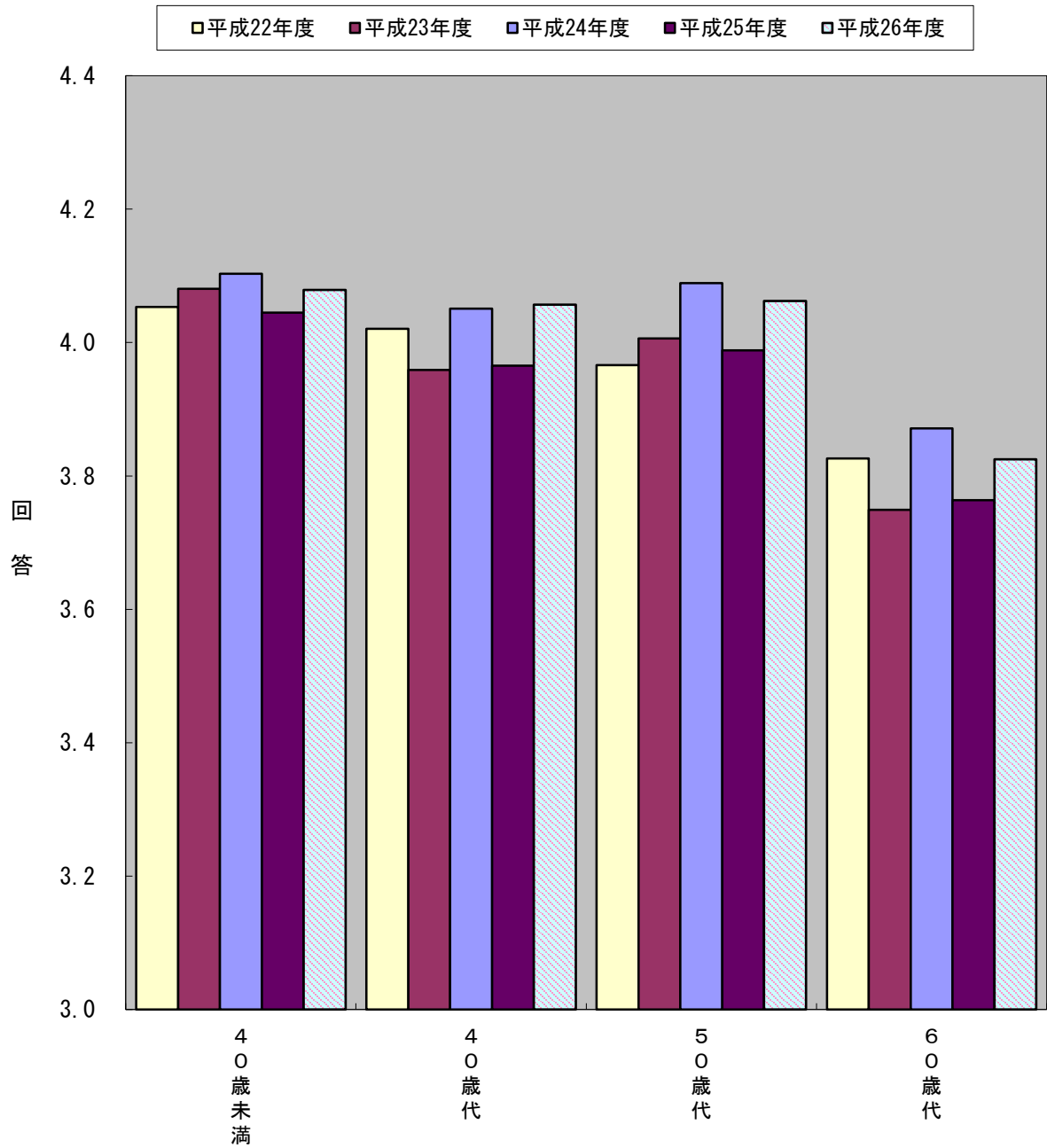
※講師（非常勤）を含む

学部

③ 身分別



④ 年齢別



○人数

平成22年度	106	177	191	160
平成23年度	91	168	211	190
平成24年度	76	168	201	187
平成25年度	74	180	191	201
平成26年度	73	160	178	205

年齢

5. 学科目別 回答の分析

(1) 商学部専門科目

設問／回答	①	②	③	④	⑤
I-1	0.68%	1.16%	9.79%	24.59%	63.78%
I-2	4.26%	4.16%	15.65%	27.96%	47.97%
I-3	58.19%	22.04%	13.24%	3.52%	3.01%
I-4	11.74%	3.06%	46.35%	11.98%	26.86%
I-5	69.78%	11.39%	11.12%	4.31%	3.40%
II-1	1.96%	4.44%	21.86%	33.65%	38.09%
II-2	0.73%	3.08%	56.15%	31.99%	8.05%
II-3	0.75%	2.21%	25.22%	34.69%	37.12%
II-4	0.63%	2.73%	71.28%	20.18%	5.18%
II-5	2.02%	4.76%	17.96%	27.92%	47.33%
II-6	2.49%	4.50%	23.23%	30.67%	39.11%
II-7	1.85%	5.12%	21.44%	31.83%	39.77%
II-8	2.74%	4.65%	34.90%	27.64%	30.07%
II-9	2.53%	6.56%	29.46%	36.11%	25.35%
II-10	3.02%	5.49%	30.28%	34.53%	26.67%
III	2.10%	3.62%	22.35%	35.96%	35.97%

(2) 政経学部専門科目

設問／回答	①	②	③	④	⑤
I-1	0.61%	1.26%	11.80%	27.67%	58.65%
I-2	6.09%	5.59%	18.79%	27.11%	42.43%
I-3	61.93%	20.84%	11.94%	2.91%	2.38%
I-4	17.67%	3.55%	36.82%	13.82%	28.14%
I-5	74.59%	8.92%	9.96%	3.91%	2.63%
II-1	2.09%	3.72%	22.21%	33.39%	38.59%
II-2	0.81%	3.07%	55.18%	33.06%	7.88%
II-3	0.90%	1.52%	25.71%	34.77%	37.09%
II-4	0.81%	3.80%	71.90%	18.68%	4.81%
II-5	1.76%	4.36%	18.48%	29.54%	45.87%
II-6	2.19%	3.87%	21.89%	30.39%	41.66%
II-7	1.73%	3.56%	18.86%	31.43%	44.41%
II-8	3.67%	4.34%	38.49%	26.65%	26.84%
II-9	2.29%	6.60%	29.45%	38.79%	22.87%
II-10	2.76%	4.45%	28.80%	36.79%	27.20%
III	1.83%	3.06%	21.74%	37.62%	35.75%

(3) 外国語学部専門科目

設問／回答	①	②	③	④	⑤
I-1	0.12%	0.58%	8.18%	22.48%	68.65%
I-2	7.85%	6.41%	20.15%	30.77%	34.82%
I-3	43.52%	23.98%	20.81%	8.24%	3.46%
I-4	7.01%	1.56%	58.72%	10.28%	22.43%
I-5	69.27%	14.38%	8.78%	4.62%	2.95%
II-1	2.94%	3.46%	16.71%	33.24%	43.66%
II-2	1.21%	4.27%	61.15%	28.59%	4.78%
II-3	1.16%	1.16%	21.98%	30.54%	45.17%
II-4	0.98%	3.80%	75.97%	15.16%	4.09%
II-5	2.06%	3.12%	14.49%	27.17%	53.15%
II-6	2.19%	2.76%	19.18%	31.11%	44.76%
II-7	1.56%	3.12%	16.98%	30.85%	47.49%
II-8	2.71%	3.51%	26.79%	29.55%	37.44%
II-9	2.19%	4.21%	20.40%	39.65%	33.54%
II-10	3.40%	5.65%	26.21%	34.39%	30.36%
III	2.25%	5.08%	15.75%	32.72%	44.20%

(4) 工学部専門科目 (講義科目)

設問/回答	①	②	③	④	⑤
I-1	0.23%	0.54%	6.51%	18.72%	74.00%
I-2	7.93%	8.83%	24.81%	30.25%	28.18%
I-3	55.12%	23.98%	13.97%	4.23%	2.70%
I-4	11.51%	2.62%	58.35%	8.64%	18.88%
I-5	66.36%	12.59%	12.75%	5.34%	2.95%
II-1	3.74%	6.61%	25.75%	36.19%	27.71%
II-2	0.89%	2.97%	47.02%	36.11%	13.01%
II-3	1.53%	2.21%	31.80%	35.94%	28.52%
II-4	0.70%	2.90%	66.77%	22.89%	6.74%
II-5	3.84%	5.88%	21.33%	31.64%	37.30%
II-6	3.49%	5.50%	25.74%	32.62%	32.65%
II-7	2.59%	6.23%	28.76%	34.36%	28.06%
II-8	3.05%	4.59%	36.75%	32.14%	23.47%
II-9	5.30%	10.48%	33.79%	33.40%	17.04%
II-10	5.31%	8.68%	35.60%	33.00%	17.41%
III	4.57%	6.85%	29.93%	34.53%	24.11%

(5) 工学部専門科目 (実験・実習科目)

設問/回答	①	②	③	④	⑤
I-1	0.08%	0.34%	4.53%	11.59%	83.46%
I-2	14.77%	10.32%	28.52%	24.83%	21.56%
I-3	3.62%	3.71%	21.99%	26.12%	44.57%
I-4	0.77%	3.32%	29.47%	34.24%	32.20%
II-1	1.17%	3.02%	19.10%	37.19%	39.53%
II-2	0.17%	2.09%	42.46%	43.55%	11.73%
II-3	0.42%	1.59%	65.44%	23.60%	8.95%
II-4	2.93%	7.12%	30.57%	36.01%	23.37%
II-5	2.19%	4.63%	23.50%	36.14%	33.53%
II-6	1.42%	4.02%	26.97%	32.91%	34.67%
II-7	1.59%	3.02%	27.30%	35.01%	33.08%
II-8	1.09%	3.60%	28.08%	37.13%	30.09%
II-9	2.01%	5.87%	29.19%	40.60%	22.32%
II-10	1.43%	4.03%	27.35%	43.54%	23.66%
II-11	1.76%	3.77%	30.74%	38.36%	25.38%
III	2.01%	3.35%	27.14%	38.44%	29.06%

(6) 国際学部専門科目

設問/回答	①	②	③	④	⑤
I-1	0.56%	0.93%	14.05%	31.18%	53.28%
I-2	8.58%	9.29%	25.45%	25.25%	31.43%
I-3	61.70%	19.05%	11.60%	3.96%	3.69%
I-4	12.34%	2.91%	34.61%	18.17%	31.97%
I-5	66.51%	10.14%	13.83%	4.86%	4.66%
II-1	2.65%	4.77%	21.13%	29.14%	42.32%
II-2	0.96%	2.48%	63.66%	25.40%	7.51%
II-3	1.23%	2.00%	26.19%	30.98%	39.60%
II-4	0.76%	2.02%	80.35%	12.36%	4.51%
II-5	2.24%	3.77%	18.39%	25.66%	49.95%
II-6	2.42%	4.51%	22.52%	25.01%	45.54%
II-7	1.46%	3.16%	20.58%	27.19%	47.61%
II-8	4.45%	4.75%	37.21%	22.44%	31.16%
II-9	3.29%	5.18%	25.76%	31.74%	34.03%
II-10	2.75%	4.18%	24.21%	31.38%	37.48%
III	2.69%	4.25%	21.87%	27.95%	43.24%

(7) 教養科目

設問／回答	①	②	③	④	⑤
I-1	0.99%	1.03%	11.19%	22.37%	64.42%
I-2	7.99%	7.77%	22.02%	25.28%	36.94%
I-3	69.31%	16.21%	9.15%	2.27%	3.06%
I-4	22.54%	5.30%	35.03%	7.27%	29.85%
I-5	77.23%	8.04%	8.59%	3.10%	3.03%
II-1	4.34%	6.12%	25.98%	31.37%	32.19%
II-2	1.38%	3.59%	58.43%	27.35%	9.25%
II-3	1.76%	2.20%	30.90%	29.87%	35.26%
II-4	0.99%	2.70%	74.81%	15.66%	5.84%
II-5	5.21%	6.12%	21.06%	26.23%	41.38%
II-6	3.71%	4.81%	25.91%	28.80%	36.77%
II-7	2.89%	6.26%	25.02%	29.78%	36.04%
II-8	5.43%	5.93%	41.21%	21.10%	26.33%
II-9	5.12%	7.70%	29.71%	31.71%	25.77%
II-10	5.19%	5.76%	30.97%	30.20%	27.89%
III	4.05%	4.99%	26.61%	31.07%	33.29%

(8) 外国語科目

設問／回答	①	②	③	④	⑤
I-1	0.36%	0.88%	11.73%	23.82%	63.21%
I-2	3.36%	4.19%	18.01%	31.33%	43.12%
I-3	40.01%	31.63%	20.13%	4.83%	3.40%
I-4	2.48%	2.65%	64.48%	9.87%	20.52%
I-5	64.73%	12.87%	12.50%	5.81%	4.09%
II-1	1.75%	3.29%	19.72%	33.72%	41.51%
II-2	1.16%	4.59%	58.61%	28.72%	6.92%
II-3	0.69%	1.55%	24.91%	32.19%	40.67%
II-4	0.85%	3.71%	74.37%	17.19%	3.88%
II-5	1.46%	3.43%	15.88%	27.67%	51.56%
II-6	1.75%	2.97%	22.42%	30.52%	42.34%
II-7	1.38%	3.06%	19.11%	31.29%	45.15%
II-8	1.34%	2.80%	24.23%	31.27%	40.36%
II-9	1.69%	5.24%	24.11%	35.03%	33.93%
II-10	2.71%	5.14%	28.76%	33.30%	30.08%
III	1.74%	3.90%	19.38%	32.88%	42.10%

(9) スポーツ・トレーニング科目

設問／回答	①	②	③	④	⑤
I-1	0.39%	0.39%	10.81%	16.22%	72.20%
I-2	2.30%	2.30%	17.24%	26.82%	51.34%
I-3	0.78%	2.34%	11.33%	27.34%	58.20%
I-4	10.83%	5.00%	39.58%	10.83%	33.75%
II-1	1.15%	0.00%	13.79%	30.65%	54.41%
II-2	4.63%	5.02%	74.13%	10.04%	6.18%
II-3	1.15%	4.98%	85.82%	3.83%	4.21%
II-4	0.76%	4.20%	24.43%	18.70%	51.91%
II-5	0.78%	0.00%	10.98%	23.14%	65.10%
II-6	1.16%	1.54%	15.06%	23.94%	58.30%
II-7	0.00%	1.15%	15.33%	24.14%	59.39%
II-8	0.77%	1.15%	13.79%	23.75%	60.54%
II-9	0.38%	1.15%	14.56%	24.52%	59.39%
II-10	1.15%	1.92%	18.08%	26.92%	51.92%
II-11	0.77%	1.92%	13.46%	25.77%	58.08%
III	1.15%	0.77%	11.92%	21.92%	64.23%

(10) 教職・社教・日語科目

設問／回答	①	②	③	④	⑤
I-1	0.00%	0.27%	11.31%	30.69%	57.74%
I-2	2.57%	3.79%	17.34%	33.20%	43.09%
I-3	59.27%	25.85%	10.96%	1.89%	2.03%
I-4	4.18%	0.38%	69.58%	11.66%	14.20%
I-5	74.12%	12.40%	7.82%	4.04%	1.62%
II-1	0.94%	2.16%	15.36%	37.87%	43.67%
II-2	0.54%	2.02%	69.45%	23.96%	4.04%
II-3	0.27%	1.08%	20.16%	35.05%	43.44%
II-4	0.13%	3.36%	82.91%	11.04%	2.56%
II-5	2.44%	4.58%	14.47%	30.95%	47.56%
II-6	1.75%	3.10%	19.95%	32.35%	42.86%
II-7	1.35%	2.56%	12.80%	32.88%	50.40%
II-8	2.56%	3.37%	28.03%	28.30%	37.74%
II-9	1.21%	3.91%	21.05%	39.81%	34.01%
II-10	1.48%	3.91%	20.24%	37.25%	37.11%
III	1.08%	2.16%	13.61%	38.41%	44.74%

(11) ゼミ・外書講読

設問／回答	①	②	③	④	⑤
I-1	0.35%	1.39%	12.20%	25.09%	60.98%
I-2	9.44%	6.29%	22.03%	24.83%	37.41%
I-3	41.05%	23.86%	24.21%	5.96%	4.91%
I-4	3.53%	1.92%	27.24%	28.85%	38.46%
I-5	51.05%	13.29%	18.53%	8.04%	9.09%
II-1	1.76%	0.70%	13.73%	27.46%	56.34%
II-2	1.75%	3.16%	67.72%	22.46%	4.91%
II-3	1.06%	0.71%	24.38%	21.91%	51.94%
II-4	1.40%	3.15%	86.71%	6.99%	1.75%
II-5	0.73%	0.73%	13.92%	20.88%	63.74%
II-6	0.70%	1.05%	17.54%	27.72%	52.98%
II-7	1.77%	1.42%	12.77%	24.11%	59.93%
II-8	1.76%	1.06%	22.18%	29.23%	45.77%
II-9	1.05%	2.46%	19.30%	29.82%	47.37%
II-10	1.06%	1.76%	18.31%	27.82%	51.06%
III	1.06%	0.35%	11.97%	22.89%	63.73%

(12) 全体（講義科目）

設問／回答	①	②	③	④	⑤
I-1	0.53%	0.95%	10.71%	24.54%	63.28%
I-2	5.90%	6.05%	19.91%	28.49%	39.65%
I-3	55.27%	23.40%	14.40%	3.89%	3.03%
I-4	12.93%	3.26%	46.40%	11.60%	25.81%
I-5	69.67%	11.08%	11.20%	4.63%	3.41%
II-1	2.56%	4.45%	21.94%	33.26%	37.80%
II-2	1.00%	3.46%	57.00%	30.33%	8.22%
II-3	1.05%	1.83%	26.62%	33.02%	37.49%
II-4	0.79%	3.17%	73.41%	17.72%	4.90%
II-5	2.52%	4.50%	18.17%	28.16%	46.64%
II-6	2.51%	4.06%	23.09%	30.12%	40.22%
II-7	1.89%	4.31%	21.29%	31.18%	41.33%
II-8	3.12%	4.23%	33.72%	27.65%	31.28%
II-9	3.00%	6.58%	27.77%	35.23%	27.43%
II-10	3.42%	5.49%	29.37%	33.60%	28.11%
III	2.57%	4.24%	22.43%	33.80%	36.96%

6. 学部設問項目 平均値・標準偏差

(1) 外国語学部

設問項目		教員別	科目数	平均値	標準偏差
IV-1	この授業で使う教室の大きさ、施設・設備などは適切ですか	専任教員	88	4.34	0.84
		講師(非常勤)	76	4.11	0.99
IV-2	このクラスの学生数は適切ですか	専任教員	88	4.36	0.82
		講師(非常勤)	76	4.13	0.96

(2) 工学部

設問項目		教員別	科目数	平均値	標準偏差
IV-1	宿題や課題にどれくらい取り組んでいますか	専任教員	79	3.55	1.12
		講師(非常勤)	61	3.38	1.14
IV-2	この授業の内容について、どれくらい質問していますか	専任教員	79	2.39	1.24
		講師(非常勤)	61	2.33	1.21
IV-3	この授業で設定している到達目標について、知識や技術が身につきましたか	専任教員	79	3.31	1.03
		講師(非常勤)	61	3.27	1.02

(3) 国際学部

設問項目		教員別	科目数	平均値	標準偏差
IV-1	授業の開始時間、終了時間は守られている	専任教員	97	4.54	0.78
		講師(非常勤)	173	4.56	0.75
IV-2	出欠はきちんととられている	専任教員	97	4.52	0.87
		講師(非常勤)	173	4.63	0.72
IV-3	授業中、学生同士の私語はない	専任教員	97	4.20	0.98
		講師(非常勤)	173	3.82	1.13
IV-4	1年生は今後進むコースを、2年生以降は所属するコースを選んでください。①国際協力、①国際経済、②国際政治、③国際文化、④国際観光、⑤農業総合	専任教員	97	2.58	1.46
		講師(非常勤)	173	2.70	1.45

コース・分野・学科別集計

1. 商学部専門科目（コース別）

区 分 項 目	学 科 コ ー ス 科 目 数	経 営			国際ビジネス	会 計	全 体
		経 営	経営情報	流 通	国際ビジネス		
I-1	平 均 値	4.44	4.44	4.55	4.48	4.49	4.49
	標準偏差	0.84	0.80	0.70	0.78	0.78	0.77
I-2	平 均 値	4.28	3.76	4.31	4.01	4.05	4.15
	標準偏差	1.01	1.21	0.93	1.10	1.04	1.05
I-3	平 均 値	1.67	1.57	1.72	1.76	1.82	1.72
	標準偏差	1.02	0.91	1.04	1.01	1.03	1.02
I-5	平 均 値	1.60	1.53	1.56	1.69	1.65	1.61
	標準偏差	1.08	0.95	1.03	1.13	1.08	1.07
II-1	平 均 値	4.03	3.89	3.99	4.10	4.02	4.02
	標準偏差	0.99	0.97	0.95	0.96	0.98	0.97
II-3	平 均 値	4.02	3.96	4.03	4.09	4.10	4.05
	標準偏差	0.90	0.90	0.86	0.87	0.88	0.88
II-5	平 均 値	4.26	4.10	4.02	4.17	4.16	4.13
	標準偏差	0.93	0.94	1.09	0.98	0.97	1.01
II-6	平 均 値	4.01	4.05	3.92	4.11	3.97	4.00
	標準偏差	1.02	0.97	1.03	0.97	1.04	1.01
II-7	平 均 値	4.02	4.02	3.89	4.12	4.18	4.03
	標準偏差	1.00	0.97	1.01	0.96	0.91	0.98
II-8	平 均 値	3.77	3.85	3.73	3.83	3.82	3.79
	標準偏差	1.01	1.02	1.03	1.01	0.95	1.01
II-9	平 均 値	3.79	3.58	3.81	3.82	3.60	3.75
	標準偏差	0.97	0.98	0.92	0.98	1.09	0.98
II-10	平 均 値	3.82	3.64	3.82	3.86	3.60	3.78
	標準偏差	0.99	0.94	0.95	0.99	1.06	0.99
III	平 均 値	4.08	3.86	4.01	4.05	3.96	4.01
	標準偏差	0.93	0.93	0.92	0.98	0.98	0.95

※情報リテラシーを除く

※3の回答が適切である項目

II-2	平 均 値	3.36	3.56	3.34	3.46	3.58	3.43
	標準偏差	0.67	0.72	0.67	0.72	0.77	0.71
II-4	平 均 値	3.19	3.36	3.30	3.22	3.28	3.26
	標準偏差	0.58	0.70	0.62	0.60	0.65	0.62

※I-4「受講動機」回答の分布（複数回答可）

単位：%

回 答 / コ ー ス	経 営	経営情報	流 通	国際ビジネス	会 計	全 体
⑤. 講義への興味	12.1	14.2	11.4	10.6	9.9	11.4
④. 教員にひかれて	3.2	1.8	3.3	3.5	2.3	3.0
③. 単位が必要	44.8	50.7	44.8	42.3	53.7	46.0
②. 単位取得が楽	14.9	8.8	11.5	11.4	13.6	12.3
①. 時間帯が空いている	25.0	24.4	28.9	32.3	20.6	27.2
合 計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

2. 政経学部専門科目（分野別）

区 分	分 野	法 律	政 治	行 政	経 済	そ の 他	全 体
設 問	科 目 数	30	24	7	49	26	136
I - 1	平 均 値	4.48	4.34	4.32	4.41	4.55	4.43
	標 準 偏 差	0.79	0.83	0.77	0.79	0.76	0.79
I - 2	平 均 値	4.00	4.18	3.86	3.99	3.52	3.95
	標 準 偏 差	1.12	1.05	1.14	1.14	1.41	1.18
I - 3	平 均 値	1.59	1.66	1.58	1.65	1.60	1.63
	標 準 偏 差	0.96	0.98	0.94	0.98	0.96	0.97
I - 5	平 均 値	1.49	1.50	1.53	1.50	1.55	1.51
	標 準 偏 差	1.01	0.98	0.99	0.99	1.04	1.00
II - 1	平 均 値	4.04	4.02	4.08	4.01	3.99	4.02
	標 準 偏 差	0.97	0.96	0.93	0.99	0.98	0.98
II - 3	平 均 値	4.08	3.98	4.13	4.07	4.06	4.06
	標 準 偏 差	0.86	0.87	0.79	0.90	0.87	0.88
II - 5	平 均 値	4.17	4.14	4.20	4.11	4.11	4.13
	標 準 偏 差	0.95	0.99	0.93	1.00	0.97	0.98
II - 6	平 均 値	4.04	3.96	4.12	4.06	4.03	4.04
	標 準 偏 差	0.99	1.07	0.92	0.99	0.98	1.00
II - 7	平 均 値	4.14	4.26	4.15	4.06	4.12	4.12
	標 準 偏 差	0.97	0.86	0.95	0.99	1.01	0.97
II - 8	平 均 値	3.57	3.51	3.58	3.77	3.73	3.68
	標 準 偏 差	1.08	1.07	1.01	0.99	1.04	1.04
II - 9	平 均 値	3.70	3.85	3.78	3.70	3.71	3.72
	標 準 偏 差	0.97	0.93	0.87	0.97	1.00	0.97
II - 10	平 均 値	3.82	3.97	3.95	3.76	3.68	3.80
	標 準 偏 差	0.99	0.95	0.85	0.98	1.02	0.98
III	平 均 値	3.98	4.11	4.11	4.00	3.94	4.01
	標 準 偏 差	0.94	0.92	0.90	0.94	0.96	0.94

※その他：基礎科目、情報科目等

※3の回答が適切である項目

II - 2	平 均 値	3.54	3.36	3.30	3.45	3.47	3.45
	標 準 偏 差	0.70	0.69	0.62	0.73	0.77	0.72
II - 4	平 均 値	3.27	3.21	3.25	3.20	3.31	3.24
	標 準 偏 差	0.62	0.59	0.66	0.64	0.65	0.63

※I-4「受講動機」回答の分布（複数回答可）

単位：%

回 答 / 分 野	法 律	政 治	行 政	経 済	そ の 他	全 体
⑤. 講義への興味	18.1	16.9	16.7	18.6	14.7	17.7
④. 教員にひかれて	3.1	3.0	5.2	3.8	3.6	3.6
③. 単位が必要	35.1	30.5	39.2	37.7	47.5	37.2
②. 単位取得が楽	11.9	17.5	14.4	14.2	7.9	13.5
①. 時間帯が空いている	31.8	32.0	24.5	25.7	26.3	28.0
合 計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

3. 外国語学部専門科目（学科別）

区 分	学 科	英米語	中国語	スペイン語	自由科目	全 体
設 問	科目数	39	36	28	8	111
I-1	平均値	4.64	4.53	4.61	4.54	4.59
	標準偏差	0.63	0.69	0.68	0.75	0.67
I-2	平均値	3.80	3.96	4.00	2.72	3.78
	標準偏差	1.22	1.07	1.08	1.30	1.21
I-3	平均値	2.09	2.05	2.31	1.31	2.04
	標準偏差	1.14	1.11	1.17	0.75	1.13
I-5	平均値	1.36	1.86	1.60	1.45	1.58
	標準偏差	0.85	1.16	0.99	1.03	1.03
II-1	平均値	4.13	4.01	4.28	4.02	4.11
	標準偏差	1.01	1.00	0.91	1.05	1.00
II-3	平均値	4.18	4.13	4.32	3.99	4.17
	標準偏差	0.89	0.88	0.82	1.00	0.89
II-5	平均値	4.36	4.11	4.43	4.04	4.26
	標準偏差	0.91	1.01	0.84	1.09	0.96
II-6	平均値	4.24	3.98	4.25	3.98	4.13
	標準偏差	0.93	0.98	0.94	1.01	0.96
II-7	平均値	4.32	4.05	4.32	3.93	4.20
	標準偏差	0.85	0.99	0.87	1.04	0.93
II-8	平均値	4.05	3.87	3.98	3.83	3.96
	標準偏差	1.01	0.99	1.02	1.06	1.01
II-9	平均値	4.06	3.89	4.08	3.79	3.98
	標準偏差	0.94	0.94	0.94	1.01	0.95
II-10	平均値	3.92	3.68	3.95	3.66	3.83
	標準偏差	1.00	1.04	0.98	1.14	1.03
III	平均値	4.19	4.02	4.24	3.88	4.12
	標準偏差	0.97	0.98	0.98	1.11	1.00

※3の回答が適切である項目

II-2	平均値	3.28	3.36	3.25	3.45	3.31
	標準偏差	0.64	0.69	0.66	0.82	0.69
II-4	平均値	3.09	3.25	3.15	3.30	3.18
	標準偏差	0.51	0.67	0.52	0.76	0.60

※I-4「受講動機」回答の分布（複数回答可）

単位：%

回 答 / 学 科	英米語	中国語	スペイン語	自由科目	全 体
⑤. 講義への興味	9.1	3.8	7.3	6.6	7.0
④. 教員にひかれて	0.8	1.5	2.4	2.9	1.6
③. 単位が必要	50.9	69.2	57.1	65.4	58.7
②. 単位取得が楽	9.1	11.0	13.5	5.9	10.3
①. 時間帯が空いている	30.1	14.5	19.7	19.1	22.4
合 計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

4. 工学部専門科目

(1) 実験・実習科目 (学科別)

区分	学科	機械	電子システム	情報	デザイン	基礎教育	全体
設問	科目数	5	6	4	9	3	27
I-1	平均値	4.87	4.83	4.76	4.64	4.94	4.78
	標準偏差	0.41	0.50	0.64	0.62	0.28	0.54
I-2	平均値	2.71	2.97	3.54	3.56	4.52	3.28
	標準偏差	1.39	1.27	1.17	1.15	0.82	1.31
I-3	平均値	3.88	3.96	4.08	4.06	4.69	4.04
	標準偏差	1.20	1.10	0.99	1.01	0.58	1.07
I-4	平均値	3.98	4.07	4.01	3.68	4.20	3.94
	標準偏差	0.91	0.86	0.90	0.93	0.70	0.90
II-1	平均値	4.14	4.08	4.07	4.11	4.22	4.11
	標準偏差	0.92	0.87	0.94	0.90	0.80	0.89
II-4	平均値	3.71	3.71	3.50	3.80	3.56	3.70
	標準偏差	0.94	0.97	1.11	1.01	0.92	1.00
II-5	平均値	3.97	3.83	3.88	4.11	3.79	3.94
	標準偏差	0.95	0.96	1.00	0.97	0.96	0.97
II-6	平均値	4.05	3.87	3.94	3.99	3.94	3.95
	標準偏差	0.95	0.95	0.94	0.94	0.96	0.95
II-7	平均値	4.05	3.86	3.94	3.97	4.00	3.95
	標準偏差	0.90	0.97	0.89	0.93	0.88	0.93
II-8	平均値	3.98	3.90	3.93	3.81	4.21	3.92
	標準偏差	0.86	0.91	0.91	0.92	0.84	0.90
II-9	平均値	3.75	3.68	3.66	3.89	3.70	3.75
	標準偏差	0.93	0.87	1.05	0.91	0.99	0.93
II-10	平均値	3.78	3.79	3.81	3.97	3.76	3.84
	標準偏差	0.89	0.87	0.96	0.85	0.79	0.88
II-11	平均値	3.72	3.72	3.73	4.01	3.84	3.82
	標準偏差	0.93	0.86	1.00	0.89	0.89	0.91
III	平均値	3.90	3.84	3.80	3.98	3.88	3.89
	標準偏差	0.90	0.90	1.03	0.93	0.91	0.93

※3の回答が適切である項目

II-2	平均値	3.58	3.62	3.73	3.65	3.78	3.65
	標準偏差	0.77	0.72	0.72	0.68	0.65	0.72
II-3	平均値	3.42	3.35	3.34	3.47	3.28	3.39
	標準偏差	0.76	0.65	0.66	0.71	0.60	0.69

(注) : 「実験・実習用アンケート」で実施した演習等科目を含む。

(2) 学科・学科目別(講義科目)

区分	学科	機 械	電子システム	情 報	デザイン	基礎教育系列	全 体
設 問	科目数	20	24	19	14	26	103
I-1	平均値	4.76	4.74	4.59	4.59	4.57	4.66
	標準偏差	0.55	0.60	0.71	0.63	0.70	0.64
I-2	平均値	3.82	3.56	3.54	3.52	3.67	3.62
	標準偏差	1.15	1.30	1.12	1.18	1.21	1.20
I-3	平均値	1.68	1.76	1.77	1.85	1.72	1.75
	標準偏差	0.99	1.01	1.06	1.07	0.97	1.02
I-5	平均値	1.63	1.66	1.63	1.68	1.70	1.66
	標準偏差	1.05	1.04	1.09	1.09	1.12	1.07
II-1	平均値	3.72	3.80	3.67	3.93	3.78	3.78
	標準偏差	1.05	1.02	1.06	1.00	1.05	1.04
II-3	平均値	3.82	3.86	3.86	3.97	3.90	3.88
	標準偏差	0.91	0.89	0.89	0.89	0.94	0.90
II-5	平均値	3.86	3.89	3.89	4.04	4.00	3.93
	標準偏差	1.09	1.06	1.10	1.07	1.06	1.08
II-6	平均値	3.78	3.83	3.82	4.09	3.79	3.85
	標準偏差	1.02	1.02	1.07	0.98	1.12	1.05
II-7	平均値	3.77	3.72	3.71	4.01	3.81	3.79
	標準偏差	1.00	1.02	1.02	0.90	1.02	1.00
II-8	平均値	3.59	3.52	3.71	3.88	3.82	3.68
	標準偏差	1.00	0.97	0.96	0.95	0.97	0.98
II-9	平均値	3.44	3.43	3.27	3.79	3.47	3.46
	標準偏差	1.06	1.03	1.10	0.94	1.07	1.06
II-10	平均値	3.38	3.44	3.37	3.92	3.41	3.49
	標準偏差	1.04	1.01	1.06	0.95	1.06	1.04
III	平均値	3.62	3.63	3.53	3.89	3.73	3.67
	標準偏差	1.08	1.01	1.09	0.96	1.10	1.06

※3の回答が適切である項目

II-2	平均値	3.55	3.59	3.78	3.44	3.47	3.57
	標準偏差	0.80	0.80	0.79	0.73	0.75	0.79
II-4	平均値	3.30	3.32	3.37	3.31	3.29	3.32
	標準偏差	0.68	0.66	0.70	0.63	0.68	0.67

※I-4「受講動機」回答の分布(複数回答可)

単位：%

回答/学科	機 械	電子システム	情 報	デザイン	基礎教育系列	全 体
⑤. 講義への興味	9.6	10.6	14.9	11.2	10.9	11.5
④. 教員にひかれて	1.6	3.7	3.0	1.5	3.0	2.6
③. 単位が必要	61.1	60.1	57.5	52.9	59.6	58.3
②. 単位取得が楽	9.8	8.0	8.3	8.6	8.7	8.6
①. 時間帯が空いている	17.9	17.6	16.3	25.8	17.8	18.9
合 計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

5. 国際学部科目

(1) 英語群 (配当学年、回答者の学年で分類)

区 分	回答者学年	1年配当 (1年)	1年配当 (2～4年)	2年配当 (2年)	2年配当 (3・4年)	3・4年配当 (3・4年)	全 体
設 問	科 目 数	54	25	42	24	2	98
I-1	平 均 値	4.63	4.00	4.49	3.82	4.50	4.53
	標 準 偏 差	0.64	0.93	0.72	0.82	0.50	0.71
I-2	平 均 値	3.87	3.77	3.74	3.41	5.00	3.80
	標 準 偏 差	1.14	0.94	1.17	1.14	0.00	1.15
I-3	平 均 値	2.01	2.27	2.14	1.94	2.75	2.07
	標 準 偏 差	1.01	1.29	1.08	0.91	1.09	1.05
I-5	平 均 値	1.58	2.11	1.77	1.85	1.75	1.69
	標 準 偏 差	1.02	1.43	1.15	1.13	0.83	1.10
II-1	平 均 値	4.16	4.30	4.13	4.12	5.00	4.15
	標 準 偏 差	0.95	0.84	0.98	0.80	0.00	0.96
II-3	平 均 値	4.10	4.18	4.18	4.38	4.50	4.15
	標 準 偏 差	0.89	0.80	0.88	0.64	0.50	0.88
II-5	平 均 値	4.31	4.34	4.37	4.47	5.00	4.34
	標 準 偏 差	0.93	0.90	0.84	0.71	0.00	0.89
II-6	平 均 値	4.19	4.31	4.21	4.35	5.00	4.21
	標 準 偏 差	0.93	0.78	0.88	0.68	0.00	0.90
II-7	平 均 値	4.26	4.18	4.22	4.35	5.00	4.25
	標 準 偏 差	0.92	0.88	0.94	0.72	0.00	0.92
II-8	平 均 値	4.19	4.38	4.16	4.32	5.00	4.19
	標 準 偏 差	0.92	0.74	0.97	0.63	0.00	0.93
II-9	平 均 値	4.13	4.31	4.15	4.24	4.75	4.14
	標 準 偏 差	0.90	0.81	0.84	0.73	0.43	0.87
II-10	平 均 値	3.93	4.13	4.02	4.06	4.75	3.98
	標 準 偏 差	0.96	0.96	0.97	0.84	0.43	0.96
III	平 均 値	4.19	4.41	4.22	4.53	5.00	4.22
	標 準 偏 差	0.93	0.72	0.93	0.65	0.00	0.92

※3の回答が適切である項目

II-2	平 均 値	3.21	3.11	3.27	3.09	3.00	3.23
	標 準 偏 差	0.78	0.64	0.70	0.56	0.00	0.73
II-4	平 均 値	3.12	3.07	3.15	3.06	3.00	3.13
	標 準 偏 差	0.59	0.39	0.52	0.34	0.00	0.55

※I-4「受講動機」回答の分布 (複数回答可)

単位：%

回 答 / 学 科	1年配当 (1年)	1年配当 (2～4年)	2年配当 (2年)	2年配当 (3・4年)	3・4年配当 (3・4年)	全 体
⑤. 講義への興味	3.7	2.9	2.6	0.0	0.0	3.1
④. 教員にひかれて	2.3	2.9	2.2	0.0	0.0	2.3
③. 単位が必要	63.5	62.9	71.9	71.4	0.0	67.1
②. 単位取得が楽	10.5	20.0	10.1	7.1	0.0	10.6
①. 時間帯が空いている	19.9	11.4	13.2	21.4	100.0	17.0
合 計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

(2) 地域言語群 (配当学年、回答者の学年で分類)

区 分	回答者の学年	1年配当 (1年)	1年配当 (2~4年)	2年配当 (2年)	2年配当 (3・4年)	3・4年配当 (3・4年)	全 体
設 問	科目数	56	21	55	22	20	114
I-1	平均値	4.59	3.86	4.46	4.00	4.70	4.50
	標準偏差	0.68	1.11	0.76	0.87	0.56	0.75
I-2	平均値	4.34	3.81	4.20	4.03	4.45	4.26
	標準偏差	0.91	1.05	0.98	0.82	0.78	0.95
I-3	平均値	2.04	2.17	2.09	2.06	1.80	2.06
	標準偏差	1.09	1.13	1.09	0.94	0.95	1.09
I-5	平均値	1.75	1.86	1.76	2.03	1.58	1.76
	標準偏差	1.22	1.18	1.19	1.46	1.14	1.21
II-1	平均値	4.19	4.33	4.25	4.29	4.55	4.22
	標準偏差	0.93	0.78	0.91	0.92	0.67	0.92
II-3	平均値	4.16	4.08	4.18	4.18	4.38	4.17
	標準偏差	0.88	0.83	0.89	0.78	0.75	0.88
II-5	平均値	4.28	4.50	4.31	4.19	4.73	4.30
	標準偏差	0.95	0.73	0.91	1.07	0.63	0.93
II-6	平均値	4.10	4.31	4.17	4.12	4.55	4.13
	標準偏差	1.00	0.94	0.98	1.05	0.80	0.99
II-7	平均値	4.05	4.25	4.20	4.26	4.78	4.12
	標準偏差	1.00	0.79	0.91	0.85	0.55	0.96
II-8	平均値	4.13	4.06	4.10	4.26	4.48	4.12
	標準偏差	0.94	0.88	0.98	0.78	0.85	0.95
II-9	平均値	3.99	3.97	4.02	3.88	4.48	4.00
	標準偏差	1.03	0.99	0.96	1.08	0.76	1.00
II-10	平均値	3.95	4.14	4.03	3.94	4.47	3.99
	標準偏差	1.01	0.89	0.94	1.06	0.76	0.98
III	平均値	4.16	4.14	4.21	4.12	4.78	4.18
	標準偏差	0.99	0.85	0.88	1.07	0.55	0.95

※3の回答が適切である項目

II-2	平均値	3.43	3.53	3.43	3.56	3.28	3.43
	標準偏差	0.75	0.80	0.74	0.65	0.52	0.75
II-4	平均値	3.31	3.25	3.26	3.26	3.08	3.29
	標準偏差	0.66	0.60	0.68	0.56	0.33	0.66

※I-4「受講動機」回答の分布 (複数回答可)

単位：%

回 答 / 学 科	1年配当 (1年)	1年配当 (2~4年)	2年配当 (2年)	2年配当 (3・4年)	3・4年配当 (3・4年)	全 体
⑤. 講義への興味	1.8	14.3	1.3	0.0	6.7	2.0
④. 教員にひかれて	2.4	0.0	2.8	0.0	4.0	2.4
③. 単位が必要	48.5	57.1	62.0	65.4	5.3	55.0
②. 単位取得が楽	12.9	8.6	12.2	11.5	41.3	12.4
①. 時間帯が空いている	34.4	20.0	21.6	23.1	42.7	28.1
合 計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

(3) 基礎科目群 (回答者の学年で分類)

区 分	回答者の学年	1年	2年	3・4年	全 体
設 問	科目数	16	15	12	23
I-1	平均値	4.68	4.47	4.29	4.59
	標準偏差	0.61	0.69	0.84	0.68
I-2	平均値	3.73	4.16	3.78	3.80
	標準偏差	1.36	1.01	1.25	1.31
I-3	平均値	1.45	1.77	1.60	1.52
	標準偏差	0.89	1.05	0.97	0.93
I-5	平均値	1.47	2.01	1.51	1.55
	標準偏差	1.02	1.36	1.07	1.10
II-1	平均値	4.18	4.43	4.33	4.24
	標準偏差	0.96	0.89	0.82	0.93
II-3	平均値	4.13	4.36	4.29	4.19
	標準偏差	0.91	0.82	0.85	0.89
II-5	平均値	4.21	4.55	4.36	4.29
	標準偏差	1.01	0.68	0.85	0.95
II-6	平均値	4.05	4.40	4.25	4.13
	標準偏差	1.04	0.90	0.90	1.01
II-7	平均値	3.85	4.42	4.24	4.00
	標準偏差	1.16	0.74	0.89	1.09
II-8	平均値	3.71	4.18	3.89	3.81
	標準偏差	1.15	0.94	0.92	1.10
II-9	平均値	3.97	4.34	4.22	4.06
	標準偏差	0.96	0.75	0.77	0.91
II-10	平均値	3.73	4.29	4.11	3.87
	標準偏差	1.02	0.82	0.90	1.00
III	平均値	4.06	4.37	4.25	4.14
	標準偏差	0.97	0.85	0.97	0.96

※3の回答が適切である項目

II-2	平均値	3.29	3.31	3.24	3.28
	標準偏差	0.73	0.63	0.56	0.69
II-4	平均値	3.15	3.01	3.11	3.12
	標準偏差	0.63	0.47	0.50	0.59

※I-4「受講動機」回答の分布 (複数回答可)

単位：%

回 答 / 学 科	1年	2年	3・4年	全 体
⑤. 講義への興味	14.9	8.3	13.1	13.6
④. 教員にひかれて	5.6	2.4	0.9	4.2
③. 単位が必要	45.1	39.3	30.8	41.5
②. 単位取得が楽	8.0	11.9	18.7	10.6
①. 時間帯が空いている	26.5	38.1	36.4	30.1
合 計	100.0	100.0	100.0	100.0

(4) 専門共通科目（回答者の所属で分類）

区分	科目区分	専門(1年)	専門(2年)	専門(3・4年)	全体
設問	科目数	14	15	15	17
I-1	平均値	4.60	4.35	4.21	4.50
	標準偏差	0.74	0.82	0.87	0.79
I-2	平均値	3.67	3.88	3.86	3.73
	標準偏差	1.28	1.16	1.16	1.25
I-3	平均値	1.60	1.71	1.66	1.62
	標準偏差	1.06	1.04	1.04	1.05
I-5	平均値	1.56	1.64	1.64	1.58
	標準偏差	1.10	1.10	1.09	1.10
II-1	平均値	3.98	4.16	4.00	4.00
	標準偏差	1.05	0.98	1.07	1.05
II-3	平均値	4.02	4.10	3.95	4.01
	標準偏差	0.93	0.88	0.96	0.93
II-5	平均値	4.14	4.34	4.29	4.19
	標準偏差	1.02	0.86	0.93	0.99
II-6	平均値	3.91	4.09	3.97	3.94
	標準偏差	1.09	1.05	1.05	1.08
II-7	平均値	4.02	4.38	4.15	4.08
	標準偏差	1.05	0.87	0.89	1.01
II-8	平均値	3.56	3.69	3.67	3.59
	標準偏差	1.14	1.07	1.01	1.11
II-9	平均値	3.73	3.90	3.88	3.78
	標準偏差	1.13	1.05	1.03	1.11
II-10	平均値	3.85	4.09	3.94	3.89
	標準偏差	1.08	0.98	1.08	1.07
III	平均値	3.94	4.21	4.06	3.99
	標準偏差	1.09	1.05	1.04	1.08

※3の回答が適切である項目

II-2	平均値	3.45	3.46	3.43	3.44
	標準偏差	0.75	0.67	0.69	0.73
II-4	平均値	3.23	3.12	3.15	3.20
	標準偏差	0.64	0.50	0.49	0.60

※I-4「受講動機」回答の分布（複数回答可）

単位：%

回答 / 科目区分	専門(1年)	専門(2年)	専門(3・4年)	全体
⑤. 講義への興味	15.5	14.0	10.6	14.4
④. 教員にひかれて	2.2	4.7	2.8	2.5
③. 単位が必要	31.3	32.6	38.5	32.9
②. 単位取得が楽	13.1	11.6	19.6	14.3
①. 時間帯が空いている	37.9	37.2	28.5	36.0
合計	100.0	100.0	100.0	100.0

(5) 専門コース科目（回答者の所属で分類）

区分	科目区分	国際協力		国際経済		国際政治		国際文化		国際観光		農業総合		専門コース科目	
	科目数	20		11		10		7		5		2		55	
設問	学生所属	全体	主専攻	全体	主専攻	全体	主専攻	全体	主専攻	全体	主専攻	全体	主専攻	全体	主専攻
I-1	平均値	4.25	4.18	4.26	4.40	4.26	4.23	4.36	4.25	4.39	4.51	4.25	4.62	4.30	4.33
	標準偏差	0.79	0.88	0.79	0.86	0.79	0.85	0.78	0.79	0.77	0.71	0.79	0.62	0.79	0.79
I-2	平均値	3.29	3.25	3.52	4.07	3.47	3.28	3.55	3.28	3.79	4.54	3.36	4.35	3.57	3.60
	標準偏差	1.23	1.04	1.24	1.16	1.24	1.34	1.26	1.21	1.26	0.91	1.23	0.73	1.25	1.27
I-3	平均値	1.72	1.75	1.74	2.01	1.69	1.48	1.69	1.80	1.70	1.54	1.67	1.35	1.70	1.73
	標準偏差	1.08	0.94	1.06	1.09	1.06	0.86	1.07	1.18	1.07	0.75	1.07	0.48	1.05	1.06
I-5	平均値	1.75	1.58	1.77	1.93	1.75	1.68	1.64	1.73	1.71	1.65	1.76	1.88	1.73	1.75
	標準偏差	1.16	0.97	1.15	1.23	1.15	1.03	1.12	1.19	1.18	1.06	1.18	1.05	1.15	1.15
II-1	平均値	3.95	3.75	4.01	4.40	4.11	4.04	3.96	3.67	4.01	4.26	3.97	4.38	4.05	4.04
	標準偏差	1.01	0.94	1.01	0.85	1.02	1.15	1.07	1.13	1.00	0.96	1.00	0.92	1.02	1.03
II-3	平均値	3.99	3.94	4.03	4.39	4.08	4.08	4.03	3.81	4.04	4.22	4.02	4.35	4.07	4.06
	標準偏差	0.90	0.76	0.91	0.83	0.92	0.99	0.92	0.98	0.93	0.93	0.90	0.73	0.91	0.93
II-5	平均値	4.10	3.97	4.12	4.54	4.25	4.29	4.01	3.67	4.10	4.47	4.14	4.63	4.17	4.15
	標準偏差	1.00	0.89	1.03	0.74	0.97	1.08	1.09	1.12	0.99	0.74	0.98	0.63	1.00	1.02
II-6	平均値	4.04	3.90	4.03	4.39	4.16	4.23	4.01	3.74	4.01	4.25	4.11	4.73	4.12	4.08
	標準偏差	1.01	0.98	1.04	0.96	1.03	1.11	1.04	1.06	0.99	0.97	0.98	0.52	1.01	1.03
II-7	平均値	4.13	4.11	4.18	4.43	4.22	4.35	4.02	3.59	4.08	4.36	4.16	4.69	4.19	4.18
	標準偏差	0.93	0.79	0.93	0.89	0.93	0.93	0.99	0.97	0.96	0.89	0.90	0.54	0.93	0.93
II-8	平均値	3.69	3.67	3.71	4.15	3.71	3.67	3.68	3.54	3.76	3.94	3.68	3.96	3.75	3.78
	標準偏差	1.08	0.93	1.09	1.13	1.10	1.16	1.06	1.04	1.03	0.96	1.07	0.98	1.08	1.07
II-9	平均値	3.85	3.67	3.86	4.13	3.97	3.88	3.76	3.70	3.92	4.20	3.88	4.38	3.92	3.93
	標準偏差	0.96	0.84	1.00	0.96	0.99	1.20	1.06	0.98	1.01	0.96	0.96	0.68	1.01	1.01
II-10	平均値	3.90	3.72	3.92	4.24	4.06	4.07	3.86	3.77	3.97	4.26	3.95	4.77	4.00	4.00
	標準偏差	0.95	0.89	0.99	0.96	0.98	1.14	1.02	0.97	0.96	0.93	0.96	0.42	0.98	0.98
III	平均値	4.02	3.79	4.03	4.31	4.14	4.05	3.91	3.75	4.05	4.32	4.06	4.73	4.07	4.06
	標準偏差	0.97	0.96	1.02	0.95	0.98	1.19	1.05	0.95	0.99	1.01	0.97	0.44	1.00	1.02

※3の回答が適切である項目

II-2	平均値	3.27	3.28	3.34	3.44	3.31	3.44	3.45	3.37	3.31	3.10	3.27	3.31	3.33	3.34
	標準偏差	0.62	0.57	0.66	0.64	0.66	0.74	0.76	0.79	0.69	0.45	0.60	0.46	0.68	0.68
II-4	平均値	3.14	3.15	3.18	3.20	3.15	3.19	3.23	3.20	3.18	3.15	3.13	3.15	3.17	3.17
	標準偏差	0.54	0.45	0.56	0.54	0.56	0.60	0.61	0.59	0.54	0.40	0.52	0.36	0.55	0.55

※I-4「受講動機」回答の分布（複数回答可）

単位：%

回答 / 科目区分	国際協力	国際経済	国際政治	国際文化	国際観光	農業総合	専門コース科目							
⑤. 講義への興味	11.1	18.2	10.6	7.4	10.8	9.9	13.6	11.9	10.3	5.9	10.4	0.0	11.5	11.9
④. 教員にひかれて	3.9	0.0	3.2	1.1	3.5	1.3	2.7	4.5	2.4	0.0	3.3	0.0	3.0	2.9
③. 単位が必要	37.9	34.1	36.3	23.4	35.3	40.4	37.5	51.5	37.4	25.9	37.2	33.3	35.1	34.4
②. 単位取得が楽	19.9	20.5	19.7	19.1	22.4	22.5	17.3	11.9	17.8	21.2	20.4	23.8	19.7	21.0
①. 時間帯が空いている	27.2	27.3	30.2	48.9	28.1	25.8	28.9	20.1	32.0	47.1	28.6	42.9	30.7	29.9
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

6. 教養教育科目

(1) 講義科目 (群別)

項目	群	第1群	第2群	第3群	第4群	第5群	第6群	第7群	第8群	第9群	第10群	第12群	全体
	科目数	8	2	6	8	5	4	7	4	5	16	2	67
I-1	平均値	4.50	4.39	4.39	4.40	4.49	4.44	4.55	4.53	4.50	4.53	3.96	4.47
	標準偏差	0.75	0.86	0.89	0.88	0.74	0.90	0.77	0.82	0.83	0.71	0.90	0.82
I-2	平均値	3.99	3.74	3.53	3.78	4.16	3.24	4.27	3.86	3.65	3.59	2.67	3.75
	標準偏差	1.12	1.06	1.27	1.18	1.09	1.24	1.04	1.21	1.19	1.31	1.41	1.24
I-3	平均値	1.43	1.39	1.46	1.57	1.56	1.66	1.56	1.55	1.49	1.58	1.45	1.53
	標準偏差	0.79	0.85	0.95	0.98	0.96	1.14	0.98	0.99	0.87	1.01	0.87	0.96
I-5	平均値	1.26	1.49	1.41	1.39	1.49	1.56	1.42	1.51	1.41	1.57	1.63	1.45
	標準偏差	0.71	0.98	0.92	0.92	1.02	1.07	0.92	1.03	0.89	1.06	1.02	0.96
II-1	平均値	3.88	3.81	3.73	3.30	4.07	3.59	3.43	3.61	3.66	4.20	4.08	3.74
	標準偏差	0.98	1.00	1.05	1.26	0.98	1.06	1.15	1.09	1.02	0.93	1.11	1.09
II-3	平均値	3.96	3.86	3.95	3.60	4.12	3.79	3.83	3.88	3.86	4.13	4.06	3.91
	標準偏差	0.88	0.88	0.94	1.10	0.92	0.99	0.95	0.88	0.95	0.88	1.05	0.96
II-5	平均値	4.33	4.18	3.98	3.19	4.20	3.54	3.23	3.65	3.91	4.38	4.33	3.87
	標準偏差	0.84	0.89	1.05	1.40	0.98	1.22	1.29	1.16	1.03	0.86	0.92	1.17
II-6	平均値	3.93	4.14	4.04	3.35	3.88	3.80	3.72	3.73	3.96	4.07	4.12	3.86
	標準偏差	0.98	0.85	0.98	1.25	1.04	1.09	1.11	1.14	1.01	0.97	0.89	1.07
II-7	平均値	4.16	4.01	3.81	3.59	4.19	3.59	3.75	3.80	3.93	4.03	4.33	3.88
	標準偏差	0.90	0.93	1.00	1.15	0.97	1.10	1.12	1.02	1.00	1.02	0.81	1.05
II-8	平均値	3.48	3.66	3.39	3.22	3.72	3.33	3.62	3.54	3.45	3.89	3.83	3.53
	標準偏差	1.04	1.01	1.12	1.21	0.97	1.12	1.09	1.07	1.05	1.01	1.10	1.10
II-9	平均値	3.54	3.77	3.73	3.14	3.78	3.55	3.10	3.43	3.30	4.18	4.25	3.59
	標準偏差	1.01	0.93	1.03	1.19	0.97	1.07	1.15	1.17	1.15	0.87	0.87	1.11
II-10	平均値	3.80	3.89	3.82	3.18	3.89	3.64	3.19	3.58	3.50	4.07	3.87	3.67
	標準偏差	1.01	0.97	0.99	1.20	0.95	1.12	1.12	1.11	1.12	0.99	1.21	1.10
III	平均値	3.95	4.13	3.89	3.27	4.05	3.70	3.31	3.62	3.62	4.32	4.15	3.80
	標準偏差	0.97	0.79	0.99	1.19	0.89	1.09	1.14	1.03	1.09	0.88	1.03	1.08

※3の回答が適切である項目

II-2	平均値	3.47	3.14	3.20	3.56	3.43	3.29	3.79	3.59	3.63	3.21	2.87	3.41
	標準偏差	0.73	0.58	0.67	0.84	0.75	0.75	0.80	0.77	0.80	0.66	0.73	0.77
II-4	平均値	3.16	3.16	3.12	3.36	3.30	3.15	3.49	3.40	3.29	3.14	3.02	3.24
	標準偏差	0.56	0.48	0.54	0.75	0.65	0.65	0.74	0.67	0.66	0.51	0.89	0.64

※I-4「受講動機」回答の分布 (複数回答可)

単位：%

回答 / 群	第1群	第2群	第3群	第4群	第5群	第6群	第7群	第8群	第9群	第10群	第12群	全体
⑤. 講義への興味	25.4	15.0	23.0	28.5	24.2	21.9	27.3	28.0	29.5	17.2	0.0	23.8
④. 教員にひかれて	3.6	10.6	6.5	5.4	4.7	8.2	3.9	6.4	2.5	5.0	4.5	5.4
③. 単位が必要	30.7	30.4	36.1	31.4	31.5	33.3	42.8	33.9	36.3	29.9	86.4	34.2
②. 単位取得が楽	6.3	2.9	5.2	4.8	7.2	6.4	3.9	6.7	8.5	13.0	2.3	6.8
①. 時間帯が空いている	34.0	41.1	29.2	29.9	32.3	30.3	22.1	25.0	23.2	34.9	6.8	29.8
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

(2) 外国語科目 (商・政経・外国語・工学部、12カ国語)

項目	外国語	英語	A語	B・P語	C語	F語	G語	K語	I・M語	I・P語	R語	S語	日本語	全体
	科目数	110	1	1	24	17	17	14	11		2	13	21	231
I-1	平均値	4.46	3.89	4.50	4.40	4.44	4.55	4.52	4.54		4.45	4.41	4.59	4.47
	標準偏差	0.79	0.99	0.81	0.81	0.74	0.73	0.69	0.79		0.74	0.83	0.72	0.78
I-2	平均値	3.96	4.22	4.40	4.25	4.13	4.36	4.35	3.98		4.33	4.16	4.26	4.10
	標準偏差	1.05	0.96	0.80	0.89	1.00	0.85	0.88	1.03		0.94	1.04	0.89	1.00
I-3	平均値	1.90	1.44	1.90	1.91	1.87	1.88	2.01	1.93		1.85	1.77	2.54	1.94
	標準偏差	1.00	0.57	0.83	0.97	1.02	0.95	1.04	0.97		0.86	0.91	1.12	1.01
I-5	平均値	1.62	1.44	1.30	1.65	1.59	1.66	1.69	1.68		1.94	1.50	2.65	1.70
	標準偏差	1.06	0.92	0.64	1.07	1.01	1.06	1.18	1.10		1.30	0.94	1.32	1.11
II-1	平均値	3.97	4.19	4.00	4.21	3.98	4.15	4.17	3.85		3.58	3.81	4.49	4.04
	標準偏差	0.95	0.82	0.77	0.83	0.98	0.91	0.77	0.96		1.48	1.05	0.75	0.94
II-3	平均値	4.02	4.15	4.20	4.21	4.03	4.13	4.13	3.98		3.82	4.00	4.31	4.07
	標準偏差	0.87	0.82	0.75	0.79	0.90	0.84	0.83	0.94		1.19	0.91	0.86	0.88
II-5	平均値	4.15	4.58	4.33	4.25	4.13	4.29	4.28	4.04		3.35	4.00	4.57	4.19
	標準偏差	0.96	0.76	0.75	0.91	1.02	0.88	0.83	0.99		1.60	1.05	0.71	0.96
II-6	平均値	4.01	3.70	4.40	4.08	3.92	4.02	4.13	4.07		3.58	3.85	4.38	4.03
	標準偏差	0.96	1.01	0.80	0.88	1.02	0.96	0.88	0.87		1.37	0.99	0.83	0.96
II-7	平均値	4.14	4.19	4.40	4.16	4.01	4.16	4.18	3.99		3.82	4.02	4.35	4.13
	標準偏差	0.91	0.86	1.02	0.90	1.03	0.88	0.92	0.94		1.03	0.99	0.81	0.92
II-8	平均値	3.96	3.96	4.30	4.07	3.87	4.08	4.14	4.02		3.45	3.81	4.32	4.00
	標準偏差	0.92	0.96	0.78	0.87	0.96	0.91	0.81	0.91		1.18	1.01	0.85	0.93
II-9	平均値	3.88	4.07	4.00	3.82	3.68	3.76	3.94	3.75		3.27	3.31	4.45	3.84
	標準偏差	0.95	0.90	0.77	0.90	1.06	1.00	0.87	0.93		1.42	1.07	0.75	0.98
II-10	平均値	3.64	4.04	3.90	3.71	3.70	3.70	3.82	3.74		3.41	3.39	4.35	3.70
	標準偏差	1.01	0.88	0.83	0.94	1.02	1.05	0.99	0.98		1.30	1.11	0.76	1.02
III	平均値	3.99	4.59	4.30	4.06	3.98	4.03	4.05	3.96		3.44	3.71	4.50	4.02
	標準偏差	0.96	0.73	0.64	0.86	1.03	0.97	0.85	1.02		1.48	1.08	0.75	0.97

※3の回答が適切である項目

II-2	平均値	3.27	3.22	3.00	3.49	3.52	3.58	3.36	3.35		3.70	3.68	3.22	3.38
	標準偏差	0.71	0.42	0.45	0.67	0.73	0.72	0.69	0.77		0.76	0.72	0.56	0.71
II-4	平均値	3.14	3.11	3.00	3.24	3.23	3.29	3.22	3.18		3.15	3.36	3.14	3.19
	標準偏差	0.58	0.42	0.00	0.59	0.61	0.59	0.65	0.56		0.70	0.65	0.51	0.59

※I-4「受講動機」回答の分布 (複数回答可)

単位：%

回答 /	外国語	英語	A語	B・P語	C語	F語	G語	K語	I・M語	I・P語	R語	S語	日本語	全体
⑤. 講義への興味		2.7	3.6	0.0	1.2	1.8	2.1	1.2	2.5		0.0	3.3	0.7	2.1
④. 教員にひかれて		1.9	3.6	0.0	1.2	1.1	0.5	2.9	8.0		0.0	1.3	7.8	2.7
③. 単位が必要		78.9	50.0	42.9	68.4	72.3	60.4	64.9	42.9		70.6	76.2	48.3	69.5
②. 単位取得が楽		6.9	35.7	0.0	6.5	6.5	7.3	2.3	9.8		0.0	1.3	16.6	7.7
①. 時間帯が空いている		9.6	7.1	57.1	22.7	18.3	29.7	28.7	36.8		29.4	17.9	26.7	18.1
合計		100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	0.0	100.0	100.0	100.0	100.0

注1. A語：アラビア語、B・P語：ブラジル・ポルトガル語、C語：中国語、F語：フランス語、
G語：ドイツ語、K語：韓国語、I・M語：インドネシア・マレーシア語、
I・P語：インド・パキスタン語 (実施科目なし)、R語：ロシア語、S語：スペイン語

注2. 国際学部の地域言語は、47ページを参照

(3) スポーツ・トレーニング科目

設 問	科 目 数	14
I-1	平均値	4.59
	標準偏差	0.73
I-2	平均値	4.23
	標準偏差	0.97
I-3	平均値	4.40
	標準偏差	0.84
II-1	平均値	4.37
	標準偏差	0.80
II-4	平均値	4.17
	標準偏差	0.99
II-5	平均値	4.52
	標準偏差	0.75
II-6	平均値	4.37
	標準偏差	0.87
II-7	平均値	4.42
	標準偏差	0.79
II-8	平均値	4.42
	標準偏差	0.82
II-9	平均値	4.41
	標準偏差	0.81
II-10	平均値	4.27
	標準偏差	0.90
II-11	平均値	4.38
	標準偏差	0.84
III	平均値	4.47
	標準偏差	0.82
IV-1	平均値	4.49
	標準偏差	0.83
IV-2	平均値	4.36
	標準偏差	0.92
IV-3	平均値	3.81
	標準偏差	1.28

※3の回答が適切である項目

設 問	科 目 数	14
II-2	平均値	3.08
	標準偏差	0.76
II-3	平均値	3.05
	標準偏差	0.55

※I-4「受講動機」回答の分布（複数回答可）

回 答	
⑤. 講義への興味	10.8
④. 教員にひかれて	5.0
③. 単位が必要	39.6
②. 単位取得が楽	10.8
①. 時間帯が空いている	33.8
合 計	100.0

(4) 教職課程・社会教育主事講座・日本語教員養成基礎講座科目

区分	課程・講座	教 職	社 教	日 語	全 体
設 問	科目数	28		5	33
I-1	平均値	4.45		4.51	4.46
	標準偏差	0.70		0.73	0.70
I-2	平均値	4.11		4.00	4.10
	標準偏差	0.99		0.92	0.99
I-3	平均値	1.63		1.50	1.62
	標準偏差	0.91		0.85	0.90
I-5	平均値	1.46		1.53	1.47
	標準偏差	0.91		0.96	0.92
II-1	平均値	4.21		4.19	4.21
	標準偏差	0.86		0.74	0.85
II-3	平均値	4.21		4.07	4.20
	標準偏差	0.82		0.76	0.81
II-5	平均値	4.15		4.42	4.17
	標準偏差	1.02		0.68	1.00
II-6	平均値	4.11		4.14	4.11
	標準偏差	0.96		0.78	0.95
II-7	平均値	4.28		4.39	4.28
	標準偏差	0.89		0.69	0.88
II-8	平均値	3.96		3.84	3.95
	標準偏差	1.02		0.87	1.01
II-9	平均値	4.01		4.02	4.01
	標準偏差	0.91		0.77	0.90
II-10	平均値	4.02		4.30	4.05
	標準偏差	0.94		0.72	0.93
III	平均値	4.24		4.25	4.24
	標準偏差	0.86		0.68	0.84

※3の回答が適切である項目

II-2	平均値	3.28		3.35	3.29
	標準偏差	0.61		0.48	0.60
II-4	平均値	3.14		3.00	3.13
	標準偏差	0.48		0.56	0.49

※I-4「受講動機」回答の分布（複数回答可）

単位：%

回 答 / 課程・講座	教 職	社 教	日 語	全 体
⑤. 講義への興味	3.6		10.6	4.2
④. 教員にひかれて	0.4		0.0	0.4
③. 単位が必要	73.0		31.8	69.6
②. 単位取得が楽	12.3		4.5	11.7
①. 時間帯が空いている	10.7		53.0	14.2
合 計	100.0	0.0	100.0	100.0

評価及び課題

1. 商学部

(1) アンケート実施状況について

平成 26 年度「授業改善のための学生アンケート」は、平成 26 年 11 月 17 日(月)～平成 26 年 12 月 20 日(土)にかけて実施された。アンケートを実施したのは、商学部専任教員 45 名(昨年度 49 名)及び非常勤講師 119 名(昨年度 123 名)の合計 164 名(昨年度 172 名)であった。アンケート実施率は、専任教員 100%、非常勤講師 98.3%であり、100%実施を達成した昨年度と比較すると非常勤講師での実施率が若干低下したが、アンケート実施の意義については一定の理解が得られていると考えられる。

アンケート実施科目数は、専任教員担当科目 91 科目(昨年度 103 科目)及び非常勤講師担当科目 206 科目(昨年度 216 科目)の合計 297 科目(昨年度 319 科目)であった。実施科目(専任教員科目 91 / 非常勤講師科目 206)の内訳は、商学部専門科目が 139 科目と最も多く、続いて外国語科目(114 科目)、教養科目・総合教育科目(21 科目)となっている。

アンケート回答数(延べ人数)は合計 8,827 名(昨年度 10,423 名)であり、学年ごとに見ると、1 年生 3,403 名(昨年度 3,798 名)、2 年生 2,403 名(昨年度 3,202 名)、3 年生 2,244 名(昨年度 2,420 名)、4 年生 760 名(昨年度 977 名)であった。

今年度は、実施教員数が若干減少したことに伴い、実施科目も 22 科目、回答数については 1,596 名(昨年度比約 15%マイナス)減少した。しかし、回答数の学年別構成などは例年通りであり、また昨年に比べると減少した回答数も一昨年並みの回答数(一昨年度 9,027 名)は確保できていることから、分析に大きな影響はないと考えられる。なお、実施教員数と実施科目数から、今年度の教員一人当たりのアンケート実施科目数は平均 1.81 科目となっている(専任教員平均 2.02 科目、非常勤講師平均 1.73 科目)。

以下では、今年度のアンケート結果を分析することで授業改善の方向性を探る。

(2) 集計結果の分析

・全体的な傾向

本アンケートの質問項目は 16 項目で構成されているが、それらの項目は、「受講する姿勢や動機について」、「授業の内容や進め方について」、「総合的な満足度」という 3 つの大きな質問群に区分けされている。つまり、学生の主体性と教員の授業運営の実態を明らかにし、そのうえで学生の総合的な満足度を問うという形になっている。

こうしたアンケートの特性を踏まえて、はじめに今年度アンケート結果の全体的な傾向を検討しておきたい。そこで、商学部専門科目(商学部所属の専任教員及び非常勤講師が担当する 139 科目に他学部所属教員が担当する 5 科目を加えた 144 科目)に注目し、～の質問群ごとに平成 22～26 年度までの平均値の推移を確認した。そこからは 3 つの特徴を確認することができる。

授業に出席してしっかりとノート・メモをとる学生が多い一方で、予習・復習への取り組みやオフィスアワー等を活用した質問は低調であるというパターンが続いている。

この2～3年の間に「宿題・課題」「理解しやすさ」「見方・考え方が深まる」等の項目に対する学生の評価が明らかに高まっており、授業の質が高まってきていることが分かる。

総合的な満足度は、年度ごとの上下はあるものの上昇傾向にある。

つまり、教員レベルでは授業の質を高めようとする多様な取り組みが行われるようになっており、学生もその点を評価するようになってきているが、授業時間外における学生の主体的な学習を促進するところまでは学生の姿勢・動機付けを伸ばすに至っていない。今年度のアンケート結果からこのような特徴、傾向を見出すことができるように思われる。

・ 個別の質問項目の検討

次に、商学部専門科目（144科目）のアンケート結果について、個別質問項目ごとの集計結果を検討し、授業改善の方向性を探っていきたい。

- 1 「学生の出席状況」（40%未満、40%以上、60%以上、80%以上、90%以上）

この項目では、学生に自らの出席率を質問している。今年度の平均値は4.50（昨年度4.55、今年度全体平均値4.49）であった。昨年度よりも0.05ポイント低下したとはいえ、具体的には80%以上の出席と回答した学生が88%を越えている（63.78% + 24.59%）。この項目はアンケート回答者の出席状況であり実際の出欠率を示すものではないものの、出席状況は決して悪くはないと言える。

ただし、熱心な学生が数多く存在する反面、1割ほどの学生は7割程度の出席率にとどまっている。半期15回の授業で約4回の欠席というのは授業内容を理解するうえで大きな障害になることが予想される。今後の改善が必要であろう。

- 2 「ノート・メモ」

この項目は、授業中の口頭説明や板書内容をしっかりノート・メモしているかを問うものであり、今年度の平均値は4.11（昨年度4.14、今年度全体平均値3.9）であった。具体的には、「そう思う」と「強くそう思う」の合計が約75%であり、多くの学生は授業内容を理解しようと努力していることが分かる。

しかし残りの約25%の学生はノート・メモをしっかりと取っているとは言えないようである。授業参加を実質的なものにするためにも、“書いて覚える”“ノートをとりながら頭を整理する”というプロセスが必要不可欠であると思われる。ノート・メモの必要性や方法に関する指導をスタディスキルなどの初期教育段階でしっかり行うことが重要であろう。

- 3 「予習・復習」（0.5h未満、0.5h以上、1h以上、2h以上、4h以上）

この項目では、科目ごとに毎回どの程度の予習・復習を行うかを質問している。今年度の平均値は1.71（昨年度1.80、今年度全体平均値1.76）である。具体的には予習・復習

にあてる時間が1時間未満の学生が8割を超えている(58.19% + 22.04%)。6割の学生は予習・復習に30分も費やさないということである。

また予習・復習にあてる時間の長さもさることながら、昨年度よりもポイントを落としていること、当該質問項目導入以降3年間で最も低い値となっていること(H24:1.78 H25:1.80 H26:1.71)、そして今年度全体平均値を下回っていることなど、商学部学生の予習・復習に関する取り組み意識の希薄化が懸念される。単位の実質化を図るためにも、予習・復習の取り組みをいかに促進していくかが今後の重要課題となるであろう。

- 4 「受講動機」(この時間帯が空いていた、単位取得が楽だから、単位が必要だから、教員にひかれて、講義要項を読んで興味を持ったから)

この項目は、授業を受講した動機を複数回答(最大3つまで)の形で質問している。複数回答項目であるため平均値でなく回答の分布に注目すると、最大の受講動機は「トル単位が必要だから」46.35%であり、それに「講義要項を読んで興味を持ったから」26.86%、「この時間帯が空いていた」11.74%、「教員にひかれて」11.98%がつづいている。

この結果から、学生には、科目区分ごとの必要取得単位数を考えながらの科目選択、科目内容(講義要項)に注目した科目選択、スケジュール管理の視点からの科目選択など、多様な科目選択基準があることが理解できる。そのこと自体を否定することはできない。教員ができることは、より分かりやすい講義要項作りに努力すること、そして授業内容に磨きをかけることであろう。

- 5 「質問(オフィスアワー等)」

この項目では、授業時間以外に教員のところへ質問に行くことがあるかどうか(オフィスアワー等)を尋ねており、平均値は1.60(昨年度1.63、今年度全体平均値1.61)となっている。具体的には「全くそう思わない」だけで約7割(69.78%)、それに「そう思わない」(11.39%)を加えると8割以上の学生が授業時間以外には教員に質問しに行くことがない状況となっている。

その一方で、約7%の学生(「そう思う」4.31% + 「強くそう思う」3.40%)は、オフィスアワー等を活用して授業時間以外にも教員に質問するなど自主的に学習を進めている。オフィスアワー等を活用して教員に質問にいった学生は、アンケートベースを約8,800名とすると約600名。アンケート対象となった商学部専門科目は144科目であるから、半期1科目あたり4名(4回)程度がオフィスアワーを活用したということになる。学生が授業時間前後の休み時間等に行われる質疑応答を含めて回答していることも考えられるため、オフィスアワーそれ自体の活用実態はより低調だと予測される。低調な理由を学生の姿勢・動機にだけ求めるのではなく、学生が質問しやすい仕組み、環境づくりを積極的に考えていく必要があるだろう。

- 1 「狙いの明確さ」

この項目は、授業の狙いや重要ポイントが明確にされているかを問う質問であり、今年度の平均値は4.01(昨年度3.96、今年度全体平均値3.99)となっている。過去5年間、4.0前後を上下しており、今年度の平均値も例年並みの数値といえる。回答分布を見ると、狙

いが明確であると考える学生は 7 割を超えている(「 そう思う」33.65 % + 「 強くそう思う」38.09 %)が、「 どちらとも言えない」学生も 2 割ほど存在する。商学部専門科目として、各科目の位置付けを明確にしていくことが今後も必要となる。

- 2 「難易度」(やさしすぎる、 やややさしい、 ちょうど良い、 やや難しい、 難しすぎる)

この項目は、授業の難易度に関する質問である。今年度の平均値は 3.44 (昨年度 3.52、今年度全体平均値 3.41) であり、この 5 年間のうちで最も「 ちょうど良い」に近い値となった。具体的には、「 ちょうど良い」が 56.15 %、それについて「 やや難しい」が 31.99 %となっている。

では、今後は難易度をやや易しい方向に調整して「ちょうど良い」を目指すべきだろうか。難易度の項目は「ちょうど良い」が望ましい回答と想定されているが、実際には「やや難しい」方が学生のほりあいを高めることもあると考えられる。難易度については、各科目のなかで学生の理解度を見極めながら調整していくことが重要になる。

- 3 「講義要項との進み具合」

この項目は、講義要項に沿って授業が行われているかどうかを問う質問である。今年度の平均値は 4.05 (昨年度 3.97、今年度全体平均 4.04) であったが、この質問が導入された平成 24 年度以降もっとも高い平均値となった。7 割以上の学生が、授業が講義要項に沿って展開されたと回答している(「 強くそう思う」37.12 % + 「 そう思う」34.69 %)。

しかし、約 25 %の学生は「 どちらともいえない」(25.22 %)と回答していることもまた事実である。 - 4 でも見たように一定数の学生は講義要項で授業内容を確認することで受講を判断している。教員には、講義要項に沿った授業展開や毎回の授業の位置付けの明確化などが求められる。

- 4 「進度」(遅すぎる、 やや遅い、 ちょうど良い、 やや速い、 速すぎる)

この項目は、授業の進度に関する質問である。今年度の平均値は 3.27 (昨年度 3.34、今年度全体平均値 3.23) である。昨年度は、「 ちょうど良い」(66.95 %)、「 やや速い」(22.94 %)であったのに対して、今年度の回答分布をみると、「 ちょうど良い」(71.28 %)、「 やや速い」(20.18 %)となっており、昨年度少し速いと感じられていた進度について今年度は調整が行われたものとみることができる。この点については「難易度」と同様に、各科目のなかで学生の理解度を見極めながら調整していくことが重要になる。

- 5 「声の大きさ」

この項目は、教員の話し方や声の聞き取りやすさについて質問している。今年度の平均値は 4.14 (昨年度 4.07、今年度全体平均値 4.12) であり、この 5 年間のうちでもっとも高い数値となった。教員が学生の理解度を高めるために努力していることが伺える。今後も継続的な努力が求められる。

- 6 「教材等の効果」

この項目では、教材（教科書、配布資料、パワーポイントなど）が授業内容を理解するのに有効であったかどうかを質問している。今年度の平均値は 3.99（昨年度 3.91、今年度全体平均値 4.01）であり、この 5 年間徐々に高まってきている。

具体的には約 7 割（「強くそう思う」39.11 % + 「そう思う」30.67 %）の学生が教材は有効であったと回答している。学生の反応（アンケート結果など）を見つつも、授業内容や形式に見合った教材開発を行い学生の理解度向上を追求し続ける必要がある。

- 7 「教室内の雰囲気」

この項目では、教室内在学にふさわしい雰囲気に保たれていたかどうかを質問している。今年度の平均値は 4.03（昨年度 3.96、今年度全体平均値 4.06）であり、回答分布を見ても肯定的な評価が 7 割（「強くそう思う」39.77 % + 「そう思う」31.83 %）を越える。

しかし、ここでは約 7 %（「全くそう思わない」1.85 % + 「そう思わない」5.12 %）の学生が否定的な回答をしていることに注目すべきではないだろうか。アンケートベースを約 8,800 名とすると、延べ 600 名程度の回答は教室内の雰囲気が学習にふさわしいとは言えないと明確に指摘しているわけである。学習環境の整備は教員の重要な役割であろう。

- 8 「宿題・課題」

この項目では、宿題・課題等が適切に出されていたかどうかを質問している。今年度の平均値は 3.78（昨年度 3.70、今年度全体平均値 3.80）であった。全学的な傾向とも重なるが、当該質問項目導入以降 3 年間、平均値は高まり続けている。

単位の実質化や学生の理解度の向上のためには適切な内容・量の宿題・課題が必要不可欠である。その意味で今年度、宿題・課題が適切に出されていたと評価する学生が約 6 割まで伸びてきたことは重要な成果と言える。しかし、依然として約 35 % の学生は「どちらとも言えない」と回答している。学生にとっては宿題・課題の内容・量が適切かどうかの判断は難しいのかもしれない。その意味では、宿題・課題が授業の理解を深める上でどのような意味を持つのかしっかりと説明しながら課していくことも大事であろう。

- 9 「理解しやすさ」

この項目では、学生が授業内容をよく理解できたかどうかを質問している。今年度の平均値は 3.75（昨年度 3.62、今年度全体平均値 3.78）であった。昨年までは横ばいで推移していたが、今年度はそこから一段上昇した。具体的には、約 6 割の学生がよく理解できたと答えている（「強くそう思う」25.35 % + 「そう思う」36.11 %）。全学的には横ばいで推移している「理解しやすさ」でのポイントの上昇は商学部の重要な成果ともいえる。

- 10 「見方・考え方が深まる」

この項目では、授業を通じてものの見方・考え方が深まったかどうかを質問している。

今年度の平均値は 3.76 (昨年度 3.68、今年度全学平均値 3.77) であった。昨年までは横ばいで推移していたが、今年度はそこから一段上昇した。具体的には、約 6 割の学生が見方・考え方が深まったと答えている (「 強く思う」 26.67 % + 「 そう思う」 34.53 %)。全学的には横ばいで推移している「見方・考え方が深まる」でのポイントの上昇は、「理解しやすさ」のポイントの上昇と同じく商学部の重要な成果と言えよう。

「満足度」

この項目は、授業に対する総合的な満足度を質問している。今年度の平均値は 4.00 (昨年度 3.89、今年度全体平均値 3.98) であった。これまでは 3.9 前後で増減を繰り返していたが、今年度ははじめて 4 ポイントに到達した。具体的には、7 割以上の学生が授業に満足したと回答している (「 強く思う」 35.97 % + 「 そう思う」 35.96 %)。

この項目は独立した質問項目であり、回答する学生によってさまざまな満足の基準があると考えられるが、アンケート結果の範囲では、適切な課題を課す授業 (- 8)、理解しやすい授業 (- 9)、考え方の深まる授業 (- 10) が増えたことが学生の満足度を押し上げたと推測することができる。

・教員身分別、学科・コース別集計結果の分析

教員の身分別集計結果に基づいて、商学部専任教員が担当する 91 科目と商学部所属非常勤講師が担当する 202 科目の平均値を比較したが、あまり大きな差を見出すことは出来ない。これに対して、学科・コース別集計結果からは 2 つの特徴を確認することができる。

まず学科別データを見ると、 - 3 「予習・復習」、 - 5 「質問」、 - 8 「宿題・課題」においては学科間で 0.2 ポイント以上の差が生じており、いずれも国際ビジネス学科が最も高い平均値となっていることが分かる。「満足度」についても、国際ビジネス学科が最も高い。他学科と比べた場合、国際ビジネス学科では、教員と学生の間で授業時間外の学習を含めた学習サイクルを上手くまわしている科目が多いのではないかと考えられる。

次にコース別データ (商学部専門科目のコース別集計結果) からは、経営学科の 3 つのコースのうち、経営情報コースに他の 2 コースとは異なる特徴があることが分かる。まず - 2 「ノート・メモ」のポイントが低く最高値より 0.55 ポイントの差が生じている。また、 - 9 「見方・考え方が深まる」のポイントも最高値より 0.23 ポイント下げている。こうしたポイントの出方は、経営情報コースの授業に対する評価が低いというのではなく、経営情報コースの開講科目の授業内容・形式が、他の 2 コースと異なるということを反映していることが考えられる。授業内容・形式の特徴を踏まえて独自の質問項目を検討していくことで授業改善のヒントをより適切につかむことが出来るのではないかと考えられる。

(3) 今後の課題

平成 26 年度アンケート結果 (主に商学部専門科目の集計結果) に基づき、商学部の授業改善の方向性について検討してきた。ここでは、アンケート結果の分析から指摘できる

範囲で、授業改善に関する今後の具体的な課題を2つ指摘しておきたい。

ひとつは、今一度、授業の狙いが学生に明確に伝わっているかを確認することである。これまでも「狙いの明確さ」は一定の評価を得てきたが、今後は、授業の狙いを明確化して授業の目的・目標として講義要項に反映させること（学生に対する受講判断材料の提供）講義要項に沿った授業展開を行うこと、そして授業の目的・目標に沿った教材開発と宿題・課題設定を心がけることなど、授業目的・目標の達成を十分に意識した授業運営が必要であろう。そのことで、学生にとっても取り組みやすくやりがいのある授業、つまり「理解しやすく」「見方・考え方が深まる」「満足度」の高い授業が可能になる。授業の狙い（目的・目標）の明確化、科目ごとの目的・目標とディプロマポリシーやカリキュラム体系の関係性の明示は、全学的な課題でもある。

もう一つのポイントは、「予習・復習」及び「質問」など授業時間外における学生の自主的な学習行動を促すことである。アンケート結果に見られたように、商学部全体としては、授業運営や満足度に関する学生の評価は上昇傾向にある一方で、学生の予習・復習に関する意識は希薄化する傾向にありオフィスアワー等を活用した質問も低調である。しかし、一部の学科では予習・復習やオフィスアワー等を活用した質問を上手に活用できている可能性も示唆された。そこで、教員が相互に経験を持ちより知恵を出し合い、学生の自主的な学習を引き出す方法を見出していくことが求められている。この点については平成27年1月に商学部FD委員会が中心となりアクティブ・ラーニング研究会を開催し、授業改善に向けての意見交換を行ったことを付記しておきたい。

今年度、各教員は既に担当科目のアンケート結果に基づいて次年度の授業改善策を検討したところである。しかし、継続的な授業改善のためには各教員の日常的な取り組みが重要になる。そのため学部全体としても、授業改善のための貴重な資料となるアンケート結果・分析結果の共有や教員が情報交換・経験交流できる研究会の開催など、オーソドックスではあるが教員の授業改善支援にとって有効な方策を実施していくことが重要となる。

2. 政経学部

(1) 実施状況について

平成26年度の「授業改善のための学生アンケート」調査は、前期に行われた前年度にかわり、後期、平成26年11月17日(月)から同年12月20日(土)までの期間(なお、平成27年1月5日(月)から同月10日(土)を予備日として設定)に実施された。

専任教員では対象教員51人全員によって実施され(実施率100%)、講師(非常勤)は対象教員110人のうち108名によって実施された(同98.2%)。

アンケート調査の実施科目数は専任教員担当分で110科目、また講師(非常勤)全体では168科目と昨年度(各112科目、181科目)より減少した。アンケート対象となった科目総数は278(昨年度は293)だった。外国語科目では5科目増えたが、専門科目で3科目減、教養科目等で6科目減、スポーツ・トレーニング科目で10科目減、教職等科目・ゼミ等で各1科目減となった。実施対象教員数が専任教員で2名減、講師(非常勤)で7名減であったこと、および昨年度は前期、今年度は後期の実施であったことが背景にある。

専任教員は1人あたり平均して2.16科目(昨年度は2.11科目)、講師(非常勤)は1人あたり平均して1.56科目(昨年度と同)のアンケート調査を実施したことになる。アンケート調査の実施科目を科目別に多い順であげると、政経学部専門科目が119科目(昨年度は122科目)、外国語科目が99科目(昨年度は94科目)、教養科目・総合教育科目が23科目(昨年度は29科目)、スポーツ・トレーニング科目が8科目(昨年度は18科目)、教職・社教・日本語科目が13科目(昨年度は14科目)、ゼミ・外書購読が11科目(昨年度は12科目)などとなっている。

学生のアンケート回答数(延べ人数)は、1年生が3,010人(昨年度は3,116人)、2年生が2,446人(昨年度は3,450人)、3年生が2,415人(昨年度は3,047人)、4年生が916人(昨年度は1,681人)であり、学年を回答しなかった28人を含めて合計8,815人がアンケートに答えている。これは、昨年度の延べ11,330人から約2,500人の減にあたる。

過去3回の実施科目数とアンケート回答数(延べ人数)の推移をみると、24年度(後期実施)は315科目:10,857人、25年度(前期実施)は293科目:11,330人、26年度(後期実施)には278科目:8,815人となっている。回答数の動向には、実施時期(前期か後期か)の影響が出ていると思われる。ただし、24年度と26年度を比較すると、実施科目数で12%減であるのに対して回答数は19%の減少となっており、実施時期以外の要因もアンケート・ベースの縮小に影響している可能性がある。

(2) 集計結果について

・政経学部専門科目群に関する設問項目別評価

政経学部専門科目のアンケート結果をみると、過去数年度にわたり全般に平均値の上昇が続き、相応の水準が定着してきた項目も多いが、個々の項目ごとに区々の動きもみられ

る。そこで一昨年度（後期実施）、昨年度（前期実施）、今年度（後期実施）を比較した（下表）。

	H24	H25	H26	H25-H24	H26-H25	H26-H24
I-1出席状況	4.45	4.43	4.42	-0.02	-0.01	-0.03
I-2ノートとるか	3.97	3.97	3.94	0.00	-0.03	-0.03
I-3予習・復習	1.72	1.69	1.63	-0.03	-0.06	-0.09
I-5質問するか	1.53	1.54	1.51	0.01	-0.03	-0.02
II-1狙いの明確さ	4.03	3.91	4.03	-0.12	0.12	0.00
II-3講義要項と進度	4.08	4.00	4.06	-0.08	0.06	-0.02
II-5声の大きさ	3.97	4.04	4.13	0.07	0.09	0.16
II-6教材等の効果	4.02	3.93	4.05	-0.09	0.12	0.03
II-7教室の雰囲気	4.19	4.02	4.13	-0.17	0.11	-0.06
II-8宿題・課題	2.40	3.59	3.69	1.19	0.10	1.29
II-9理解しやすさ	3.63	3.58	3.73	-0.05	0.15	0.10
II-10見方が深まるか	3.70	3.70	3.81	0.00	0.11	0.11
III 満足度	3.93	3.86	4.02	-0.07	0.16	0.09
II-2難易度	3.46	3.51	3.44	0.05	-0.07	-0.02
II-4進度	3.21	3.27	3.23	0.06	-0.04	0.02

アンケート項目の諸項目は主として学生の修学意識に関する項目である。「出席状況」が4.42、「ノートをとるか」が3.94と高位の平均値となっている。ただし、平成24年以降の動きをみると、前期に実施した平成25年度と比べて26年度（後期実施）は軒並み低下している（上掲表 H26-H25 の列）。平成26年度と同じ後期実施の平成24年度と比べても（同 H26-H24 の列）低下しており、これが学生の修学意識の劣化によるものであれば危機感を抱かざるを得ない。

教員サイドの要因であるアンケート項目に関してみると、平成26年度（後期実施）は平成25年度（前期実施）と比べて全ての項目で改善している（上掲表 H26-H25 の列）。念の為、同じ後期実施の平成24年度と比べてみると（同 H26-H24 の列）、「宿題・課題」の項目で大幅な改善（+1.29）がみられ、「声の大きさ」「理解しやすさ」「見方が深まる」などの項目で若干の改善がみられる。教員サイドの要因が改善していることはFD活動の観点からは悦ばしい傾向であり、既往の問題意識を踏まえた教員の努力に敬意を表したい。

項目ごとにみると、以下のような特徴が看取できる。

- 1 「学生の出席状況」

授業に80%以上出席しているとの回答は86.32%と昨年度の86.18%を上回った。しかし、一昨年度の86.71%からは減少しており、かつ、本学の講義科目全体の87.82%を下回っていることを勘案すれば、改善に向けた努力は怠れないだろう。すでに、学部の方針に沿って、可能な限り全ての科目で出席を採るべく教員は努力しているが、学生の自覚を高め、また、出席への動機付けを与える工夫が必要だろう。なお、3・4年生に関しては、就職活動が出席を阻害する要因となっていることは否定できない。教員が、就職活動をする学生を応援したいと考えることも自然なことであろうと考えられるが、就職活動と言えば欠席が赦されるといった風潮が蔓延することのないような工夫を施すことが求められるだろう。

- 2 「ノート・メモをとっているか」

「 : 強くそう思う」と「 : そう思う」を合わせると69.54%と、昨年度の70.62%、一昨年度の71.86%比で減となった。一方、「 : そう思わない」、「 : まったくそう思わない」の合計は11.68%と、昨年度の10.44%、一昨年度の10.62%から増加した。

初年次教育でも、様々なタイプの講義様式（例えば、板書を書く先生ばかりではなく、スライドを用いて説明される先生、口頭で説明されることの多い先生）が大学では普通に行われており、それに合わせたノートやメモの取り方をしなければならないことについて指導しているが、実際に身に付いていく学生は七割程度ということであろうか。残る三割の学生にノート・メモをとる動機付けを与える工夫が必要だが、それは、初年時教育以外の場でも指導していく必要がある。また、教科書あるいはレジュメがあれば、ノートをとらなくても（さらに著しくは授業に出なくても）大丈夫といった誤解を学生に与えないような教科書類やレジュメ等の使い方を考えていかなければならないだろう。さらに、板書やスライドをスマートフォンで写真に撮る学生が散見されるようになっているが、これに対する対応も検討課題だろう。

- 3 「どのくらいの予習・復習をしているか」

本項目への回答結果は一昨年度、昨年度、今年度と全体的に下方シフトしたことが見て取れる。従来から予習・復習、なかでも復習の重要さはつとに指摘されているにもかかわらず、とくに大学生のそれが不十分であることも広く認識されていることは残念なことである。政経学部では、現状を改善すべく、近年、Black Board (Bb)システムを活用した課題の付与や自習教材の提供が、一部の教員の間から始められつつある。ただし、同システムを使いこなすノウハウや活用意欲の差から、依然として十分な活用レベルには達していないことは認めざるを得ないだろう。今後、システム活用に向けた啓蒙やノウハウの提供を拡充する必要がある。

一方、後述の通り、- 8 「宿題・課題が大変か」との設問に対する回答をみると、「 : 強くそう思う」と「 : そう思う」を合わせた回答の割合は53.49%と、昨年度の49.17%から増加、一昨年度の同47.95%比では格段に増加している。教員の間には、宿題・課題を与えて、講義時間以外の学習を促そうとする工夫が広く行われるよう

になっていることの表れであろうと考えられる。ただ、予習・復習時間の伸び悩みと宿題・課題の負担増の、一見矛盾するアンケート結果については、調査を要すると考えている。

- 4 「受講した動機（複数回答可）」

この項目についても、昨年度と今年度の回答結果に大きな変化はなかった。

「：講義要項を読んで」は一昨年度32.25%、昨年度32.39%、今年度28.14%。「：教員にひかれて」は同13.22%、12.84%、13.82%。「：単位が必要」は同34.08%、36.41%、36.82%。「：単位取得が楽だから」は2.91%、2.03%、3.55%。「：時間が空いていた」は一昨年度17.53%、昨年度16.33%、今年度17.67%だった。

これをみると、受講の選択に講義要項がかなり大きな判断材料になっていることがうかがわれ、教員にとって要項をしっかりと作成することが重要なことと再認識させられる。同時に、教員の魅力（様々な側面があるだろう）と答えた学生が多いことが目を引く。さらに、「：時間が空いていた」との回答も多く、科目配置のあり方も学修行動に影響を与えていることが確認できる。

- 5 「授業時間外の教員への質問」

この項目への回答は、昨年度より今年度のほうが「質問しに行く」傾向がわずかながら強くなっていることを示している。ただし、「：全くそう思わない」と「：そう思わない」を合わせた割合は、一昨年度83.09%、昨年度の82.27%、今年度の83.51%と変動しながら微増しており、なによりもその絶対値は圧倒的に大きい。必要がないからなのか、敷居が高いからなのか、オフィス・アワーの意義や教員とのコミュニケーションの取り方が分からないからなのか等、分析の余地があろう。いずれにせよ、大学が、学生にとって教員との接点を増やすことによって、より充実した学修の場になりうると考えれば、授業時間以外の教員との接触はもっと活発化させる余地があろう。

- 1 「授業の狙いは明確か」

今年度（後期実施）、この項目に「：強くそう思う」ないし「：そう思う」と回答した者の割合はあわせて71.98%。昨年度（前期実施）は68.52%、一昨年度（後期実施）の73.44%、その前（前期実施）の68.30%と並べると、前期実施では低く、後期実施では高くなっている。概ね7割が授業の狙いは明確だと感じているということだろう。上にみたとおり、講義要項は受講を決める判断材料として重要な位置を占めており、「授業の狙い」は、講義要項に明確に示され、それに沿った授業展開がなされる必要がある。一方で、受講する学生の側にも、問題意識を明確に持ち、その授業から何を求めるのかを自覚的に追及する姿勢が求められよう。

- 2 「授業の難易度」

「：ちょうど良い」との回答は55.18%と、昨年度の51.26%、一昨年度の53.87%から大きく増加した。「：難しすぎる」と「：やや難しい」を合わせた割合は40.94%と、昨年度の45.26%、一昨年度の42.31%から減少した。こ

の項目への回答は、実施時期（前期か後期か）による変動を繰り返しながらも、ここ数年間にほぼ安定して推移している。重要なのは「 : やややさしい」「 : やさしすぎる」と答えた者が3.88%（一昨年度3.82%、昨年度3.48%）と少ないレベルで推移していることだろう。やさしすぎて知的刺激が弱い場合に学びの効果は期待できず、歯が立たないほどではないが、やや難しいくらいが望ましいと考えられるからである。

- 3 「講義要項に沿って授業が行われているか」

一昨年度から設けられた設問だが、項目全体の平均値は一昨年度が4.08、昨年度が4.00、今年度は4.06と高い値になっている。ほぼ講義要項に従った授業展開が実践されているということだろう。

「 : 強くそう思う」と「 : そう思う」を合わせた回答の割合は、一昨年度が74.49%、昨年度が69.40%だったのに対して今年度は71.86%だった。また、「 : 全くそう思わない」と「 : そう思わない」の合計は一昨年度2.37%、昨年度3.19%だったものが今年度は2.42%だった。ここにも実施時期（前期か後期か）による変動がうかがわれる。

- 4 「授業の進度」

「 : ちょうど良い」は一昨年度73.23%、昨年度70.26%、今年度71.90%と変動し、「 : 速すぎる」「 : やや速い」を合わせた回答は同22.12%、25.93%、23.49%、「 : やや遅い」「 : 遅すぎる」は同4.66%、3.81%、4.61%と、いずれも隔年変動を示した。約7割が満足する一方、遅すぎると感じ授業に退屈している受講者は多くないと思われる。

- 5 「聞き取りやすいか」

この項目の平均値では過去数年間でもっとも高い値になっている。「 : 強くそう思う」と「 : そう思う」の合計は75.41%と昨年度の72.43%、一昨年度の75.30%から増加している。教室の隅に座りながら聞こえ難いと不平を言う学生もいるなどの指摘もある一方で、マイクの使用方法の問題、教室内の静謐性の問題、また教員の声質の問題など、授業ごとに区々の問題があり、より良い授業に向けた不断の努力が必要であるう。

- 6 「教材等は授業の理解に有効か」

「 : 強くそう思う」と「 : そう思う」をあわせた割合は72.05%であり、昨年度の67.15%、一昨年度の73.35%と並べると隔年変動がみられる。

授業における Power Point や動画の利用など、ビジュアルな教材の活用や、Black Board (Bb)システムの活用による教材の提供など、様々な効果が期待できる教材の利用は着実に増えている。ただし、副作用として、レジュメをダウンロードしたり、映出される画面を眺めるだけで、ノートやメモを取ることをせず、その結果、手を動かすことによって考えるという大事な学習プロセスから遠ざかっている学生が増えていることが心配される。教材の有効な利用ということのなかには、「楽だ」「楽しい」という学生の評価だけではな

く、教育上の実質的な効果が上がっているかどうかという、教員側の尺度での評価も欠かせないだろう。

- 7 「教室内は学習にふさわしい雰囲気か」

この項目全体の平均値を過去数年間でみると、この項目にも後期にアンケートを実施した場合には高く、前期の場合には低く出る傾向があるようにみえる。授業内容が前・後期で関連しており（A・Bあるいは・がつく科目など）、それらを通して受講する学生多い場合には、開講間もない前期よりも後期の方が授業になじんできて学生も居心地良くなり、教員もやり易くなるという話は良く聞く。実施時期と雰囲気との相関が本当にあるのか、また、もしあるならばなぜなのかは詳しく調査する必要があるだろう。

この設問に「 : 強くそう思う」「 : そう思う」と回答した者を合わせた割合は、今年度（後期実施）が75.84%、昨年度（前期実施）が71.57%、一昨年度（後期実施）は75.23%、その前年度（前期実施）が68.85%と隔年で上下動を示している。一方、逆に「 : 全くそう思わない」「 : そう思わない」と答えた不満組は今年度が5.29%、昨年度が6.36%、一昨年度が6.70%、その前年度は7.67%と持続的な減少傾向がみられる。教員の努力が結実しつつあるものと評価できる。今後はこうした6~7%の不満組も気持ちよく受講できるようにしていく努力が必要だ。

- 8 「宿題・課題が適切か」

「 : 強くそう思う」と「 : そう思う」を合わせた回答の割合は53.49%であった。昨年度は49.17%、一昨年度は47.95%であり、このところ大幅に上昇している。教員の間で、宿題・課題を与えて、講義時間以外の学習を促そうとする工夫が広く行われるようになってきていることの表れであろうと考えられる。

ただし、設問 - 3 「どのくらいの予習・復習をしているか」への回答結果をみると、授業時間以外にはあまり学習していない姿が浮かび上がっており、宿題・課題についてはさらに工夫していく余地がありそうである。

- 9 「理解しやすいか」

この項目についても前期に低く、後期に高くでる傾向があるのではないかと疑われる。項目全体の平均値をみると、今年度（後期実施）は3.73、昨年度（前期実施）が3.58、一昨年度（後期実施）が3.63、その前年（前期実施）には3.55であった。ほぼ3.5~4.0の値であり、「ちょっと難しい」、妥当なレベルであると考えられる。

「 : 強くそう思う」あるいは「 : そう思う」と答えた、「理解しやすかった」と評価している学生の割合は今年度（後期実施）が61.66%、昨年度（前期実施）は54.76%、一昨年度（後期実施）は57.16%、その前年度（前期実施）は51.82%と推移しており、隔年変動をみせながら大きく上昇している。教員による授業改善努力の表れと評価できよう。

学生の理解度を高めることは教育の基本的な課題であるが、それは教員と学生の双方の営為の関数なので一筋縄ではいかない。理解するための努力をある程度学生に求める程度の難易度の授業レベルが理想なのかもしれないが、その努力を厭う学生が存在することも

確かなのである。では、学生が易々とこなせるレベルの授業ならば、この設問で「理解しやすかった」という回答を得るだろうが、こうしたことは望ましいものではないだろう。一方、学生の学習能力を大きく超える難度の授業を展開すれば、この項目への回答は「全く理解できなかった」に傾くだろう。さらに難しいのは、各科目において、これだけは理解してもらわないと講ずる意味がないという内容があると思われるが、それが学生にとって難しい事柄である場合であろう。それを学生にもわかりやすく説明せよといわれても、限界がある場合が多い。そこでは学生側に、考えて、苦しんで理解するという営為が是非必要なのだが、ついてこない学生も多いのは残念なことである。努力を厭う学生に難しいが必要なことを教えて、かつ「理解しやすかった」という評価を得るのは簡単なことではない。

- 10 「見方・考え方が深まる」

この設問全体に関する評価の平均値は平成23年度から平成24年度にかけて改善したのち平成25年度には横ばい推移し、今年度は再び大きく改善した。平均値のレベルも相応に高い。

「 : 強くそう思う」ないし「 : そう思う」と回答した者はあわせて平成23年度に52.44%だったものが平成24年度に60.40%と大幅に上昇し、平成25年度に59.02%と低下したのち今年度は63.99%と急上昇した。隔年変動パターンがみられるが、それを勘案してもここ数年間に大幅な改善である。教員が、学生の知的好奇心を刺激し続ける授業を工夫していることの表れであろうと考えられる。

一方、「 : 全くそう思わない」「 : そう思わない」との回答は、平成23～26年度に各10.88%、9.87%、9.64%、7.21%と低位で遞減推移していることにも留意したい。

「総合的な満足度」

この設問に「 : 強くそう思う」「 : そう思う」と答え、授業満足度が高い学生の割合はあわせて73.37%であった。昨年度の66.19%、一昨年度の69.86%、さらにその前年度の60.88%から大きく上昇した。隔年変動パターンを勘案して、同じ後期実施の一昨年度と今年度を比較しても著しく改善したとの評価も可能であろう。

なお、満足度は授業の規模（履修登録者数）によっても影響を受けるとの観察もある。確かに、昨年度では、全学でみると講義科目の履修登録者数が100人以下の授業の満足度の平均値は3.95なのに対して301人以上の授業では3.73と低くなっている。この傾向は、 - 1「授業の狙いは明確か」、 - 6「教材等は授業の理解に有効か」、 - 7「教室内は学習にふさわしい雰囲気か」、 - 9「理解しやすさ」などの諸項目にも共通しており、大規模の授業の難しさを反映しているとも思われる。政経学部は他学部と比べて、とくに、教員あたりの学生数が多く、大規模授業が多くなる傾向があり、そのなかで満足度を改善していくことはより一層の努力を要するであろうと考えられる。

- 1 「教室、施設・設備は適切か」

この学部設問項目は今年度から削除した。

- 2 「私語はない」

この学部設問項目は今年度から削除した。

・ 教員属性別評価

i. 政経学部専任教員

設問項目ごとの平均値は以下の通り

	H 2 4	H 2 5	H 2 6
- 1 「学生の出席状況」	4 . 4 7	4 . 4 9	4 . 4 6
- 2 「ノート・メモをとっているか」	4 . 0 8	4 . 1 1	4 . 1 3
- 3 「どのくらいの予習・復習をしているか」	1 . 8 3	1 . 7 1	1 . 6 7
- 5 「授業時間外の教員への質問」	1 . 6 5	1 . 5 5	1 . 5 4
- 1 「授業の狙いは明確か」	4 . 0 9	3 . 9 3	4 . 0 6
- 3 「講義要項に沿って授業が行われているか」	4 . 1 3	4 . 0 3	4 . 0 8
- 5 「聞き取りやすいか」	4 . 0 7	4 . 0 6	4 . 1 8
- 6 「教材等は授業の理解に有効か」	4 . 0 6	3 . 9 3	4 . 0 8
- 7 「教室内は学習にふさわしい雰囲気か」	4 . 2 6	4 . 0 5	4 . 1 5
- 8 「宿題・課題が適切か」	2 . 4 6	3 . 6 5	3 . 7 5
- 9 「理解しやすいか」	3 . 7 2	3 . 5 7	3 . 7 7
- 1 0 「見方・考え方が深まる」	3 . 7 9	3 . 7 1	3 . 8 2
「満足度」	4 . 0 1	3 . 8 6	4 . 0 5
の回答が適切である質問項目			
- 2 「授業の難易度」	3 . 3 9	3 . 5 4	3 . 4 3
- 4 「授業の進度」	3 . 1 7	3 . 2 7	3 . 2 2

大きな変化として、 - 8 「宿題・課題が適切か」で、設問項目の変更のせいか、一昨年度の 2 . 4 6 から今年度の 3 . 7 5 へと 1 . 2 9 ポイントも上昇した。また、 - 2 「ノート・メモをとっているか」は同 0 . 0 5 ポイントの上昇だった。一方、評価が下落した項目は - 3 「どのくらい予習・復習をしているか」で同 - 0 . 1 6 ポイント、 - 5 「授業時間外の教員への質問」で同 - 0 . 1 1 ポイントなど、学生の修学態度を表す項目が目立った。その他の項目では一昨年度から昨年度にかけて低下し、今年度に上昇するという隔年パターンが観察され、 - 5 「聞き取りやすいか」は一昨年度比で今年度は 0 . 1 1 ポイント、 - 9 「理解しやすいか」は同 0 . 0 5 ポイント、 - 1 0 「見方・考え方が深まる」、「満足度」は同 0 . 0 4 ポイントの上昇を示した。

また、全学の専任教員担当科目と比較すると、過半の項目で高い値になっているが、 - 3 「どのくらいの予習・復習をしているか」では全学の 1 . 7 6 ポイントを 0 . 0 9 ポイント下回った。一方、昨年度は全学に劣後していた - 2 「ノート・メモをとっているか」で 0 . 2 3 ポイントも上回った。また、 - 7 「教室内は学習にふさわしい雰囲気か」でも、全学の 4 . 0 6 ポイントを 0 . 0 9 ポイント上回った。

ii. 政経学部講師（非常勤）

設問項目ごとの平均値は以下の通り

	H 2 4	H 2 5	H 2 6
- 1 「学生の出席状況」	4 . 4 0	4 . 4 3	4 . 4 0
- 2 「ノート・メモをとっているか」	3 . 9 7	3 . 9 2	3 . 7 8
- 3 「どのくらいの予習・復習をしているか」	1 . 7 8	1 . 6 7	1 . 6 4
- 5 「授業時間外の教員への質問」	1 . 5 9	1 . 5 2	1 . 4 9
- 1 「授業の狙いは明確か」	4 . 0 7	3 . 9 2	3 . 9 1
- 3 「講義要項に沿って授業が行われているか」	4 . 0 7	3 . 9 7	3 . 9 9
- 5 「聞き取りやすいか」	4 . 0 9	4 . 0 7	4 . 0 3
- 6 「教材等は授業の理解に有効か」	4 . 0 8	3 . 9 2	3 . 9 4
- 7 「教室内は学習にふさわしい雰囲気か」	4 . 1 9	3 . 9 9	4 . 0 2
- 8 「宿題・課題が適切か」	2 . 5 7	3 . 6 4	3 . 6 8
- 9 「理解しやすいか」	3 . 7 3	3 . 6 5	3 . 6 7
- 1 0 「見方・考え方が深まる」	3 . 6 3	3 . 6 9	3 . 7 2
「満足度」	4 . 0 0	3 . 8 9	3 . 9 2
の回答が適切である質問項目			
- 2 「授業の難易度」	3 . 4 2	3 . 4 3	3 . 4 1
- 4 「授業の進度」	3 . 2 0	3 . 2 8	3 . 2 3

全体として一昨年度以降低下傾向にある項目が目立つ。一方、 - 8 「宿題・課題が適切」では1 . 1 1ポイント上昇、 - 1 0 「見方・考え方が深まる」でも0 . 0 2ポイント上昇した。

全学の講師（非常勤）担当科目との比較では、 - 3 「どのくらいの予習・復習をしているか」と - 8 「宿題・課題が大変か」の両項目でいずれも0 . 1 2ポイント低いなど全体的に劣後している。

・学科別評価

政経学部の法律政治学科の学生による回答（3 , 2 0 0件）と経済学科の学生による回答（5 , 5 7 0件）の集計は以下の通り。

	法律政治学科	経済学科
- 1 「学生の出席状況」	4 . 4 1	4 . 4 2
- 2 「ノート・メモをとっているか」	4 . 0 3	3 . 9 2
- 3 「どのくらいの予習・復習をしているか」	1 . 6 5	1 . 6 8
- 5 「授業時間外の教員への質問」	1 . 4 9	1 . 5 3
- 1 「授業の狙いは明確か」	4 . 0 1	3 . 9 9

- 3 「講義要項に沿って授業が行われているか」	4 . 0 4	4 . 0 5
- 5 「聞き取りやすいか」	4 . 1 3	4 . 1 0
- 6 「教材等は授業の理解に有効か」	4 . 0 3	4 . 0 2
- 7 「教室内は学習にふさわしい雰囲気か」	4 . 1 6	4 . 0 6
- 8 「宿題・課題が大変か」	3 . 6 5	3 . 7 8
- 9 「理解しやすいか」	3 . 7 8	3 . 7 1
- 1 0 「見方・考え方が深まる」	3 . 8 5	3 . 7 4
「満足度」	4 . 0 3	3 . 9 9
の回答が適切である質問項目		
- 2 「授業の難易度」	3 . 4 0	3 . 4 3
- 4 「授業の進度」	3 . 2 0	3 . 2 2

両学科の学生の回答は近似している。また、一昨年度、昨年度と比べると、学生の学修姿勢を示す 群の値が多く低下する一方、 群の値は上昇しているものが多いことが特徴的であった。

・分野別評価

政経学部の科目を五つの分野に分けたとき、それぞれの分野ごとの評価の平均値は以下の通り。なお、各分野の科目数は、法律分野 3 0 科目、政治分野 2 4 科目、行政分野 7 科目、経済分野 4 9 科目、その他 2 6 科目。

	法律	政治	行政	経済	その他
- 1 「学生の出席状況」	4.48	4.34	4.32	4.41	4.55
- 2 「ノート・メモをとっているか」	4.00	4.18	3.86	3.99	3.52
- 3 「どのくらいの予習・復習をしているか」	1.59	1.66	1.58	1.65	1.60
- 5 「授業時間外の教員への質問」	1.49	1.50	1.53	1.50	1.55
- 1 「授業の狙いは明確か」	4.04	4.02	4.08	4.01	3.99
- 3 「講義要項に沿って授業が行われているか」	4.08	3.98	4.13	4.07	4.06
- 5 「聞き取りやすいか」	4.17	4.14	4.20	4.11	4.11
- 6 「教材等は授業の理解に有効か」	4.04	3.96	4.12	4.06	4.03
- 7 「教室内は学習にふさわしい雰囲気か」	4.14	4.26	4.15	4.07	4.12
- 8 「宿題・課題が大変か」	3.57	3.51	3.58	3.77	3.73
- 9 「理解しやすいか」	3.70	3.85	3.78	3.70	3.71
- 1 0 「見方・考え方が深まる」	3.82	3.97	3.95	3.76	3.68
「満足度」	3.98	4.11	4.11	4.00	3.94
の回答が適切である質問項目					
- 2 「授業の難易度」	3.54	3.36	3.30	3.45	3.47
- 4 「授業の進度」	3.27	3.21	3.25	3.20	3.31

(3) 今後の課題

まず、実施時期およびカバレッジについて検討の余地があるのではないかと考える。

現在の実施方法では、前期に実施する年度と後期に実施する年度があり、これは前期のみの開講科目も後期のみの開講科目もともに対象にするためには有効な措置であるとともに、個々の教員が自分の授業への見方を観測するための、いわば「サンプル調査」をおこなううえでは十分な方法であろうと考えられる。しかし一方で、サンプル調査を超えて、学生全体の授業に対する見方を検討する材料を得ようとする場合には、各年度のアンケート結果を単純に比較しにくくする複雑さをもたらしていると考えられる。これは、上記にも隔年変動パターンについて度々触れてきたとおりである。加えて、カバレッジの観点からみると、この方法では、実施の対象から漏れる科目がある（前期開講のみの科目／後期開講のみの科目があるなど）ことが避けられない。今後、本アンケートを学生全体の授業に対する見方を検討する材料として活用しようとするのであれば、こうした問題を回避する方策を検討する必要があるのではないかと考える。またその場合、カバレッジの観点からは、比較的少人数のゼミナールや演習などをアンケートの対象とすべきかの検討も必要と考える。

つぎに、アンケートの結果の活用について、さらに検討する余地があるのではないかと考える。

教員は自分自身の授業に関するアンケート調査の結果の還元を受けて、授業の改善に取り組む仕組みになっているが、これを、成功例の開陳も含め、教員相互の授業方法に関する情報交換につなげる方策を強化すべきと考える。授業効果を改善する良案や、学生のニーズをくみあげるための良案は多くのものが、いわば「私蔵」されていると考えられ、これらを教員間の共有ツールにして活用していくための仕組みづくりを検討して参りたい。

なお、今年度調査からアンケートの回収を学生に委ねることがルール化された。ただし、これにより回答の傾向が影響を受けたという痕跡はないと思われる。すなわち、本アンケートは従来もバイアス・フリーであったが今回の変更により、それがルール面から担保されたと考えるのが妥当であろうと思われる。

3. 外国語学部

(1) 実施状況について

今年度「授業改善のための学生アンケート」を実施した外国語学部教員は、専任教員(特別非常勤講師を含む)が41名、講師(非常勤)が41名であった。実施率は、専任教員が100%、講師(非常勤)が97.6%であった。昨年度(どちらも100%)に比べやや下がったものの、100%に近い実施率が続き、外国語学部教員の中にFD活動への積極的な意識が根付いてきたと言える。

実施科目数は、専任教員は88、講師(非常勤)は76で、合計164であった。その内訳は、外国語学部専門科目が104、国際学部専門科目が1、教養科目・総合教育科目が16、外国語科目が28、教職・社教・日語科目が7、ゼミ・外書講読が8である。

アンケート回答数(延べ人数)は、1年が1,250名、2年が559名、3年が355名、4年が104名、無回答(学年・学科を記していないもの)が16名で、合計2,284名であった。

(2) 集計結果とその分析

学科目別(講義等科目)

大学全体の集計結果と比較しながら、外国語学部の集計結果を見てみよう。

外国語学部専門科目に対する評価を設問項目別に数値で見えていくと、次のようなことがわかる。

- 1 「学生の出席状況」の平均値は4.59で、大学全体の中で2番目に高い数値である(1位は工学部専門科目)
- 2 「ノート・メモ」の平均値は3.78で、大学全体の平均値3.90を下回り、十分とは言えないだろう。
- 3 「予習・復習」の平均値は2.04で、大学全体の中で最も高いが、外国語の習得を志す学生としては不十分であろう。
- 5 「質問(オフィスアワー等)」は1.58で、大学全体の平均値1.61よりやや低い。外国語学部の学生は、疑問点が生じれば、オフィスアワーを待たず、すぐ教室の中で質問して解決しようとするからであろう。
- 1 「狙いの明確さ」は4.11で、大学全体の中では3番目に高い(1位はゼミ・外書講読)
- 3 「講義要項との進み具合」は4.17で、これも大学全体の中では3番目に高い(1位はゼミ・外書講読)
- 5 「声の大きさ」は4.26で、大学全体の中では2番目に高い(1位はゼミ・外書講読)
- 6 「教材等の効果」は4.13で、これも大学全体の中では2番目に高い(1位はゼミ・外書講読)
- 7 「教室内の雰囲気」は4.20で、大学全体の中では3番目に高い(1位はゼミ・外書講読)
- 8 「宿題・課題」は3.96で、大学全体の中では3番目に高い。

- 9 「理解しやすさ」は 3.98 で、これも大学全体の中で 3 番目に高い。
- 10 「見方・考え方が深まる」は 3.83 で、大学全体の中では 4 番目である。
「満足度」は 4.12 で、大学全体の中では 3 番目に高い（1 位はゼミ・外書講読）。
- 2 「難易度」と II - 4 「進度」は、上記の項目と異なり、評価が 3 になる回答が好ましいと判断されるが、それぞれ、3.31 と 3.18 であり、大学全体の平均値よりも 3 に近い良好な数字となっている。

以上の集計結果により、外国語学部の教育にとって特に重要だと思われる項目、「狙いの明確さ」「声の大きさ」「教材等の効果」「教室内の雰囲気」「理解しやすさ」などは、学生たちから比較的高い評価を受けていることがわかる。

また、さまざまなレベルの学生がいるため、高い評価を受けるのが難しいと思われる「難易度」と「進度」についても、概ね良好な評価を得ている。

総合評価とも言える「満足度」も 4.12 で良好な数値ではあるが、教員としてはさらに「満足度」を上げる努力を怠ってはならないだろう。

教員所属別評価

専任教員に対する評価

専任教員に対する評価では、「狙いの明確さ」「講義要項との進み具合」「声の大きさ」「教材等の効果」「教室内の雰囲気」「宿題・課題」「理解しやすさ」が大学全体の中で最も高い評価を受け、「見方・考え方が深まる」が 2 番目に高い評価を受けている。

また、「満足度」の平均値も大学全体の中で最も高い数値 4.23 がついている。「難易度」「進度」はそれぞれ 3.30、3.15 で、大学全体の中で 3 に最も近く、良好な評価を受けている。

講師（非常勤）に対する評価

「狙いの明確さ」「講義要項との進み具合」「声の大きさ」「教材等の効果」「教室内の雰囲気」「理解しやすさ」「見方・考え方が深まる」「満足度」の項目が、大学全体の平均値をやや下回っている。

専任教員の授業への評価がこの数年高くなっているのに比べ、講師（非常勤）の授業への評価は大学全体の中でやや低い位置にあるようである。専任教員と講師（非常勤）は連携を密にしながら、より効果的な外国語教育ができるよう、さらに努力を重ねていかなければならないだろう。

学生所属別評価（講義科目）

学科別の分析

講義科目に関する学生アンケートの回答を学科別に見てみよう。

I - 1 「学生の出席状況」

学科別の平均値は、英米語 4.65、中国語 4.35、スペイン語 4.56 で、出席状況は概ね良好に見えるが、外国語習得のためにはもっと積極的な出席が必要であろう。

I - 2 「ノート・メモ」

学科別の平均値は、英米語 3.81、中国語 3.78、スペイン語 3.87 で、大学全体の中では平均をやや下回る高い数値である。ノートやメモの取り方を授業内にもっと指導する必要があるように思える。

I - 3 「予習・復習」

学科別の平均値は、英米語 1.95、中国語 1.91、スペイン語 1.86 で、大学全体の中では高いが、この数年の間にしだいに数値が低くなっている。

外国語学部の学生たちは、他学部の学生たちよりずっと予習・復習に時間をかけるべきで、さらに指導が必要であると思われる。

I - 5 「質問 (オフィスアワー等) 」

学科別の平均値は、英米語 1.39、中国語 1.73、スペイン語 1.57 だった。今年度は、中国語学科が国際ビジネス学科と並んで、学内で一番高い数値を示している。

英米語学科は大学全体の平均値より低くなっているが、おそらくオフィスアワーではなく、授業内もしくは授業直後に質問する学生が多いからであろう。

- 1 「狙いの明確さ」

英米語 4.08、中国語 3.95、スペイン語 4.13 で、良好ではあるが、昨年度よりやや低くなっている。

- 3 「講義要項との進み具合」

昨年度も高い数値だったが、今年度も英米語 4.15、中国語 4.04、スペイン語 4.20 で、いずれも良い評価を受けている。特に、スペイン語と英米語は、学内の 1 位と 2 位である。外国語学部では、引き続き適切な授業運営が行われていると言える。

- 5 「声の大きさ」

外国語学部が、毎年特に高い評価を受けている項目である。

今年度は、英米語 4.24、中国語 4.07、スペイン語 4.26 であった。

- 6 「教材等の効果」

この項目も、外国語学部は毎年比較的高い評価を受けている。今年度は、英米語 4.14、中国語 3.96、スペイン語 4.12 だった。英米語とスペイン語は、これで 3 年連続学内の 1 位と 2 位を占めたことになる。

- 7 「教室内の雰囲気」

この項目も比較的良好な評価が得られている。最近 5 年間数値があまり変わらず、安定した数値を示している。

学科別の平均値は、英米語 4.17、中国語 3.96、スペイン語 4.21 だった。

- 8 「宿題・課題」

一昨年は低い数値だったが、昨年は高くなり、今年度も英米語 3.93、中国語 3.78、スペイン語 3.92 と、昨年に近い数値になっている。語学学習が主となる外国語学部としては、さらに高い評価が必要であろう。

- 9 「理解しやすさ」

この項目でも、外国語学部は毎年比較的高い評価を受けている。今年度の平均値は、英米語 3.94、中国語 3.81、スペイン語 3.98 だった。

- 10「見方・考え方が深まる」

学科別の平均値は、英米語 3.84、中国語 3.70、スペイン語 3.83 で、最近 5 年間同様な数値が付けられている。

III「満足度」

この項目も最近 5 年間安定した評価が得られている。今年度の学科別の平均値は、英米語 4.05、中国語 3.97、スペイン語 4.14 だった。

スペイン語学科の満足度は昨年に続き学内トップだったが、これは、初年次教育をはじめ、いくつものきめ細かい指導が、学生たちに好ましい印象を与えていると考えていだろう。

「満足度」という項目は、授業に対する総合評価でもあるので、外国語学部の教育は概ね学生たちから良い評価を得ていると言える。

- 2「難易度」

今年度の学科別の平均値は、英米語 3.32、中国語 3.40、スペイン語 3.29 だった。

最も適切だと考えられる数値 3 から大きく逸脱しない結果となり、三学科とも概ね良好な評価を得ている。

- 4「進度」

今年度の学科別の平均値は、英米語 3.16、中国語 3.21、スペイン語 3.13 だった。

最も適切だと考えられる数値 3 に近く、三学科とも良好な評価を得ている。

授業に対する学生の満足度

設問項目別に見た「外国語学部専門科目」に対する満足度

それぞれの設問に対し、学生たちは段階（最高値は、但し「難易度」と「進度」はが適切）で評価している。どの項目で、満足のいく数値 や が多くつけられているだろうか。

I - 1「学生の出席状況」は、 が 68.65 % と最も多く、次いで の 22.48 となっている。

I - 2「ノート・メモ」は、 が 34.82 % と最も多く、次いで の 30.77 となっている。

I - 3「予習・復習」は、 が 43.52 % と最も多く、次いで の 23.98 となっている。

I - 4「受講した動機」は、「単位が必要だから」が 58.72 % と最も多く、次いで「時間帯が空いている」の 22.43 % となっている。

I - 5「質問（オフィスアワー）」は、 が 69.27 % と最も多く、次いで の 14.38 % となっている。

- 1「狙いの明確さ」は、 の 43.66 % が最も多く、次いで の 33.24 % となっている。

- 2「難易度」は、 の 61.15 % が最も多く、次いで の 28.59 % となっている。

- 3「講義要項との進み具合」は、 の 45.17 % が最も多く、次いで の 30.54 % となっている。

- 4「進度」は、 の 75.97 % が最も多く、次いで の 15.16 % となっている。

- 5「声の大きさ」は、 の 53.15 % が最も多く、次いで の 27.17 % となっている。

- 6「教材等の効果」は、 の 44.76 % が最も多く、次いで の 31.11 % となっている。

- 7「教室内の雰囲気」は、 の 47.49 %が最も多く、次いで の 30.85 %となっている。
- 8「宿題・課題」は、 の 37.44 %が最も多く、次いで の 29.55 %となっている。
- 9「理解しやすさ」は、 の 39.65 %が最も多く、次いで の 33.54 %となっている。
- 10「見方・考え方が深まる」は、 の 34.39 %が最も多く、次いで の 30.36 %となっている。

III「満足度」は、 の 44.20 %が最も多く、次いで の 32.72 %となっている。

以上のことから、外国語学部全体としては、多くの項目で概ね良好な評価を得ていることがわかる。

学部設問項目

昨年度同様、今回のアンケートに外国語学部が独自に入れた設問項目は、次の2つであった。

- 1「この授業で使う教室の大きさ、施設・設備などは適切ですか」
- 2「このクラスの学生数は適切ですか」

「この授業で使う教室の大きさ、施設・設備などは適切ですか」に対する回答の平均値は、専任教員の授業では 4.34、講師（非常勤）の授業でも 4.11 の数値であった。いずれも良好だと言える。

「このクラスの学生数は適切ですか」に対する回答の平均値は、専任教員の授業では 4.36、講師（非常勤）の授業では 4.13 であった。こちらも概ね良好な結果となっている。

これら2項目は、少人数教育を中心とした外国語の授業で効果的に授業が行われる環境が整っているかどうかをチェックする重要な設問であるが、今年度も学生側からは一応満足できる評価が得られていると考えられる。

(3) 授業改善に向けての今後の課題

以上、「平成 26 年度授業改善のための学生アンケート」の集計結果を分析してきたが、今年度も外国語学部の数値は全般にわたって比較的安定した高い水準を維持していると言える。

声の大きさ、理解しやすさ、明確さなど、外国語教授法の基本となる部分について、教員たちが工夫を重ね、それぞれの授業の中で実践し続けていることが、学生たちからよい評価を受けることにつながっていると思われる。

少人数の授業が比較的多い外国語学部の授業では、授業時間内だけでなく、休み時間を利用して研究室に足を運び、教員の指導を受けている学生の姿は以前からよく見かけられる。しかし、その一方で、I - 5 「質問（オフィスアワー等）」の平均値はあまり高くない。一部の学生はよく質問するが、それが全体的な流れになっていないということも考えられる。より多くの学生が自発的に学べるような環境をさらに整えていく必要があるだろう。

外国語学部の学生の満足度が高いのは、授業中だけでなく、留学相談、資格試験対策、就活相談、外国語弁論大会など、多方面で懇切丁寧な教育指導が行われていることとも関連があるだろう。今後も、教室内外でこうしたきめ細かな指導を続けることが、学生たちの力をさらに伸ばすことにつながるはずである。

現在、外国語学部が抱える最も大きな課題は、年々広がる学力差を前にして、どのように効果的な授業を行うかである。それに対応するために、授業の工夫が以前にも増して求められている。外国語学部では、能力別のクラス編成によって、より学習効果が上がる体制は三学科とも一応整っている。しかし、それだけでは十分でなく、教員たちは絶えず学生の学習到達度を細かくチェックする必要があり、教員間の連携も重要である。

学生たちの学力差の問題は、今後も続くと思われる。さまざまな学習到達度の学生が混在する授業では、授業の内容や進め方について新たな試みが必要かもしれない。

来年度もさらに試行錯誤しながら、よりよい教育の実践に努めたい。

4. 工学部

(1) 授業アンケートの実施状況

今年度はアンケートの実施が後期で、これまでと同様授業期間の後半（通常 12 ～ 14 回目）の実施であった。授業に関する評価も定まっている頃ではあるが、授業終了時に実施してほしいという意見もある。

実施教員数は、専任教員 56 名中 56 名、講師（非常勤）50 名中 50 名で、共にこれまでと同様 100 % の実施率であった。

実施科目数は、専任教員 104 科目、講師（非常勤）65 科目で、専任教員は一人当たりおよそ 2 科目、講師（非常勤）はおよそ 1 科目となっており、これまでとほとんど変わらない。アンケート可能な科目は大体すべて実施されているのではないかと考えられる。

アンケートの回答者数は延べ 6,039 名で、昨年より 6,469 名より少ないが、実施科目がやや少なくなっていることによるものであると思われる。1, 2 年生がそれぞれ 2,052 名、2,256 名とほぼ同程度となっており、履修科目が多いことが反映されている。3 年生は 1,512 名とやや少なくなっている。これは 3 年生の履修科目数が少ないためであると思われる。4 年生は 138 名であるが、ここに含まれるのは、単位不足により授業を受けざるを得ない状況の学生がほとんどであると思われる。

科目の分類は、工学部専門科目（講義）が 103、（実験・実習）が 27 と、学生の傾向を見るのには十分な数となっている。

(2) 全体集計結果に基づく授業アンケート結果の分析

アンケート結果をまとめた資料では、学部における平均値、専任・非常勤の違い、5 年間の推移、学科別の値などがある。これらの視点から各アンケート項目について考察する。

I 受講の姿勢や動機

I - 1 学生の出席状況

工学部専門科目（講義）では 4.66 となっており、昨年の 4.66 と同じで、相変わらず他学部と比べても最も高い値で、偏差も最も小さい。これは、専任、非常勤ともに変わらない傾向である。また、過去 5 年間でもほとんど変化していない。学科別では、機械・通信・システム学系を構成する機械システム工学科、電子システム工学科が 4.72、4.73 とやや高く、情報・デザイン・メディア学系を構成する情報工学科、デザイン学科が 4.57、4.50 とやや低い。

これは、昨年も指摘した通り、出席を重視する工学部の特性が大きく出ているものと思われる。出席して積み上げをしっかりとすることで、実力がついてゆくという基本的姿勢があり、これに学生も対応しているためである。一方、欠席すると取り戻すことが難しいため、欠席がきっかけで単位を落としたり、原級につながったりすることも考えられる。工学部では原級や退学者が多めであるため対策が求められており、カードリーダーによる出欠調査を利用した早期対策を始めている。

I - 2 ノート・メモ

これは、工学部専門科目（講義）で 3.62 という値で、昨年の 3.72 よりも小さくなっており、また例年同様他学部に対してもっとも小さい値となっている。一転して小さい値となっている。専任は 3.70 とやや高いが、非常勤は 3.52 と低い値である。昨年よりも下がっており、学科別では最高が機械の 3.77、最低が情報の 3.55 である。

工学部の授業を見ると、多くの教員がパワーポイントを用意し、さらに教科書にプラスしてプリントを配布するというスタイルが多いため、ノートをあまりとる必要がないためではないかと思われる。これは特に非常勤教員に顕著であり、また情報工学科では Bb の活用も盛んなので、上記の数字は想定できるものである。

一方、実験・実習科目ではシステム学系で 2.8 程度、メディア学系で 3.5 程度と大きな違いがある。システム学系では何かを作るなどの実験が多く、メディア学系では手作業で制作を行うなどの違いがあるため、このような結果になったと考えられる。

I - 3 予習・復習

工学部専門科目（講義）では 1.75 で、昨年の 1.82 より低くなっており、大学全体の平均値に近い。専任が 1.77、非常勤が 1.68 とやや専任が高い値となっている。これは専任の方が学生との係わりが強く、予習復習などを課しやすいためではないかと思われる。

過去 3 年間では徐々に低下しており、我々の期待とは逆に進んでしまっている。学科別では最高がデザインの 1.79、最低が機械の 1.63 である。この値をいかに上昇させるかが、今後重要なポイントとなってくる。

一方、（実験・実習）では最高が情報 4.08、最低が機械 3.88 といずれも高い値となっており、授業の特性がよく出ている。講義を実験・実習並にすることは難しいが、工夫次第で高くすることも可能であると考えられる。

I - 5 質問

工学部専門科目（講義）では 1.66 という値で、昨年の 1.79 より低くなっているが、大学の平均値に近い。専任は 1.68、非常勤は 1.56 なので、やはり普段大学に居る専任に対するほうが質問しやすいことがわかる。過去 3 年ではやや減少傾向にあり、これについても期待と逆になっており、質問のしやすい環境の提供が課題であると考えられる。

学科別にみると、最高が電子 1.62、最低が情報の 1.55 となっているが、それほど大きな差はない。実験・実習では最高が電子 4.07、最低がデザイン 3.68 と高い値となっており、やはり実験・実習の方が教員とコミュニケーションをとって課題に取り組むことができていることがわかる。

II 授業の内容や進め方

全般には、相変わらず全項目について低い値となっているが、ほぼすべての項目で年々上昇しているという傾向にある。

II - 1 狙いの明確さ

授業の狙いについては、講義科目で 3.78 という値で、昨年の 3.69 よりは上昇している

が、他学部 비해最も低い値で、平均の 3.99 に対しても低い値である。専任は 3.81、非常勤は 3.71 とやや専任が高い値となっている。過去 5 年間では、昨年までほぼ一定だったのが、今年少しだけ上昇している。学科別では最高がデザインの 3.87、最低が機械の 3.71 である。

実験実習科目では 4.11 であるため、実験実習科目では狙いがよく伝わっているということになる。工学部では実験実習科目が多いため、これに比べると講義科目はわかりにくいということになるのではないかとと思われる。今後も引き続き授業の目的の説明を十分にしてもらうことが必要である。

II - 2 難易度

難易度は、講義科目で 3.57 という値で最も高くなっているが、3 という回答が適切な項目であるため、評価としては悪いことになる。すなわち難易度が高いとされていることになる。専任が 3.58、非常勤が 3.47 なので、非常勤の方がより適切に対応していることになる。昨年の 3.59 よりはずかしく改善され、過去 5 年では徐々に 3 に近づいており、全体としては改善の傾向にあることがわかる。

学科別ではデザインの 3.41 が最も適切で、情報の 3.61 が最も難しいという評価である。実験実習科目でも、平均が 3.65 と悪い結果になっており、難しいと感じていることがわかる。しかし、この程度の値であれば許容できる範囲と思われる。

II - 3 講義要項との進み具合

講義要項の記述に対する講義の進み具合については、他学部が軒並み 4.0 以上であるところ、工学部講義科目が最も悪い値で 3.88 である。昨年の 3.79 よりは改善されている。専任で 3.9、非常勤で 3.88 とほぼ同じ値である。過去 3 年間では値が改善されている。学科別に見ると、最高はデザインの 4.01 で最低は機械の 3.81 である。

データからは講義要項に対し早くなっているか遅くなっているかわからないが、数値は改善されているので、講義要項の記述を実際に合わせるようになってきているか、あるいは授業を工夫して講義要項に沿うようになってきているのではないかとと思われる。近年、講義要項に沿った授業展開が求められているので、今後も数値を改善してゆくことが必要である。

II - 4 進度

授業の進度は、3 の回答が適切な設問であるが、工学部講義科目は 3.32 となっており、やはり他学部と比べて高い(早い)という評価になっているが、それほど大きな値ではないので、ほぼ適切な速度といえるのではないかとと思われる。専任は 3.31、非常勤は 3.26 と、わずかに非常勤の方が良い値となっている。過去 5 年間ではわずかに改善されており、昨年は 3.36 であった。また学科別に見ると、デザインの 3.25 が最も良く、情報の 3.33 が最も悪いが、わずかな違いであると言える。

II - 5 声の大きさ

声の大きさは、工学部講義科目で 3.93 となっており、昨年の 3.82 よりは改善されたが、

教養科目に次いで 2 番目に悪い値である。専任と非常勤では同じ値である。過去 5 年間では徐々に改善されており、また学科別では最高がデザインの 4.08、最低が機械の 3.90 である。

学生数もそれほど多くはないので聞き取りにくいことはないと思われるが、細かい説明が多かったり、説明の速度が速かったりすると、理解が追いつかず声の大きさを小さく感じるのではないかと思われる。やはり、ゆっくりわかりやすく説明することで数値の改善が見込まれる。

II - 6 教材等の効果

教材等の効果については、工学部講義科目で 3.85 となっており、昨年の 3.73 より改善されたが、最も小さい。専任 3.88 非常勤 3.87 で、ほぼ等しい。過去 5 年間では徐々に改善されている。学科別ではデザインが 4.07 で他学部に対しそんなにないが、最低は機械の 3.79 となっていてやや小さい値となっている。

年々徐々に数値が上昇していることから、教材の改善が進んでいるということが伺える。特にデザイン学科では評価が高く、積極的に改善がなされていることが推察される。教材の作成技術は年々進んでいるため、常に新しい技術を身に付け改善し続けることが大切である。

II - 7 教室内の雰囲気

教室内の雰囲気は、工学部講義科目で 3.79 となっており、昨年の 3.57 から大幅に改善されているが、教養科目と共に 4.0 を割ってしまっている。専任 3.83、非常勤 3.85 でほぼ変わらない。過去 5 年間では上下を繰り返しているが、今年が一番良い結果となっている。

工学部は大教室でないため、一部の私語などによる影響が大きくなってしまい、雰囲気が良くないと感じる学生が増えるのではないかと思われる。しかし、最近は大人しい学生が増え、学年にもよるが騒々しいという状況はあまりない。逆に、スマホなどをいじっていて静かになっている学生も多く、他人の邪魔にはならないものの授業を受ける態度が良いとは言えない状況も散見される。

II - 8 宿題・課題

宿題・課題に対する工学部講義科目の値は 3.68 となっていて、昨年の 3.56 から高くなっているが、やはり他学部より低い値となっている。専任の値が 3.71、非常勤の値が 3.63 であり、専任の方がやや高くなっている。過去 3 年間では、昨年大きく増加したが、今年もさらに増加している。学科別ではデザインが 3.84 と最も高く、電子が 3.60 と最も低い。

昨年より、宿題を積極的に課すようになったため、徐々に定着してきたのではないかと思われる。シラバスにも記述するようになったため、今後も上昇することが期待される。単位の適正化に向けて今後も改善が必要である。

II - 9 理解しやすさ

理解しやすさの項目については、工学部講義科目で 3.46 となっており、昨年の 3.30 より大幅に改善されているが、他学部比べて特に低い値となっている。専任非常勤ではほとんど変わりはない。過去 5 年間では、昨年までほとんど変化がなかったが、今年は急に上昇している。学科別では、デザインが 3.77 と他学部並みであるが、他学科は 3.4 台の数値となっていて、デザインの数値の上昇が工学部の数値を押し上げていることがわかる。

工学部の FD 委員会ではこの項目と満足度に注目しており、この数値が改善されることが望ましいと考えているため、今年の上昇傾向は歓迎すべき結果である。デザインだけでなく、他学科でも数値が上昇するようにしてゆきたい。

II - 10 見方・考え方が深まる

見方や考え方の深まりであるが、工学部講義科目で 3.49 となっており、昨年の 3.37 より改善されているが、全体では最も小さい。過去 5 年間では徐々に上昇しており、学科別ではデザインが 3.87 であるが他学科は 3.4 台である。この傾向は II-9 の設問とほぼ同じで、2 つの設問の相関が高いことが伺える。

見方や考え方を深めるためには、講義で説明した内容の応用面に言及する必要があるが、あまりその余裕がないことが多いように思われる。特に工学部では技術的な知識を説明することが多く、応用まで話を膨らませるところまでたどり着けない。できれば他の講義で得た知識との関連に気づいてくれることが望ましいが、そのようなことが苦手な学生が増えており、なかなか期待通りに考え方を深めてくれる学生は多くない。

III 満足度

満足度については、工学部講義科目において 3.67 で、昨年の 3.54 に対して大きく改善しているが、教養科目と共に 3 点台となっている。専任、非常勤では同じ値で、過去 5 年間では徐々に上昇している。学科別ではデザインが 3.93 と最も高く、情報が 3.61 と最も低い。

満足度は総合的な指標であるため、現在上昇はしているものの、今後もこの傾向を続けることが重要である。

IV 学部別設問

工学部では、学部別設問として、学生の授業に対する取り組みや達成度についての項目を設けている。

IV - 1 宿題や課題への取り組み

宿題や課題への取り組みについては 3.55 という値で、昨年の 3.54 とほとんど変わらず、あまり積極的ではないという数字になっている。宿題や課題への取り組みは理解度の上昇に結び付くと思われるので、より高い値となるようにしたいが、なんらかのインセンティブがないとなかなか本人の気持ちだけで改善することは難しいように思われる。

IV - 2 授業に対する質問

授業に対する質問については 2.39 で、昨年の 2.41 より低い値となっている。質問に対して消極的になっている様子が伺える。工学部の教員は基本的に大学に居るので、質問する気持ちがあれば行きやすいのだが、敷居を高く感じてしまっているのか、オフィスアワーなどの利用も活発でない。質問しやすいような環境を作る工夫を今後も続けてゆくことが必要である。

IV - 3 到達の度合い

授業の到達目標に対する、到達の度合いについては 3.31 となっており、昨年の 3.28 よりはわずかに改善されている。しかし未だ高い値ではないので、到達できたというところまでは行けていないようである。

この原因としては、学習が不足しているということもあるが、別の原因の 1 つとしては到達目標が高すぎるということも考えられるので、シラバスの見直しなども必要ではないかと思われる。

(3) 今後の課題

過去 5 年間の推移を見てみると、全体に数値が改善しており、5 年間で最も大きくなっている。

回答の平均値を学部間で比較すると、出席状況は最も高いが、それ以外は全て平均以下で、最も小さい値の項目も多い。これは昨年指摘したように、集団の特性を表していると考えられるので、値が小さいからといって授業内容が劣っているということではないと思われる。

I の学生の取り組み状況を聞く項目では出席は最も高く、それ以外もほぼ平均値となっており、各自積極的に取り組んでいるという意識を持っていることがわかる。実際、出席を厳しく取る授業も多く、学生もそれに適応しているためであると思われる。

一方、II の授業に対する評価については、ほぼすべての項目が最低値となっていて、授業に対する評価が厳しいことがわかる。項目間についてはそれほど大きなばらつきはないため、単純に基準となっている数値が低めであるためだと思われる。

学部同士の比較はあまり意味がないが、同じ集団すなわち工学部の中でどの辺りに位置するのかという点については気にする必要があるといえる。そこで、今年度は FD 活動の一環として、いくつかの項目について学部内の分布をグラフ化し、各教員に明示した。教員はこれを見ることによって、自分の評価結果がどの辺りに位置するかを知ることができ、授業方法や授業内容、また到達目標の設定などについて検討することができる。

5. 国際学部

(1) 実施の状況

本年度もこれまで同様に、専任教員と講師（非常勤）を問わず、学部開設のすべての科目を対象に「授業改善のための学生アンケート」を実施した。できるだけ多くの回数の授業を行った後で学生の反応を把握するために、実施期間は予備日も利用し、平成26年11月17日（月）から平成27年1月10日（土）までの期間に設定した。

アンケートの実施科目総数は270科目であった。アンケート結果は、英語群（6分類）、地域言語群（6分類）、基礎科目群（4分類）、専門共通科目（4分類）、専門コース科目（14分類）の5群34分類の分野別データとして集計された。

アンケート回答数（延べ人数）は、1年生2,430人、2年生2,569人、3年生1,038人、4年生338人、無回答147人の6,522人であった。

(2) 学科目別の評価

授業の内容や進め方

専門科目（72科目）について、授業の内容や進め方に関する各項目の過去5年間における平均値を並べた。前年度よりも上昇した場合に△印を、低下した場合に▽印を、変化がなかった場合には□印を付けた。但し、「2-2. 難易度」と「2-3. 進度」の2項目は数値が3の回答が適切であると判断されるものであるため、3に近づく方向を「上昇」とした。参考のために、本年度における大学全体の平均値も付記してある。

なお、「2-5. 講義要項との進み具合」は平成24年度から新しく設けられた項目である。「2-8. 宿題・課題」については、平成25年度に設問の内容が変更されている。

	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	大学全体
2-1. 狙いの明確さ	3.99	△4.00	▽3.98	△4.03	△4.04	3.99
2-3. 講義要項との進み具合			4.02	△4.06	□4.06	4.04
2-5. 声の大きさ	3.93	△3.95	△4.00	△4.17	□4.17	4.12
2-6. 教材等の効果	3.99	▽3.98	△4.04	△4.09	▽4.07	4.01
2-7. 教室内の雰囲気	4.08	△4.09	△4.12	△4.13	△4.16	4.06
2-8. 宿題・課題				3.66	△3.71	3.80
2-9. 理解しやすさ	3.75	▽3.72	△3.76	△3.90	▽3.88	3.78
2-10. 見方・考え方が深まる	3.81	▽3.79	△3.88	△4.02	▽3.97	3.77
3. 満足度	3.87	▽3.86	△3.95	△4.08	▽4.05	3.98

3の回答が適切である項目

	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	大学全体
2-2. 難易度	3.45	▽3.53	△3.34	3.38	3.36	3.41
2-4. 進度	3.21	▽3.28	△3.16	3.19	3.18	3.23

専門科目の平均値は、全体として昨年度と同じ水準であった。授業の総合的な評価にあたる「3. 満足度」では、平成 18 年度から低下傾向が続き、平成 22 年度に改善に転じた。昨年度はさらに上昇して、4.0 を超える高い水準にまで達した。本年度も 4.0 を超える高い水準を維持することができた。「3. 満足度」以外の 10 項目のうち 5 項目で昨年度より平均値が高まった。2 項目で変化がなかった。その一方で、3 項目について昨年度よりも低下しものの、その差は僅かであった。大学全体の平均値との比較では、「2-8. 宿題・課題」を除いて、10 項目のうち 9 項目で上回っている。

2-1 から 2-4 までの 4 項目は、授業の設計に関するものである。「2-1. 狙いの明確さ」と「2-3. 講義項目との進み具合」はともに 4.0 を超えて、高い水準であった。さらに、「2-2. 難易度」と「2-4. 進度」は昨年度よりも改善し、適切なものに近づいた。

次に、授業の技術と運営に関する 2-5 から 2-7 までの 3 項目では、「2-6. 教材等の効果」の平均値で昨年度よりも低下しているが、その他の項目で昨年度よりも高いか、変化がなかった。「2-8. 宿題・課題」について、「この授業は、宿題・課題等が適切に出されていると思いますか」という問いに対して、「強くそう思う」の回答が 31.16 %、「そう思う」の回答 22.44 % と、合わせて約半数の学生が肯定的な反応であった。

2-9 と 2-10 は学習の成果に関する項目である。2 項目ともに平均値で昨年度より低下した。特に、「2-10. 見方・考え方が深まる」で低下の幅が比較的大きいため、今後の推移に注意する必要がある。

受講する姿勢や動機

1-1 から 1-5 までの各項目について、回答の多かった上位を挙げた。これらの結果によれば、授業への出席状況は良好で、約半数の学生が授業中にノートやメモをとっている。さらに、予習や復習の時間は短く、授業時間以外に先生へ質問に行く学生は極めて少ないという実態が明らかである。

受講動機について、昨年度は「講義要項を読んで興味を持ったから」と回答した学生が最も多かったが、その割合が本年度はかなり減少した。

「1-1. 授業への出席状況」	90 %以上 (53.28 %) 80 %以上 (31.18 %)
「1-2. ノート・メモ」	強くそう思う (31.43 %) どちらとも言えない (25.25 %) そう思う (25.45 %)
「1-3. 予習・復習」	0.5h 未満 (61.70 %) 0.5h 以上 (1h 未満) (19.05 %)
「1-4. 受講動機」	単位が必要だから (34.61 %) 講義要項を読んで興味を持ったから (31.97 %) 教員にひかれて (18.17 %) この時間帯が空いているから (12.34 %) 単位取得が楽だから (2.91 %)

「1-5. 質問」

全くそう思わない (66.51 %)

どちらとも言えない (13.83 %)

(3) 学部設問項目の評価

学部設問項目として、本年度もこれまで同様に、「授業の開始時間・終了時間」、「出欠席管理」、「授業中の私語」の 3 項目を設けた。学部設問項目について、過去 4 年間における各項目の平均値を並べた。前年度よりも上昇した場合に ▲印を、低下した場合に ▼印を、変化がなかった場合には □印を付けた。

	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
6-1. 授業の開始・終了時間					
専任教員	4.47	▼4.44	△4.46	△4.57	▼4.54
講師(非常勤)	4.40	△4.42	△4.48	△4.50	△4.56
6-2. 出欠席管理					
専任教員	4.49	▼4.46	△4.51	▼4.44	△4.52
講師(非常勤)	4.48	▼4.47	△4.54	▼4.50	△4.63
6-3. 授業中の私語					
専任教員	4.03	□4.03	△4.17	□4.17	△4.20
講師(非常勤)	3.76	▼3.72	△3.83	△3.84	▼3.82

授業の開始・終了時間と出欠席管理については、継続的に高い平均値を維持しており、これらが定着していることを表している。授業中の私語については、専任教員の場合は平成 22 年度から徐々に改善し、本年度は昨年度よりさらに評価が高まった。しかし、講師（非常勤）の授業で専任教員よりも平均値が下回っている。さらに、昨年度よりも低下したことは、講師（非常勤）の授業で授業中の私語が増えていることを示す。

(4) 教員所属別の評価

専任教員の科目（97 科目）と講師（非常勤）の科目（173 科目）について、各項目の昨年度と本年度の平均値を並べた。昨年度よりも上昇した場合に ▲印を、低下した場合に ▼印を、変化がなかった場合には □印を付けた。

	専任教員		講師(非常勤)	
	平成25年度	平成26年度	平成25年度	平成26年度
2-1. 狙いの明確さ	4.13	△4.15	3.99	△4.10
2-3. 講義要項との進み具合	4.12	□4.12	4.03	△4.12
2-5. 声の大きさ	4.24	△4.25	4.16	△4.26
2-6. 教材等の効果	4.13	△4.14	4.03	△4.12
2-7. 教室内の雰囲気	4.24	△4.27	4.04	△4.12

2-8. 宿題・課題	3.79	△3.90	3.87	△3.98
2-9. 理解しやすさ	3.97	△4.01	3.90	△3.99
2-10. 見方・考え方が深まる	4.04	▼4.03	3.90	△3.93
3. 満足度	4.15	□4.15	4.03	△4.13

3の回答が適切である項目

	専任教員		講師(非常勤)	
	平成25年度	平成26年度	平成25年度	平成26年度
2-2. 難易度	3.39	△3.35	3.39	△3.31
2-4. 進度	3.20	△3.18	3.24	△3.16

専任教員については、「3. 満足度」に変化はない。「3. 満足度」以外の10項目のうち8項目で昨年度より上昇した。さらに、講師（非常勤）では、10項目のうちすべての項目で上昇するという好い結果であった。昨年度は、専任教員との比較で講師（非常勤）の評価が若干低調であったが、本年度になって専任教員と講師（非常勤）との間の差は縮まった。ともに「3. 満足度」は4.0を超えている。

(5) 分野別の評価

分野相互間の比較

英語群（98科目）、地域言語群（114科目）、基礎科目群（23科目）、専門共通科目（17科目）、専門コース科目（55科目）の5群について、相互に比較した。平均値が最も高いものに○印を、最も低いものに□印を付けた。

	英語群	地域言語群	基礎科目群	専門共通科目	専門コース科目
2-1. 狙いの明確さ	4.15	4.22	○4.24	4.00	4.05
2-3. 講義要項との進み具合	4.15	4.17	○4.19	4.01	4.07
2-5. 声の大きさ	○4.34	4.30	4.29	4.19	4.17
2-6. 教材等の効果	○4.21	4.13	4.13	3.94	4.12
2-7. 教室内の雰囲気	○4.25	4.12	4.00	4.08	4.19
2-8. 宿題・課題	○4.19	4.12	3.81	3.59	3.75
2-9. 理解しやすさ	○4.14	4.00	4.06	3.78	3.92
2-10. 見方・考え方が深まる	3.98	3.99	3.87	3.89	○4.00
3. 満足度	○4.22	4.18	4.14	3.99	4.07

3の回答が適切である項目

	英語群	地域言語群	基礎科目群	専門共通科目	専門コース科目
2-2. 難易度	○3.23	3.43	3.28	3.44	3.34

2-4. 進度	3.13	3.29	○3.12	3.20	3.17
---------	------	------	-------	------	------

「3. 満足度」では、英語群、地域言語群、基礎科目群、専門コース科目、専門共通科目という順であった。昨年度との比較で、英語群と基礎科目群で評価が高まった。特に、英語群の授業は多くの項目で平均値が上昇した。分野相互間の比較で、英語群は、「3. 満足度」以外の10項目のうち6項目で平均値が最も高い。これに、基礎科目群が続いている。その一方で、専門共通科目の授業では、10項目のうち6項目で平均値が最も低かった。

英語群

「3. 満足度」で昨年度(4.09)より大幅に上昇した。「2-5. 声の大きさ」、「2-6. 教材等の効果」、「2-7. 教室内の雰囲気」の3項目で評価が高い。「2-10. 見方・考え方が深まる」は平均値で低いが、昨年度(3.92)よりは上昇している。分野相互間の比較で、最も多くの項目で平均値が高く、「2-2. 難易度」についても最も適切であった。

地域言語群

「3. 満足度」で昨年度(4.18)から変化がなかった。「2-1. 狙いの明確さ」と「2-5. 声の大きさ」の2項目で評価が高い。地域言語群は学部の特色の一つとして、継続して高い評価を得ている。しかし、昨年度(3.98)より若干上昇したものの、「2-10. 見方・考え方が深まる」で平均値が低い。さらに、分野相互間の比較では、「2-4. 進度」で評価が最も低かった。

基礎科目群

「3. 満足度」で昨年度(3.94)より大きく上昇した。「2-1. 狙いの明確さ」と「2-5. 声の大きさ」の2項目で評価が高い。分野相互間の比較で、「2-1. 狙いの明確さ」と「2-3. 講義要項との進み具合」の2項目は平均値で最も高く、「2-4. 進度」についても最も適切であった。その一方で、「2-7. 教室内の雰囲気」と「2-10. 見方・考え方が深まる」の2項目で平均値が低い水準にとどまっている。

専門共通科目

「3. 満足度」を含めて、すべての項目で昨年度より上昇した。それにもかかわらず、分野相互間の比較で、「3. 満足度」以外の10項目のうち6項目で評価が最も低い。専門共通科目の授業が平均値で他の分野より劣るという傾向が続いている。

専門コース科目

「3. 満足度」で昨年度(4.16)より低下してしまっただが、4.0を超える高い水準は維持することができた。「2-1. 狙いの明確さ」など、「2-3. 講義要項との進み具合」、「2-5. 声の大きさ」、「2-6. 教材等の効果」、「2-7. 教室内の雰囲気」、「2-10. 見方・考え方が深まる」の6項目で4.0を超えている。特に、分野相互間の比較で、「2-10. 見方・考え方が深まる」で平均値が最も高い。その一方で、「2-8. 宿題・課題」と「2-9. 理解しやすさ」の2項目

で平均値が低い水準にとどまっている。

特に、専門コース科目については、履修学年別ではなく、科目が配当されているコースと学生の所属の2点を考慮して集計を行ってきた。国際協力(20科目)、国際経済(11科目)、国際政治(10科目)、国際文化(7科目)、国際観光(5科目)、農業総合(2科目)の6コースについて、各項目の昨年度と本年度の平均値を並べた。昨年度よりも上昇した場合に▲印を、低下した場合に▼印を、変化がなかった場合には○印を付けた。本年度における学部全体(専門科目)の平均値も付記してある。

	国際協力		国際経済		学部全体
	平成25年度	平成26年度	平成25年度	平成26年度	平成26年度
2-1. 狙いの明確さ	3.98	▼3.95	4.02	▼4.01	4.04
2-3. 講義要項との進み具合	4.03	▼3.99	4.06	▼4.03	4.06
2-5. 声の大きさ	4.14	▼4.10	4.14	▼4.12	4.17
2-6. 教材等の効果	4.04	□4.04	4.02	△4.03	4.07
2-7. 教室内の雰囲気	4.10	△4.13	4.13	△4.18	4.16
2-8. 宿題・課題	3.74	▼3.69	3.78	▼3.71	3.71
2-9. 理解しやすさ	3.85	□3.85	3.84	△3.86	3.88
2-10. 見方・考え方が深まる	4.01	▼3.90	3.95	▼3.92	3.97
3. 満足度	4.05	▼4.02	4.05	▼4.03	4.05

3の回答が適切である項目

	平成25年度	平成26年度	平成25年度	平成26年度	平成26年度
2-2. 難易度	3.40	△3.27	3.45	△3.34	3.36
2-4. 進捗	3.17	△3.14	3.18	□3.18	3.18

	国際政治		国際文化		学部全体
	平成25年度	平成26年度	平成25年度	平成26年度	平成26年度
2-1. 狙いの明確さ	4.02	△4.11	4.07	▼3.96	4.04
2-3. 講義要項との進み具合	4.04	△4.08	4.06	▼4.03	4.06
2-5. 声の大きさ	4.11	△4.25	4.24	▼4.01	4.17
2-6. 教材等の効果	4.06	△4.16	4.19	▼4.01	4.07
2-7. 教室内の雰囲気	4.06	△4.22	4.17	▼4.02	4.16
2-8. 宿題・課題	3.61	△3.71	3.66	△3.68	3.71
2-9. 理解しやすさ	3.87	△3.97	4.01	▼3.76	3.88
2-10. 見方・考え方が深まる	3.97	△4.06	4.12	▼3.86	3.97
3. 満足度	4.03	△4.14	4.17	▼3.91	4.05

3の回答が適切である項目

	平成25年度	平成26年度	平成25年度	平成26年度	平成26年度
2-2. 難易度	3.34	△3.31	3.30	▼3.45	3.36
2-4. 進度	3.17	△3.15	3.13	▼3.23	3.18

	国際観光		農業総合		学部全体
	平成25年度	平成26年度	平成25年度	平成26年度	平成26年度
2-1. 狙いの明確さ	4.11	▼4.01	4.03	▼3.97	4.04
2-3. 講義要項との進み具合	4.10	▼4.04	4.05	▼4.02	4.06
2-5. 声の大きさ	4.22	▼4.10	4.20	▼4.14	4.17
2-6. 教材等の効果	4.18	▼4.01	4.11	□4.11	4.07
2-7. 教室内の雰囲気	4.22	▼4.08	4.15	△4.16	4.16
2-8. 宿題・課題	3.66	△3.76	3.75	▼3.68	3.71
2-9. 理解しやすさ	4.05	▼3.92	3.93	▼3.88	3.88
2-10. 見方・考え方が深まる	4.15	▼3.97	4.09	▼3.95	3.97
3. 満足度	4.21	▼4.05	4.13	▼4.06	4.05

3の回答が適切である項目

	平成25年度	平成26年度	平成25年度	平成26年度	平成26年度
2-2. 難易度	3.29	▼3.31	3.35	△3.27	3.36
2-4. 進度	3.14	▼3.18	3.16	△3.13	3.18

「3. 満足度」では、国際政治、農業総合、国際観光、国際経済、国際協力、国際文化という順であった。昨年度の順位と大きく変わった。特徴的なのは、国際政治コースの授業で、「3. 満足度」を含むすべての項目で平均値が昨年度より上昇した。これとは対照的に、国際文化コースと国際観光コースの授業では多くの項目で評価が低下している。

(6) 評価と課題

本年度の「授業改善のための学生アンケート」の結果によれば、全体として昨年度と同じ水準であった。具体的には、専門科目で「3. 満足度」は昨年度より僅かに低下したが、4.0を超える高い水準を維持することができた。大学全体の平均値との比較でも、「2-9. 宿題・課題」を除いて、すべての項目で上回っている。しかし、「2-10. 見方・考え方が深まる」で昨年度からの低下の幅が大きい。

学生の授業への出席状況は良好で、約半数の学生が授業中にノートやメモをとっている。その反面で、昨年度と同様に、予習や復習の時間が短く、授業時間以外に先生へ質問に行く学生は少なかった。受講動機として「講義要項を読んで興味を持ったから」と回答した学生が減少した。

本年度は、専任教員と講師(非常勤)への評価の差が縮まった。しかし、講師(非常勤)

の授業で、授業中の私語が増えている点が懸念される。

分野相互間の比較で注目すべき点として、英語群と基礎科目群で評価が高まった。地域言語についても、継続して高い評価を得ている。しかし、専門共通科目の授業が平均値で他の分野に劣るという傾向に変化はなかった。

専門コース科目（6コース）間相互の比較では、国際政治コースの授業で評価が特に高まり、授業改善の取組みの成果が表れている。全体としては、専門コース科目（6コース）間の差は年度ごとに変化し、これらの間の差が固定化するという事態にはなっていない。互いに切磋琢磨して、授業改善でシナジー効果が期待できる。

アンケートの結果から明らかになった問題を真摯に受け止め、その解決のために学部全体で必要な対策を講じたい。具体的には、授業において「適切な宿題・課題」とは何か、授業を通じて「ものの見方や考え方」を深めるために改善すべき点は何かについての検討が重要になっている。これらの検討は、「予習・復習」の充実にも寄与する課題である。

6. 教養教育科目

(1) 講義等科目

本節では教養教育科目（以下、教養科目と略称する）に関して、（ ）実施状況 （ ）教養科目の現状評価 （ ）教養科目の課題 （ ）まとめについて順次述べて行く。

（ ）実施状況

「教養教育科目・総合教育科目」全体ではアンケート実施件数は90であり、このうち国際学部だけで開講されている総合教育科目を除いた教養科目の実施件数は67である。これは平成26年度後期開講科目数（97）のほぼ7割にあたる。ただし各群毎に見た場合には、かなりのばらつきが見られる（詳細については後述する）。

（ ）教養科目の現状評価

教養科目の現状を評価するにあたり、教養科目全体に関しては「学科目別平均値・標準偏差」のデータを参照し、また各群に関しては「教養教育科目（1）講義科目（群別）」のデータを参照しながら、評価を行うことにする。そのさい、アンケートの4つの綱目に沿って、学生の受講姿勢 授業の内容・進め方 学生の満足度 難易度・進度の4つの観点から見て行く。

A. 教養科目全体に関する現状評価

学生の受講姿勢

まず「学生の出席状況」の項目は4.48であり、これは全体の平均値とほぼ一致する。また「ノート・メモ」の項目は3.75であり、全体の平均値3.90より低いが、5学部専門科目や外国語、ゼミ等と比較して、ほぼ中間値を示している。「予習・復習」の項目は1.54、「質問」の項目は1.47であり、学科目別で見てともに最下位である。ここには教養科目の担当者が早急に対処すべき課題が存在するが、この点については後述する。

授業の内容・進め方

この綱目では5学部専門科目と比較して「声の大きさ」(3.92)と「宿題・課題」(3.57)の項目で最下位であり、それ以外の項目では工学部専門科目の次に低い値となっている。特に「宿題・課題」の項目は全体平均値(3.80)より0.23低い。また棒グラフで示された年度比較のデータから明らかなように、5学部専門科目では外国語学部を除き、ほぼすべての項目にわたって徐々に改善の兆しが見られるのに対し、教養科目では現状維持もしくは下降の傾向が見られる。教養科目の受講者の多くが1、2年生であり、学部専門科目の受講者の多くが3、4年生であるという事情があるため、速断はできないものの、重く受け止めるべき現状であることは間違いない。

学生の満足度

「満足度」という尺度は本質的に主観的なものであり、これをもって総合評価の尺度と

することには根本的な問題があるが、この点を留意した上で、以下、この綱目について見て行く。

教養科目における「満足度」の項目は 3.85 であり、全体平均値 (3.98) より 0.13 低く、また 5 学部専門科目との比較でも工学部専門科目の次に低い数値となっている。この数値そのものは昨年度と同一であり、学生の評価は変わらないのであるが、全体平均値が昨年より上昇したため、その差が少しだけ開いた結果となっている。この結果をどう受け止めるか、微妙なところではあるが、現状維持の姿勢を戒める契機として受け止めるべきであろう。

難易度・進度

教養科目の「難易度」(3.39) は適正值 (3.00) よりも高いが、全体平均値 (3.41) を下回っており、5 学部専門科目と比較しても適正值により近い結果となっており、教養科目が学生の理解度に合わせた授業を実施していると判断できる。また「進度」(3.23) は全体平均値と一致しており、授業の進度はやや速めだが、概ね適正の範囲内にあると判断できる。

B. 教養科目各群に関する現状評価

教養科目各群の現状を見て行くにあたり、大教室での多人数授業の講義科目が中心の第 1 群～第 9 群と、少人数・クラス別授業形態をとる第 10 群 (日本語の表現) とを分けて見て行く必要がある。なお第 12 群 (情報技術) は平成 26 年度より教養科目から除外されたので、ここでは評価しない。

第 1 群～第 9 群について

第 1 群～第 9 群の編成と名称は以下の通りである。

A 系列 (人間を考える) : 第 1 群 (人間の探究)、第 2 群 (文学・芸術)、第 3 群 (身体と運動)

B 系列 (社会を考える) : 第 4 群 (歴史・民族)、第 5 群 (社会のしくみ)、第 6 群 (近代社会の変容)

C 系列 (自然と環境を考える) : 第 7 群 (自然の認識)、第 8 群 (技術の進歩)、第 9 群 (環境と人間)

各群の現状を見て行くにあたり、あらかじめ留意しておくべき点がある。それは各群のサンプル数にばらつきがあり、そのため各群同士を比較することに客観性が担保されにくいという点である。最大のサンプル数が第 1 群、第 4 群の 8 であるのに対し、最小のサンプル数は第 2 群の 2 である。とはいえ、次に少ない第 6 群、第 8 群のサンプル数も 4 であるので、第 2 群のみ除外することは恣意性を免れない。そこで以上の点を留意した上で、すべての群を対象として現状評価を行うこととする。

学生の受講態度

「出席状況」では第 7 群が最上位 (4.55)、第 2 群、第 3 群が最下位 (4.39) であるが、その差は 0.16 であり、群毎に大きな開きはない。「ノート・メモ」では第 7 群が最上位 (4.27)、第 6 群が最下位 (3.24) である。第 5 群、第 7 群を除いて、この項目が 3 点台という結果は、ノートをしっかり取らせる授業がそれほど多くはないことを示している

思われる。「予習・復習」では第6群が最上位(1.66)、第2群が最下位(1.39)であるが、すべての群で1点台であることから明らかなように、教養科目では予習・復習を必要とする授業が非常に少ないことを示している。「質問」では第6群が最上位(1.56)、第1群が最下位(1.26)である。

授業の内容・進め方

この綱目では第5群の健闘が目立つ。全8項目中、6項目で最上位を占めている。これと対照的に第4群は7項目で最下位である。まず「授業の狙い」では第5群が最上位(4.07)、第1群が2位(3.88)、第4群が最下位(3.30)であり、「履修要項との進み具合」では第5群が最上位(4.12)、第1群が2位(3.96)、第4群が最下位(3.60)となっている。「声の大きさ」では第1群が最上位(4.33)、第5群が2位(4.20)、第4群が最下位(3.19)であり、「教材等の効果」では第2群が最上位(4.14)、第3群が2位(4.04)、第4群が最下位(3.35)である。「教室内の雰囲気」では第5群が最上位(4.19)、第1群が2位(4.16)、第4群、第6群がともに最下位(3.59)であり、「宿題・課題」では第5群が最上位(3.72)、第2群が2位(3.66)、第4群が最下位(3.22)である。「理解しやすさ」では第5群が最上位(3.78)、第3群が2位(3.77)、第7群が最下位(3.10)であり、「見方・考え方が深まる」では第2群と第5群がともに最上位(3.89)、第4群が最下位(3.18)となっている。

本綱目は授業担当者の授業に対する取り組みの成果がストレートに出やすい綱目であると思われるので、各担当者はこうした結果を真摯に受け止める必要があるであろう。

学生の満足度

「満足度」では第2群が最上位(4.13)、第5群が2位(4.05)、第4群が最下位(3.27)となっている。この結果は上記の「授業の内容・進め方」の綱目とほぼ対応している。「満足度」を客観的な数値で表すことができるかは疑問の余地があるが、この結果を見るかぎり、必ずしも「満足度」の項目を無視する訳には行かないようである。

難易度・進度

「難易度」が適正值(3.00)にもっとも近いのは第2群(3.14)であり、次が第3群(3.20)である。これに対して適正值からもっとも遠いのは第7群(3.79)、次が第9群(3.63)、さらに第8群(3.59)と続く。この結果から読み取れるのは、自然科学系から成るC系列が、文系学部学生の占める割合が高い本学の学生にとっては、どうしても難しく感じられるということであろう。止むを得ない面もあるが、C系列担当者にとっては創意工夫が求められる課題であろう。「進度」では、適正值にもっとも近いのは第3群(3.12)であり、適正值からもっとも遠いのは第7群(3.49)であるが、ほぼ適正な範囲内に収まっていると判断できる。

第10群について

学生の受講姿勢

「出席状況」は4.53、「ノート・メモ」は3.59、「予習・復習」は1.58、「質問」は1.57

という結果であり、学生の受講姿勢は第1群～第9群の傾向とほぼ一致しているといえる。

授業の内容・進め方

この綱目では第10群は「宿題・課題」の項目以外のすべての項目で4点台を記録し、また「教室内の雰囲気」の項目を除いたすべての項目で全群中、最上位を占めている。この結果は、第10群の担当者の努力の賜物であると同時に、少人数・クラス別授業の利点がよく活かされた成果であると判断できる。

学生の満足度

「満足度」の項目でも第10群は全群中、最上位(4.32)の値を示している。この結果についても上述のコメントが同様にあてはまると思われる。

() 教養教育科目に関する課題

以上の現状評価を踏まえた上で、教養科目に関する課題について述べる。そのさい、教養科目全体の課題と、各群毎におけるそれとを分けて検討することにする。

A. 教養科目全体の課題

現状評価の項で触れておいたが、年度比較のグラフから明らかなように、5学部専門科目では外国語学部を除いて、ほぼすべてのアンケート項目に関して徐々に改善傾向が見られるのに対し、教養科目では現状維持ないし若干の下降傾向が見られる。教養科目を受講する学生の中心が1, 2年生、専門科目を受講する学生の中心が3, 4年生という事情があるため、正確な評価を下すためには、もう2年ほど推移を見る必要があるが、楽観視できる事態ではない。「狙いの明確さ」、「声の大きさ」、「教室内の雰囲気」、「宿題・課題」といった項目については、比較的速やかに対処が可能ではないかと思われる。特に「宿題・課題」の項目は学生の受講態度中の「予習・復習」の項目と直接、関連するものであるので、このあたりの取り組みをまず考えるべきであろう。

次に教養科目における「学生の満足度」の項目は、年度比較のグラフで見ると、一昨年をピークとして徐々に下降傾向にあり、今年度は「教養教育科目(1) 講義科目(群別)」のデータによれば、3.80という数値を示している。上述したように、「満足度」は本質的に主観的なものであり、これを客観的に評価できるかという点に関しては根本的な疑念が付きまとうが、他方、教養科目各群の現状評価において判明したように、「授業の内容・進め方」と「満足度」との間には、ある程度の対応が見られることも事実である。ここでは、この問題を考える上で一つのヒントとなる観点を提示したい。それは「満足度」の項目と、「受講動機」中の「単位取得が楽」の項目との相関関係の有無を調べてみるという観点である。授業形態および受講生数が教養科目と比較的、近似している商・政経両学部の専門科目と比較してみる。そこから判明するのは、「単位取得が楽」の項目が10%を切る場合には「満足度」の項目が4.0を下回り、また前者が10%を超えると後者が4.0を上回るという一般的傾向が見られる、という事実である。商学部専門科目ではコース別で、5コース中4コースがこの傾向に合致し、1コースのみがこの傾向に合致していない。また政経学部専門科目では分野別で5分野中、4分野がこの傾向に合致し、1分野のみが

合致していない。他の3学部についても講義科目にかぎれば、ほぼ類似した傾向が見られる。そして教養科目では「単位取得が楽」の項目が唯一、10%を上回っている第10群(13.0%)の「満足度」は、全群中最高の4.32である。あくまで一般的傾向ではあるが、単位取得が楽とされる、いわゆる楽勝科目と「満足度」とのこうした対応関係を見るかぎり、やみくもに「満足度」の数値をもって授業の質を判断することには、大きな危険が伴うと言わざるをえない。

これに対し、注目すべきは第2群(「単位取得が楽」が2.9%、「満足度」が4.13)や第5群(「単位取得が楽」が7.2%、「満足度」が4.05)のように、単位取得が楽ではないにも拘らず、満足度が高い科目の存在である。明らかにこれらの科目では、満足度の尺度は単位取得が楽という尺度とは別のところに存在している。だとすれば、どうしても「満足度」を授業評価の中心に据えたいのであれば、これらの科目の満足度の尺度が何であるかを分析解明することが、その前提条件とならなくてはならない。

B. 教養科目各群の課題

今年度の教養科目各群のサンプル数を見ると、サンプル数が10を上回った群は皆無であり、最小のサンプル数2をかぞえた第2群を除き、4～8の範囲に収まっている。今年度より教養教育の設置科目数が減少したため、止むを得ないことではあるが、教養科目の課題を正確に把握するためには、もう少しサンプル数が欲しいところではある。こうした点に留意した上で、以下に各群の課題を検討する。

上述したように、第1群～第9群の中で特筆すべきは第5群の健闘であろう。「授業の内容・進め方」では8項目中、6項目で最上位であり、また「単位取得が楽」が7.2%であるのに対し、「満足度」は4.05である。この点では「単位取得が楽」が全群中、最下位の2.9%でありながら、「満足度」が最高の4.13を記録した第2群も特筆に値する。「単位取得が楽」が6.3%でありながら「満足度」が3.95の第1群も健闘したと言えよう。第4群は「講義への興味」が28.5%と、第9群(29.5%)に次いで高い科目であるにも拘らず、「満足度」が3.27と全群中最下位となっている。この結果は学生の期待度が高かったことの裏返しとして解釈することができる。同様のことは自然科学系の科目から成る第7群、第8群、第9群についても言える。この3群は「講義への興味」がそれぞれ27.3%、28.0%、29.5%と比較的高い値を示しているのに対し、「満足度」は3.31、3.62、3.62と、あまり高くない。授業担当者には学生の期待を裏切らないような授業の工夫が求められる。第3群、第6群は「授業の内容・進め方」および「学生の満足度」に関わる多くの項目が中位を占めている。ただ、すべての群について言えることだが、アンケート結果は年度ごとの変動が激しく、入学してくる学生のレベルや関心に左右される面も大きい。今回だけの結果に一喜一憂することなく地道な改善の努力こそが求められる。

第10群は「授業の内容・進め方」および「学生の満足度」に関わる、ほぼすべての項目において最上位を占めており、この結果は、少人数・クラス別授業の利点を考慮に入れても、授業担当者の努力なしには考えられない成果であろう。課題としては、「予習・復習」の項目における絶対値の低さ(1.58)をどう改善して行くか、という点を挙げるができる。

()まとめ

教養教育科目は大教室での多人数授業が中心であり、この点で少人数・クラス別授業形態をとる科目に比べて不利な条件を背負いながら、比較的健闘していると言える。特に第2群、第5群に見られたように、「単位取得が楽」という項目の値が非常に低いにも拘らず、「満足度」の項目が4.0を上回る科目が教養科目では比較的多くみられるという事実は、単位取得を易しくしようとする昨今の動向に対して、大学教育の本道を示していると言えるだろう。他方、年度比較のグラフから明らかなように、教養科目はここ数年、現状維持もしくは若干の下降傾向が見られるが、これは授業内容がややもすると惰性に流されていることの現れと見ることもできる。平成27年度からは商・政経学部の文京キャンパスへの全面移転に伴い、教養科目も文京キャンパス中心で行われることとなった。これを機会に授業担当者には自分の足許をあらためて見直すことが求められるであろう。

(2) 外国語科目

1. アンケートの実施状況

本年度の「授業改善のためのアンケート」は平成 26 年 11 月 17 日(月)から 12 月 20 日(土)に行われた。ここでの「外国語科目」とは、商学部、政経学部、外国語学部、工学部の 12 言語の授業を意味する。科目の内訳は、英語、アラビア語、ブラジル・ポルトガル語、中国語、フランス語、ドイツ語、韓国語、インド・パキスタン語(実施科目なし)、インドネシア・マレーシア語、ロシア語、スペイン語、日本語である。

2. 項目別における集計結果(設問項目別に全体の平均値と比較)

-1「学生の出席状況」

昨年の平均値が 4.58 であったのに対し、今年は 4.47 と 0.11 下回ったものとなった。一昨年の 4.49 よりも若干であるが下回っているもののほぼ同数であり、後期実施分については、前期実施分と比べ平均値が減少する傾向にある。

今年の全体の平均値 4.49(一昨年の平均値と同値)も下回っている。英語が 4.46 でほぼ平均値、第二外国語のメジャー言語の中ではドイツ語が 4.55 と良い数値を出している。日本語の 4.59 が、最も高い値となった。日本人学生は、留学生を見習ってほしい。

-2「ノート・メモ」

外国語科目は 4.10 となり、昨年の平均値 4.12 から 0.02 の減少となった。昨年と同様、今年も全体の平均値(3.90)を上回っている。ただし第二外国語が比較的高い数値を出しているのに対し、英語は 3.96 と低く、改善が望まれる。

-3「予習・復習」

今年度の外国語科目の値は 1.94 となっており、全体の平均値 1.76 と比較して 0.18 と、昨年度同様大幅に上回っている。しかし 2.00 の値は毎回の予習・復習が 30 分以上であることを意味しており、決して十分な値とは言えない。また前年度の値が 1.96 であったので、数値は下がっている。予習・復習の内容をより一層具体的に指示することが、求められる。

-5「質問・オフィスアワー等」

今年度の値は 1.70 で、全体の平均値 1.61 と比較し、0.09 上回った。しかし実体としては、ほとんど質問が行われていないことになる。特に第二外国語のブラジル・ポルトガル語(1.30)とアラビア語(1.44)の値が低く、改善が求められる。

-1「狙いの明確さ」

全体の平均値 3.99 に対し、外国語科目の平均値は 4.04 となっている。昨年は全体が 3.95、外国語科目は 3.99 であったため、全体の平均値に対する外国語科目の値の差は広がった。ただし両方とも値が僅差である点は、注意しなければならない。

-3「講義要項との進み具合」

全体の平均値が 4.04 であるのに対して、4.07 となった。僅差ではあるが、全体を上回る結果となった。

-5「声の大きさ」

全体の平均値 4.12 に対し、外国語科目の平均値は 4.19 となっており、0.07 上回っている。昨年の外国語科目平均値は 4.15 であったため、0.04 上昇したことになる。前年とほぼ横ばいと言ってよいが、外国語学習にとって、「声の大きさ」は発音練習等で重要な要素となるので、全体の平均値を大きく上回ることを目標とすべきである。

-6「教材などの効果」

外国語科目の平均値は 4.03 で、全体の平均値 4.02 に対し 0.01 上回る結果となった。昨年の外国語科目の平均値は 3.99、全体の平均値は 3.96 であったため、両者とも昨年より評価が若干上昇している。外国語科目にとって教材の効果は重要な要素となるので、一層の改善を期待したい。

-7「教室内の雰囲気」

外国語科目の平均値は 4.13 で、全体の平均値 4.06 を 0.07 上回った。昨年の値（外国語科目 4.15、全体 4.01）を下回ったが、全体の平均値と差が縮まった結果となった。

-8「宿題・課題」

全体の平均値が 3.80 であったのに対し、外国語科目の平均は 4.00 であった。昨年の値（全体 3.73、外国語科目 3.95）を上回り、概ね適切と受講者は捉えている。しかし毎回の予習・復習が平均 30 分程度なので、学生の意識改革も必要である。

-9「理解しやすさ」

外国語科目の平均値が 3.84、全体の平均値 3.78 で、外国語科目が 0.06 上回っている。初めて学習する外国語において、理解しやすさは重要な項目となる。昨年の外国語科目の平均値は 3.77 であり、一昨年は 3.82 であり、後期実施分については、前期実施分と比べ平均値が上昇する傾向にある。また昨年度は特にスペイン語が 3.29 と値が低かったが、今年度は 3.31 で若干上昇したが依然として低い値となっている。今後の改善が望まれる。

-10「見方・考え方が深まる」

外国語科目の平均値は 3.70、全体の平均値は 3.77 であった。昨年度も外国語科目が全体の平均値よりも若干低かったが（外国語 3.63、全体 3.73）、今年も同ような傾向となった。この項目でもスペイン語の値が低く（3.39）、改善が必要である。

「満足度」

全体の平均値 3.98 に対し、外国語科目の平均値は 4.02 となり、0.04 上回った。しか

しながら昨年の外国語科目の値 3.96 を上回ってはいるが、実施科目数を勘案すると大人数科目に救われている。言語ごとに分析する必要がある。

3 の回答が適切である項目

-2 「難易度」

全体の平均値が 3.41 であったのに対し、外国語科目は 3.38 で、両方とも前年比を下回った。この項目は値が低いほど難易度が下がるので、全体と比較して外国語科目は易しいと判断されていることになる。

-4 「進度」

全体の平均値が 3.23 であったのに対し、外国語科目の平均値は 3.19 で、両方とも前年比を下回った。これは、外国語科目が値 3 の「ちょうど良い」により近いことを意味している。

-4 「受講動機」回答の分布

多くの言語において、昨年度同様、「単位が必要」と「時間帯が空いている」が多くのパーセンテージを占めている。「教員にひかれて」また「講義への興味」の値が低いのは、必修の第二外国語が入学前に選択されるため、事前の情報が入手困難であることに起因すると思われる。

3 . 本年度の集計結果の評価について

- ・「狙いの明確さ」、「講義要項との進み具合」、「声の大きさ」、「教材等の効果」、「宿題・課題」、「理解しやすさ」、「見方・考え方が深まる」は、前年度の値を上回っており、今後もこの傾向を維持すべきである。
- ・「学生の出席状況」、「ノート・メモ」、「予習・復習」、「質問(オフィスアワー等)」、「教室内の雰囲気」の項目が、昨年の値を下回った。
- ・「満足度」については、昨年度を上回る結果となった。
- ・昨年度は、一昨年度も上回った項目と下回った項目があったが、下回った項目の方が多かったが、今年度は昨年度と比べ、上昇した項目が多くあった。一方、中には低水準の項目は改善の兆しが見えていないものもある。今後に期待したい。

4 . 課題

- ・「学生の出席状況」の値については、低下する傾向が見られた。特に第二外国語が通年科目から半期科目に変更されたことが、要因の一つとして考えられる。前期で単位を取得できなかった受講生が後期に出席を取りやめたことが、全体の出席率を押し下げたものと思われる。ドイツ語は、数回欠席した時点で欠席者に連絡を取るという試みを一部のクラスで実験的に行った。これは効果があり、脱落しかけた受講者が授業に復帰した例が複数見られた。この取り組みは、外国語科目の出席状況の改善のみならず、大学全体の退学者問題の改善にも寄与できるのではないかと考える。
- ・「ノート・メモ」の項目が全体の平均値を上回っているが、これは語学という科目の

性質上によるものと考えられる。英語の値が第二外国語よりも明らかに低い点も課題として挙げられる。「ノート・メモ」の改善に関しては、教員の板書のやり方も関係している。「自由記述欄」で板書の改善に対する要望もしばしば挙げられており、組織的な改善への取り組みが必要である。

- ・「予習・復習」については、全体の平均を上回っているものの、毎回の予習復習が 30 分程度であるのは、明らかに少ない。専門科目の学習時間または個々の学生の生活状況も勘案しながら、現実的にどれ程より多くの学習時間を確保できるか検討する必要がある。
- ・「質問・オフィスアワー等」の値が低い点については、多くの授業を講師（非常勤）に委託している現状では解決が難しい問題である。授業の最後の 5 分を質問時間に当てる、講師控室の場所を周知させることなどが、当面の改善策として考えられる。
- ・「狙いの明確さ」、「講義要項との進み具合」については、全体の平均値、および前年度の値を上回った。教員の中でシラバスとの授業の整合性に対する意識が高まってきていることの表れと推察でき、今後もこの傾向を維持していくことが望まれる。
- ・「声の大きさ」、「教材などの効果」、「教室内の雰囲気」は概ね昨年度を上回るか、全体値との差が縮まる結果となった。「教室内の雰囲気」の値が伸び悩む要因として、ハード面の問題が推定される。「自由記述欄」で多く挙げられる要望が、教室の狭さや座席数の少なさの改善である。長らくこの問題は改善されないままであったが、文京キャンパスでこの点が改善されることを期待する。
- ・「宿題・課題」については、「予習・復習」の場合と同じように、数値は改善されているものの、実質的な学習時間は短い。示した通り、他の科目等とのバランスを考えながら、現実的な学習時間の提示を行う必要がある。
- ・「理解しやすさ」、「見方・考え方が深まる」については、全体の平均値及び昨年度の値からの改善が見られたが、スペイン語の値が依然として低い。まずはスペイン語スタッフがこの状況を把握し、具体策を講じるよう提案したい。
- ・「満足度」については、数値の改善が認められた。しかし「集計結果」で示した通り、言語間でばらつきがあるので、個別の数字を各言語の担当責任者に周知し、改善を促す必要がある。
- ・「難易度」、「進度」については、それぞれ「易しい」、「適切」の値に近づいている。全体としては改善に向かっていると理解できる。今後もこの傾向を維持すべきである。「受講動機」の回答の分布については、昨年度同様消極的理由、すなわち「単位が必要」と「時間帯が空いている」が多くのパーセンテージを占めている。改善策としては大学のホームページで情報を提供するという方法が考えられる。これについては今年度、履修の手引きの内容をホームページに掲載した。今後は授業の様子や海外の提携大学、個人研修奨学金の情報などを掲載し、受講生が入学前により多くの情報を得られるように工夫したい。

昨年度と比較して、全体的に数値の改善が見られた。しかし未だ多くの課題も残されている。上記で示した個々の課題を着実に実行し、その成果を積み上げていくことが重要であると思われる。

(3) スポーツ・トレーニング科目

(A) 評価

・ 受講する姿勢や動機について

- 1 「学生の出席状況」

平均値 4.59 (平成 25 年度調査は 4.65、平成 24 年度調査は 4.51、平成 23 年度 4.58、平成 22 年度 4.51、平成 21 年度 4.47、平成 20 年度 4.53)。出席率 80 %以上と答えた学生は 88 %であった。平成 25 年度調査では 91 %、平成 24 年度 88 %、平成 23 年度 90 %、平成 22 年度 88 %、平成 21 年度 88 %、平成 20 年度 90 %であった。工学部は必修科目である。商・政経学部は必修科目からは今年度よりはずれたが、直近 7 年間の数値とほぼ変化はない。非常に高い出席状況である。

- 2 「健康・運動への関心」

平均値 4.23 (平成 25 年度調査は 4.27、平成 24 年度 4.21、平成 23 年度 4.15、平成 22 年度 4.20、平成 21 年度 4.08、平成 20 年度 4.11)。「強く関心を持つが 51.34 %、そう思うが 26.82 %」で 78 %、平成 25 年度は「強く関心を持つが 51.69 %、そう思うが 29.98 %」で 81 %、平成 24 年度 78 %、平成 23 年度 78 %、平成 22 年度 80 %である。昨年までの過去 4 年間は約 80 %の学生が「健康・運動」に関心を持っていると回答した。平成 26 年度も 78 %の学生が健康・運動に強く関心を寄せている。良い傾向である。

- 3 「積極的参加」

平均値 4.40 (平成 25 年度調査は 4.48、平成 24 年度 4.37、平成 23 年度 4.30、平成 22 年度 4.35、平成 21 年度 4.28、平成 20 年度 4.21)。「強くそう思う 58.20 %、そう思うが 27.34 %」で 86%、平成 25 年度は「強くそう思う 60.82 %、そう思うが 29.13 %」で 90 %、平成 24 年度では 87%、平成 23 年度調査も 87%と、今年度を含めて数値はここ数年間ほぼ変化していない。

- 4 「受講動機の回答比率」

スポーツ・トレーニング科目は商・政経学部で今年度より選択科目となったため、この項目の回答に関心を持っていたが、 の「単位が必要だから」が約 40 %と最も高かった。次いで の「興味を持ったから」が 34 %で、 と で 74 %を占めた。工学部が必修科目であるため、 の数値が高くなることは当然であるが、 の数値も健闘したと思える。

・ 授業の内容や進め方について

- 1 「狙いの明確さ」

平均値 4.37 (平成 25 年度調査は 4.36、平成 24 年度 4.33、平成 23 年度 4.25、平成 22 年度 4.33、平成 21 年度 4.23、平成 20 年度調査 4.21)。「強くそう思う 54.41%、そう思う 30.65%」で 85 %、平成 25 年度調査では「強くそう思う 53.30%、そう思う 31.30%」

で 85 %、平成 24 年度は 83 %、平成 23・22 年度も 84 %と、ほぼ同様の数値が継続している。平成 21 年度も同様に 84%であった。

- 2 「難易度」

平均値 3.08 (平成 25 年度調査は 3.18、平成 24 年度 3.15、平成 23 年 3.17、平成 22 年度 3.26、平成 21 年度 3.20、平成 20 年度 3.20)。「ちょうど良い」が 74.13%、平成 25 年度は「ちょうど良い」が 69.83%、平成 24 年度は「ちょうど良い」が 72.98%、平成 23 年度が 71.76 %で、今年度は「ちょうど良い」と感じている人はかなり増加した。

- 3 「進度」

平均値 3.05 (平成 25 年度調査は 3.15、平成 24 年度 3.09、平成 23 年度 3.06、平成 22 年度 3.19、平成 21 年度 3.14、平成 20 年度 3.12)。「ちょうど良い」が 85.82 %、平成 25 年度は「ちょうど良い」が 82.94 %、平成 24 年度は「ちょうど良い」が 89 %、平成 23 年度は 87 %であった。良好な数値を示しているが、今後まだまだ改善していかなければならないと思われる。

- 4 「説明方法・分かりやすさ」

平均値 4.17 (平成 25 年度調査は 4.15、平成 24 年度 4.22、平成 23 年度 4.11、平成 22 年度 4.23、平成 21 年度 4.02、平成 20 年度 4.08)。「強くそう思う 51.91%、そう思う 18.70%」で 71 %、平成 25 年度は「強くそう思う 45.75%、そう思う 26.36%」で 72 %、平成 24 年度では 74 %、平成 23 年度では 71 %、平成 22 年度は 77 %、平成 21 年度 69 %、平成 20 年度 71 %と、ここ数年ほぼ横ばい状態となっている。良好な傾向がうかがえるが、まだまだ教員自身の改善努力が必要な項目になっていると思われる。良い変化の兆しを来年度は見せられるようにしたいものである。

- 5 「話し方や声の聞き取りやすさ」

平均値 4.52 (平成 25 年度調査は 4.45、平成 24 年度 4.48、平成 23 年度 4.38、平成 22 年度 4.45、平成 21 年度 4.36、平成 20 年度 4.41)。「強くそう思う 65.10%、そう思う 23.14%」で 88 %、平成 25 年度は「強くそう思う 61.73%、そう思う 23.30%」で 85 %、平成 24 年度は「強くそう思う 65.84%、そう思う 23.47%」で 89 %、平成 23 年度は 86%、平成 22 年度 89 %であった。まだまだ教員各自が努力し、設定目標値に到達さなければいけないと考えられる。

- 6 「学生とのコミュニケーション」

平均値 4.37 (平成 25 年度調査は 4.25、平成 24 年度 4.38、平成 23 年度 4.32、平成 22 年度 4.44、平成 21 年度 4.29、平成 20 年度 4.30)。「強くそう思う 58.30%、そう思う 23.94%」で 82 %、平成 25 年度は「強くそう思う 49.58%、そう思う 29.78%」で 79 %、平成 24 年度は「強くそう思う 56.74%、そう思う 26.59%」で 83 %、平成 23 年度は 82 %、平成 22 年度は 86 %の学生が「学生とのコミュニケーション」の部分が高く評価している。例年と比べ大きな変化はないが、目標値はまだクリアできていない。

- 7 「リーダーシップ」

平均値 4.42 (平成 25 年度調査は 4.36、平成 24 年度 4.42、平成 23 年度 4.36、平成 22 年度 4.46、平成 21 年度 4.32、平成 20 年度 4.32)。「強くそう思う 59.39%、そう思う 24.14%」で 84 %、平成 25 年度は「強くそう思う 54.08%、そう思う 29.76%」で 84 %、平成 24 年度は「強くそう思う 56.85%、そう思う 29.27%」で 86 %である。平成 23 年度は 85 %で、平成 22 年度は 87 %であった。未だに一度も目標値をクリアできていない。「民主的・協動的リーダーシップ」は指導スキルには欠かせないものであるため、今後も鋭意向上を目指さなければならないと考えられる。

- 8 「授業の雰囲気」

平均値 4.42 (平成 25 年度調査は 4.42、平成 24 年度 4.48、平成 23 年度 4.37、平成 22 年度 4.46、平成 21 年度 4.34、平成 20 年度 4.36)。「強くそう思う 60.54%、そう思う 23.75%」で 84 %、平成 25 年度は「強くそう思う 55.93%、そう思う 31.36%」で 87 %、平成 24 年度は「強くそう思う 58.80%、そう思う 30.15%」で 89 %、平成 23・22 年度も 86 %であり、この項目も過去と比較してみてもあまり変化はないいずれも高い水準はキープしている。この項目に影響を与える要素は、学生間の集団力学、施設設備、備品などであると考えられるが、教員の指導スキルが最も影響する項目でもある。目標値は高く 90% である。しかし、未だに達成できていない。鋭意努力し、更に向上を目指す必要があると考えられる。

- 9 「理解しやすさ」

平均値 4.41 (平成 25 年度調査は 4.38、平成 24 年度 4.37、平成 23 年度も 4.37、平成 22 年度 4.41、平成 21 年度 4.29、平成 20 年度 4.30)。「強くそう思う 59.39%、そう思う 24.52%」で 84 %、平成 25 年度は「強くそう思う 53.73%、そう思う 31.53%」で 85 %である。平成 24 年度は「強くそう思う 55.09%、そう思う 31.13%」で 86 %、平成 23 年度は 84 %、平成 22 年度は 86 %であった。平成 24 年度、平成 22 年度に続き達成目標値の 85%をクリアしたかったが、若干及ばなかった。さらに努力していかなければならないであろう。

- 10 「知識・技術が身につく」

平均値 4.27 (平成 25 年度調査は 4.25、平成 24 年度 4.23、平成 23 年度 4.26、平成 22 年度 4.28、平成 21 年度 4.13、平成 20 年度 4.16)。「強くそう思う 51.92%、そう思う 26.92%」で 79 %、平成 25 年度は「強くそう思う 47.63%、そう思う 32.20%」で 80 %、平成 24 年度は「強くそう思う 44.74%、そう思う 37.59%」で 82 %、平成 23・22 年度はともに 82 %であった。前回、前々回同様、良い数値をキープしている。重要な項目であるのでさらに数値が向上するように研究する必要がある。継続して目標値を達成していたが、今年度わずかに目標値を下回ってしまった。来年度は再び目標値 80 %をクリアしたいと考えている。

- 1 1 「健康・体力維持に役立つ」

平均値 4.38 (平成 25 年度調査は 4.33、平成 24 年度 4.33、平成 23 年度調査は 4.36、平成 22 年度 4.38、平成 21 年度 4.22、平成 20 年度 4.19)。「強くそう思う 58.08%、そう思う 25.77%」で 84 %、平成 25 年度は「強くそう思う 50.93%、そう思う 33.79%」で 85 %、平成 24 年度は「強くそう思う 50.47%、そう思う 35.08%」で 85 %、平成 23 年度 85 %、平成 22 年度が 86 %であった。以前は約 80 %前後の評価であったが、三年前より継続して数値は達成目標値 85 %前後をクリアしている。今後とも継続していききたい数値であると考え。しかし、今年度はわずかに達成目標値を 1 %下回った。85 %はおろか 90 %以上を目標値に鋭意努力していききたい。

. 総合的に見て、この授業に満足していますか

平均値 4.47 (平成 25 年度調査は 4.42、平成 24 年度 4.43、平成 23 年度 4.39、平成 22 年度 4.46、平成 21 年度 4.34、平成 20 年度 4.35)。「強くそう思う 64.23%、そう思う 21.92%」で 86 %、平成 25 年度は「強くそう思う 59.22%、そう思う 26.62%」で 86 %、平成 24 年度は「強くそう思う 60.04%、そう思う 26.45%」で 86 %である。過去 3 年間は 86 %で同じ傾向であると言える。達成目標値 90 %に近い数値が今回の調査でも得られているが、未だに達成目標値はクリアされていない。継続して鋭意努力していききたいと考えている。

. スポーツ・トレーニング用の独自の設問項目

- 1 「希望種目」

平均値 4.49 (平成 25 年度調査は 4.35、平成 24 年度 4.28、平成 23 年度 4.15、平成 22 年度 4.19、平成 21 年度 4.09、平成 20 年度 4.22)。この調査項目に関しては、工学部は必修科目、商・政経学部は自由科目であるので、データが混在し正しい評価は出来ないと考えられる。恐らく、工学部の学生は受講時間、種目選択に学生個人の意思があまり反映されないため「単位取得のため」となり、商・政経学部の学生は必修科目ではないため、動機の特定は困難となる。しかし「スポーツ種目」はなるべく希望種目が選べるように、継続して出来得る限りの配慮を考えていきたい。

- 2 「時間帯」

平均値 4.36 (平成 25 年度調査は 4.06、平成 24 年度 3.92、平成 23 年度 3.93、平成 22 年度 3.97、平成 21 年度 3.80、平成 20 年度 3.92)。数値は高いが必修科目として時間帯が設定されてしまっている学生も多数おり、時間帯は学生の満足を十分には得ていないと我々は考えている。特に 1 時限目の体育授業は運動するのに相応しいとは思われない。しかし決定的に悪いかと言えば、そのような訳でもないようにも思える。現在の授業時間設定は必修科目としての体育実技ということを考えればやむをえないものであるが、今後の改善課題でもあると考えられる。

- 3 「次年度の履修希望」

平均値 3.81 (平成 25 年度調査は 3.68、平成 24 年度 3.47、平成 23 年度 3.56、平成 22

年度 3.60、平成 21 年度 3.51、平成 20 年度 3.54)。1 年次終了して 2 年次以降に履修したい学生の比率が、前年度と比べ上昇していた。良い傾向を示している。「希望種目」「時間帯」の設問と同様に 1 年生のみに限定して調査する必要性を感じる。

(B) 課題

・平成 17 年度の達成値から、平成 18 年度以降の「達成する目標値」を設定した(表 1 参照)。この数値は努力目標であり義務目標ではない。また数字の根拠となる理論も明確には無い。しかし、「努力目標数値」と考え、時間をかけて努力していくと根拠のある数字を見つけることが出来るであろうという前提のもとで設定している。「希望種目」「時間帯」「次年度履修希望」には「達成目標値」を設定していない。

・表 1 の達成値はアンケートの調査項目で、「強くそう思う、そう思う」と回答した学生の割合である。但し、「難易度」「進度」については、「ちょうど良い」と解答した学生の割合である。また、表の項目の「達成・未達成・増減」は、達成目標値を達成した項目は ○印、未達成は ×印で表し、そして、今回の調査が前年度に比べて増加した場合は ▲、減少した場合は ▼、横這いは □ で表している。数値は小数点以下は四捨五入している。

表 1 「年度別達成値」と「達成目標値」の推移

	調査項目	21 年度 達成値	22 年度 達成値	23 年度 達成値	24 年度 達成値	25 年度 達成値	26 年度 達成値	達成 目標値	達成
- 1	学生出席状況	88%	88%	90%	88%	91%	88%	95 %	×
- 2	健康・運動関心	77%	80 %	78 %	78%	81%	78%	80 %	×
- 3	積極的参加	85%	87 %	87 %	87%	90%	86%	85 %	
- 1	狙いの明確さ	84%	84 %	84 %	83%	85%	85%	80 %	
- 2	難易度	68%	72 %	71 %	73%	70%	74%	80 %	×
- 3	進度	81%	85 %	87 %	89%	83%	86%	85 %	
- 4	説明方法	69%	77 %	71 %	74%	72%	71%	75 %	×
- 5	話し方・声の大きさ	86%	89 %	86 %	89%	85%	88%	87 %	
- 6	コミュニケーション	83%	86 %	82 %	83%	79%	82%	85 %	×
- 7	教員のリーダーシップ	85%	87 %	85 %	86%	84%	84%	88 %	×
- 8	授業の雰囲気	87%	86 %	86 %	89%	87%	84%	90 %	×
- 9	理解しやすさ	85%	86 %	84 %	86%	85%	84%	85 %	×
10	知識・技術の習得	79%	82 %	82 %	82%	80%	79%	80 %	×
11	健康・体力維持	80%	86 %	85 %	85%	85%	84%	85 %	×
	総合的な満足度	85%	86%	88 %	86%	86%	86%	90 %	×
- 1	希望種目								
- 2	時間帯								
- 3	次年度履修希望								

総括

「達成目標値」をクリアした項目：4項目

「達成目標値」をクリアできなかった項目：11項目

「達成目標値」に一層の努力を要する項目：「学生出席状況」、「難易度」、「コミュニケーション」、「教員のリーダーシップ」、「健康・体力維持」、「総合的満足度」の6項目

備考

平成 27 年度の努力目標設定

平成 26 年度は平成 25 年度より達成目標値をクリアした項目が減少した。教員が共通意識を持ち、努力をした結果は数値に正確に表れると思える。更なる努力次第で未達成項目の達成は可能と前向きに考え、来年度もまた頑張りたい。平成 26 年度も「体育教員室」に努力目標として「説明方法を改善しよう」のポスターを継続して掲示した。学生の評価結果としては十分に効果があったと思える。

討議のための参考資料として「表 2」を作成した。「表 1」の補完として利用できる。

表 2 「各年度の平均値の推移」

	調査項目	21年度 平均値	22年度 平均値	23年度 平均値	24年度 平均値	25年度 平均値	26年度 平均値
- 1	学生出席状況	4.47	4.47	4.58	4.51	4.65	4.59
- 2	健康・運動関心	4.08	4.08	4.15	4.21	4.27	4.23
- 3	積極的参加	4.28	4.28	4.30	4.37	4.48	4.40
- 1	狙いの明確さ	4.23	4.23	4.25	4.33	4.36	4.37
- 2	難易度	3.20	3.20	3.17	3.15	3.18	3.08
- 3	進度	3.14	3.14	3.06	3.09	3.15	3.05
- 4	説明方法	4.02	4.02	4.11	4.22	4.15	4.17
- 5	話し方・声の大きさ	4.36	4.36	4.38	4.48	4.45	4.52
- 6	コミュニケーション	4.29	4.29	4.32	4.38	4.25	4.37
- 7	教員のリーダーシップ	4.32	4.32	4.36	4.42	4.36	4.42
- 8	授業の雰囲気	4.34	4.34	4.37	4.48	4.42	4.42
- 9	理解しやすさ	4.29	4.29	4.37	4.37	4.38	4.41
- 10	知識・技術の習得	4.13	4.13	4.26	4.23	4.25	4.27
- 11	健康・体力維持	4.22	4.22	4.36	4.33	4.33	4.38
	総合的な満足度	4.34	4.34	4.39	4.43	4.42	4.47
- 1	希望種目	4.09	4.09	4.15	4.28	4.35	4.47
- 2	時間帯	3.80	3.80	3.93	3.92	4.06	4.36
- 3	次年度履修希望	3.51	3.51	3.56	3.47	3.68	3.81

7. 教職課程・社会教育主事講座・日本語教員養成基礎講座科目

授業評価の教職課程の科目数は28科目、社会教育主事講座の科目数は0科目、日本語教員養成基礎講座科目数の科目数は5科目が対象であり、全体では33科目であった。「の満足度」について2講座全体で見ると、昨年度の平均値 3.99、本年度が平均値 4.24 であり上昇した。「強くそう思う」が 44.74% (昨年 35.13%)、「そう思う」が 38.41% (昨年が 35.55%) で全体的に満足度が上がっている。例年、後期の学生アンケートでは高めになる傾向がみられるが、それだけではなく各講座の授業改善がすすんだ結果と考えたい。

(1) 教職課程について

受講する姿勢や動機について

- 1 教職科目全体での「学生の出席状況」を見ると、平均値は 4.45 (標準偏差 0.70) であり、昨年の 4.46 (標準偏差 0.73) より少し下がり、出席率が 90% 以上の学生が 57.74% (昨年 59.3%)、及び 80% 以上の学生が 30.69 (昨年 29.4%) であった。出席状況は、90% 以上が減り 80% 以上が増える傾向がみられ、教職科目の履修学生の出席状況はやや低下しつつあるといえる。しかし、大多数の学生は履修できているので心配する状況ではない。
このことは教員免許を取得し教師を目指すという明確な目標があり、目的意識の高い学生が多いことによると考えられる。しかし、一方、途中で履修を放棄したり、欠席しがちな学生も若干みられた。
- 2 「授業内容についてノートやメモをとるか」についての回答は、昨年度は平均値 4.17 (標準偏差 0.93)、本年度は平均値 4.11 (標準偏差 0.99) であり、昨年よりわずかではあるが落ちていた。出席状況と同じく、ノートやメモをとる学生が「90% 以上」及び「80% 以上」の受講者の合計で見ると、昨年 (75.9%) とほぼ同じの 76.3% と 4分の3以上の学生がとっている。
- 3 「予習・復習」をするかについては、一昨年度は平均値 1.70 (標準偏差 0.47)、昨年度は平均値 1.65 (標準偏差 0.94)、今年度は平均値 1.63 (標準偏差 0.91) と年々微減傾向にある。学生の半数以上が予習・復習をやらず (1 時間以内 85.12%) に授業に臨んでいることになる。教職履修学生であることを考えるとこの傾向は深刻である。課題や事前学習を宿題として課すなど授業に工夫を凝らすことが求められている。
- 4 「受講の動機」は「単位が必要だから」69.58% が圧倒的に多く (昨年 77.3%)、次いで「講義要項を読んで」14.2% (昨年 2.8%) であった。やはり、教員免許取得の資格講座のため教職にかかわる科目の単位取得が多いと思われるが、講義要項の内容を読んで履修する学生も増えてきている。

- 5 「質問に行く(オフィスアワー等)」は、一昨年度から設定された項目であるが、今年度は平均値 1.46(標準偏差値 0.91)であり、昨年度は平均値 1.48(標準偏差値 0.94)と、ほとんどの学生が行っていない実態がわかる。教職課程の講座は全学部を対象とする講座が多く、担当教員も講師の先生が多いためと考えられる。指導教員は学生とのコミュニケーションを密にし「履修カルテ」などを用いて相談等に気軽に応える関係を築くことが必要になってくると考える。

授業内容や進め方について

- 1 「授業の狙いの明確さ」については、一昨年度は平均値 4.13(標準偏差 0.35)、昨年度は平均値 4.04(標準偏差 0.93)、本年度は平均値 4.21(標準偏差 0.86)と、授業の狙いが理解されていることを示している。
- 2 「授業の難易度」については、一昨年度は平均値 3.24(標準偏差 0.21)、昨年度は平均値 3.39(標準偏差 0.65)、本年度は平均値 3.29(標準偏差 0.60)であり、「ちょうどよい」という学生(69.45%)がほとんどであるが、「やや難しい」も23.96%おり、わかりやすい授業を心掛ける必要があるように思われる。
- 3 「講義要項に沿った授業」は、一昨年度から設定された項目であるが、昨年度は平均値 4.01(標準偏差 0.85)であり、今年度は平均値 4.21(標準偏差 0.82)であり、ほぼ講義要項に沿って授業がなされていたことがわかる。
- 4 「授業の進度」については、一昨年度は平均値 3.09(標準偏差 0.16)、昨年度は平均値 3.18(標準偏差 0.59)、本年度は平均値 3.13(標準偏差 0.49)と、ここ数年ほぼ同様である。「どちらとも言えない」が82.91%であり、ほぼ理解できる進度と思われる。
- 5 「話し方や声の聞き取りやすさ」では、一昨年度は平均値 4.21(標準偏差 0.38)、昨年度は平均値 4.21(標準偏差 0.38)、本年度は平均値 4.15(標準偏差 1.02)と、高い傾向にあり特段問題ないと考えられる。
- 6 「教材等の有効性」では、昨年度は平均値 4.01(標準偏差 0.98)、本年度は平均値 4.11(標準偏差 0.96)とほとんど変わらない。八王子国際キャンパスでは電子黒板を導入した講義も行われたが、今後も教育機器を活用した授業の改善がのぞまれるところである。
- 7 「学習にふさわしい雰囲気」では、一昨年度は平均値 4.28(標準偏差 0.42)、昨年度は平均値 4.22(標準偏差 0.88)、本年度は平均値 4.28(標準偏差 0.89)となっている。教職課程の授業であり、静謐な教育環境は欠かせない。
- 8 「宿題・課題の適切さ」は、昨年度が平均値 3.72(標準偏差 1.01)であり今年度は平均値 3.96(標準偏差 1.02)と、大変と答える学生がわずかではあるが多くなった。- 3「予習・復習」と関連する項目であるが、宿題・課題がないので大変でないのか、あっても負担になっていないのか、今後検討する必要がある。
- 9 「学習内容の理解」では、一昨年度は平均値 3.87(標準偏差 0.35)、昨年度は平均値 3.80(標準偏差 0.96)、本年度は平均値 4.01(標準偏差 0.91)で向上しつつある。(34.01%)と(39.81%)の学生が全員になるよう、分かり易く理解しやすい授業を心掛けることが必要である。

- 10 「ものの見方や考え方が深まる」では、一昨年度は平均値 3.95(標準偏差 0.34)、昨年度は平均値 3.86(標準偏差 0.92)、本年度は平均値 4.02(標準偏差 0.94)であり少しではあるが向上している。教職課程の履修学生であることを考えるともっと高い平均値がのぞまれる。視野の広い、高い志をもった教員養成を心掛ける必要がある。

「総合的な満足度」は、授業改善にむけての最重要な評価項目であるが、一昨年度は平均値 4.15(標準偏差 0.37)、昨年度は平均値 3.96(標準偏差 0.94)、本年度は平均値 4.24(標準偏差 0.86)であり一昨年度とほぼ同じになっている。「強くそう思う」が 44.74%、「そう思う」が 38.41%であり、この回答が多いことがわかり、教職科目の授業に満足している学生が多いことがわかる。しかし、4人に1人は満足していないのであり、今後は、学生全員が満足できるような授業を目指して、工夫改善を行うよう心掛ける必要がある。

教職課程科目においては、後期に調査した今年度は、一昨年(後期調査)とほぼ同じ平均値であり、前期に調査した昨年よりも平均値が向上する傾向がみられた。これは満足度の調査と同様のことが言えよう。

の『授業の内容や進め方について』の1「授業の狙いの明確さ」(4.21)、3「講義要項に沿った授業」(4.21)、5「声の大きさ」(4.15)、6「教材等の効果」(4.11)、7「学習環境の雰囲気」(4.28)、9「理解しやすさ」(4.01)、10「見方・考え方が深まる」(4.02)などは平均値が4以上であり、全体的に見れば授業は適切に行われていると判断できる。

しかし、『受講する姿勢や動機について』の3「予習・復習」をするかについては59.27%の学生が「しない」と答え、5「質問に行く」は74.12%の学生が「行かない」と答えており、このことを踏まえた教員側の積極的な働きかけが、今後の授業改善に結びつくものと考えられる。

このことを強く意識しながら一層の授業改善に努めたい。

(2) 社会教育主事講座について

今年度の社会教育主事講座は学生アンケートの対象講座がなかった。

(3) 日本語教員養成基礎講座について

今年度の「授業改善のための学生アンケート」を見ると、例年通り授業内容、満足度など授業に関するほとんどの項目において評価が4.0～4.5となっており、他の講義科目に比べ高い評価を受けていることがわかる。

その他の項目について、今回、社会主事講座は授業評価が行われなかったため、教職課程と比較してみると、I-4「受講動機」の項目では、教職課程では「単位が必要」が73.0%であるのに対して日本語教員養成基礎講座は31.8%と圧倒的に低いことがわかる。これは、前者が教員免許であるのに対して日本語教員養成基礎講座が教員資格認定講座であるためと思われる。このことは「時間帯が空いている」が、前者が10.7%で、後者が53.0%と圧倒的に高くなっていることからわかる。どうしても取らなければならないという強い

動機はなく、単に時間が空いているからという程度のもので、残念ながら受講の動機は低いと言わざるを得ない。ただ、「講義への興味」を見ると、教職課程が 3.6 %であるのに対して逆に日本語教員養成基礎講座は 10.6 %とほんの少し高くなっていることがわかる。これは、時間が空いているので、外国人に対する日本語教育とはどんなもんかちょっと覗いてみようかということであろう。このことから日本語教員養成基礎講座の受講者は、特に強い動機を持って受講しているわけではなく、時間的にちょっと余裕があるので、外国人に対する日本語教育とは、どのようなものであるのかという未知のものへの好奇心から受けてみようという者が多いということがわかる。「予習・復習」をする者も教職課程の 1.63 と同様 1.50 と同様に低い評価になっているが、これは大学全体の平均値に近い。また、「教員にひかれて」という項目を見ても、日本語教員養成基礎講座はほぼ毎年 0.0 %となっている。これは、おそらく日本語教員養成基礎講座が学生にとっては、全く未知の講座であるため、講師も未知ということであろう。ただ、動機が低いにもかかわらず、実際に受講した後の教員の講義内容に対する評価は、すでに述べたように学部の他の講義科目と比べ、非常に高いものとなっている。これは、担当教員各位の非常な努力によるものであろう。今後はさらに学生に広報などで本講座そのものについて知ってもらふ必要があるだろう。

参考資料 - 実施要領

実施要領

1. 目的

教員の授業の改善に役立てること、並びに本学の教育の質の向上を図ること。

2. 対象科目

担当科目のうち、履修登録者数の多い科目（原則として履修登録者20名以上のもの）の中から2科目程度を選択し実施する。講師（非常勤）の場合は、1科目以上とする。

専門教育及び教養教育等（教職・社教・日語を含む）の両分野の科目を担当している場合は、それぞれ1科目以上を実施する。

なお、国際学部では、従来どおり原則として全科目を対象に実施する。

3. 実施期間：平成26年11月17日（月）～平成26年12月20日（土）

（予備日：1月5日（月）～1月10日（土））

4. 実施科目の届出

教員は、実施届出用紙に必要事項（実施科目、実施日等）を記入し、学務課、八王子学務課、学長事務室のいずれかに提出する。（国際学部開設科目は、原則として全科目を実施対象とするため、届出は不要。）

5. アンケート用紙

アンケート用紙は、「講義等科目用」、「スポーツ・トレーニング科目用」、「工学部実験・実習科目用」の3種類とする。（添付のアンケート様式参照）

6. 実施当日の手順

（1）アンケート用紙及び回収用封筒を学務課・教員控室等から受け取る。

（2）授業時間の一部（30分程度）を利用し、アンケートを実施・回収する。

アンケートの回収は、受講生個人を特定できないようにするため、受講生の協力を得て行う。アンケートの実施・回収、枚数の確認・枚数記載、および封筒の厳封は受講生によって行う。

（3）回収用封筒に必要事項（アンケート枚数等）を記入し、実施日中に学務課・八王子学務課へ提出する。原則として後日提出は受け付けない。

7. 科目別集計表の作成

- (1) 集計作業は、外部の業者に委託する。
- (2) 実施科目については、科目別集計表を作成する。
- (3) 科目別集計表は、担当教員に学生が記入したアンケート用紙（自由意見欄を含む）とともに送付する。

8. 実施結果のとりまとめ

- (1) 担当教員は、科目別集計表の「科目別集計結果に対する所見」欄を作成し、学務課、八王子学務課、学長事務室のいずれかに提出する。
- (2) F D 委員会は、実施結果報告書 第 部 全体集計、第 部 科目別集計を作成する。
- (3) 各学部 F D 委員会は、実施結果を分析し、報告書にまとめるにあたって、学部、学科、コース、分野等別において授業改善のための意見交換を行い、「今後の課題」の中でいくつかの「具体的な次年度の授業改善取組方針及び実施計画」を掲げる。

実施結果報告書第 部の記載項目は、「実施状況」、「全体集計」及び「コース・分野・学科別集計」をもとに、各学部等の「評価及び課題」を A 4 サイズ 7 枚程度（11,000 字程度）にまとめる。

9. 活用方法

- (1) 実施報告書を教員に配布し、教員は自己の授業の改善に役立てる。
- (2) 各学部自己点検・評価委員会（または「F D 委員会」）においてアンケートの結果をもとに、組織的に授業改善の方策を検討する。
- (3) 学長は、アンケートの結果をもとに、必要な改善策を検討する。

以 上

アンケート様式

平成26年度 「授業改善のための学生アンケート」 講義等科目用

このアンケートは、あなたの授業担当教員が学生諸君と共に授業をより良いものにする目的で実施するものです。建設的な気持ちで、以下の問いにお答えください。

授業科目等		担当教員名	
--------------	--	--------------	--

整理番号	授業科目分類コード	教員コード	曜日	時限	期別

- （記入上の注意）
- HBの黒鉛筆（シャープペンシル）で枠内にしっかりとマークしてください。
 - この用紙は、折り曲げたり汚したりしないでください。
 - 訂正は消しゴムできれいに消してから行ってください。

学年	1年 <input type="radio"/>	2年 <input type="radio"/>	3年 <input type="radio"/>	4年 <input type="radio"/>	その他 <input type="radio"/>
-----------	-----------------------------	-----------------------------	-----------------------------	-----------------------------	------------------------------

記入例 良い例 悪い例

学科	経営 <input type="radio"/>	国語 <input type="radio"/>	会計 <input type="radio"/>	法政 <input type="radio"/>	経済 <input type="radio"/>	英米 <input type="radio"/>	中国 <input type="radio"/>	スペイン <input type="radio"/>	機械 <input type="radio"/>	電子 <input type="radio"/>	情工 <input type="radio"/>	デザイン <input type="radio"/>	国際 <input type="radio"/>	その他 <input type="radio"/>
-----------	-----------------------------	-----------------------------	-----------------------------	-----------------------------	-----------------------------	-----------------------------	-----------------------------	-------------------------------	-----------------------------	-----------------------------	-----------------------------	-------------------------------	-----------------------------	------------------------------

【選択肢の凡例】 5:強くそう思う 4:そう思う 3:どちらとも言えない 2:そう思わない 1:全くそう思わない

I	受講する姿勢や動機について	5	4	3	2	1	II-5	話し方や声は聞き取りやすいですか。	5	4	3	2	1
I-1	あなたはこの授業にどれくらい出席していますか。	⑤ 90%以上	④ 80%以上	③ 60%以上	② 40%以上	① 40%未満	II-6	教材等（教科書・配付資料・板書・OHP・パワーポイント・ビデオ）は授業内容を理解するのに有効ですか。	⑤	④	③	②	①
I-2	あなたは授業での口頭説明や板書内容などについて、ノートあるいはメモをとっていますか。	⑤	④	③	②	①	II-7	教室内は学習にふさわしい雰囲気には保たれていますか。	⑤	④	③	②	①
I-3	あなたはこの科目について、毎回どのくらい予習あるいは復習をしていますか。（h=時間）	⑤ 4h以上	④ 2h以上	③ 1h以上	② 0.5h以上	① 0.5h未満	II-8	この授業は、宿題・課題等が適切に出されていると思いますか。	⑤	④	③	②	①
I-4	この授業を受講した動機はなんですか。最大3つまで挙げてください。（ただし、この科目が必修科目である場合は、回答の必要はありません。） ⑤講義要項を読んで興味を持ったから ④教員にひかれて ③単位が必要だから ②単位取得が楽だから ①この時間帯が空いていたから	⑤	④	③	②	①	II-9	内容はよく理解できましたか。	⑤	④	③	②	①
							II-10	この授業を通じてものの見方や考え方が深まりましたか。	⑤	④	③	②	①
							III	総合的に見て、この授業に満足していますか。	⑤	④	③	②	①
I-5	授業時間以外に先生へ質問に行くこと（オフィスパワー等）がありますか。	⑤	④	③	②	①	IV	学部等設問項目	5	4	3	2	1
II	授業の内容や進め方について	5	4	3	2	1	IV-1		⑤	④	③	②	①
II-1	授業の狙いや重要なポイントは明確に示されていますか。	⑤	④	③	②	①	IV-2		⑤	④	③	②	①
II-2	授業の難易度はどうですか。 ⑤難しすぎる ④やや難しい ③ちょうど良い ②やややさしい ①やさしすぎる	⑤	④	③	②	①	IV-3		⑤	④	③	②	①
II-3	講義要項に沿って授業が行われていますか。	⑤	④	③	②	①	IV-4		⑤	④	③	②	①
II-4	授業の進度はどうですか。 ⑤速すぎる ④やや速い ③ちょうど良い ②やや遅い ①遅すぎる	⑤	④	③	②	①							

自由意見欄（自由意見欄が不足する場合は、裏面に記入してください）

○この授業で良かった点、改善してほしい点、この教室の環境（教室の大きさ・エアコン・防音・備品など）について意見や要望があれば具体的に書いてください。

○○○○○○○○○○○○○○○○○○
○○○○○○○○○○○○○○○○○○

----- 平成 26 年度 学部 設問 項目 -----

1 . 外国語学部

- 1 この授業で使う教室の大きさ、施設・備品などは適切ですか
- 2 このクラスの学生数は適切ですか

2 . 工学部

- 1 宿題や課題にどれくらい取り組んでいますか
- 2 この授業の内容について、どのくらい質問していますか
- 3 この授業で設定している到達目標について、知識や技術が身につきましたか

3 . 国際学部

- 1 授業の開始時間、終了時間は守られている
- 2 出欠はきちんととられている
- 3 授業中、学生同士の私語はない
- 4 1年生は今後進むコースを、2年生以降は所属するコースを選んでください。① 国際協力、 国際経済、 国際政治、
国際文化、 国際観光、 農業総合

(政経学部：今年度より学部設問項目を設けない)

平成26年度 「授業改善のための学生アンケート」 スポーツ・トレーニング用

このアンケートは、あなたの授業担当教員が学生諸君と共に授業をより良いものにする目的で実施するものです。建設的な気持ちで、以下の問いにお答えください。

授業科目等		担当教員名	
--------------	--	--------------	--

整理番号	授業科目分類コード	教員コード	曜日	時限	期別

〈記入上の注意〉

1. HBの黒鉛筆（シャープペンシル）で枠内にしっかりとマークしてください。
2. この用紙は、折り曲げたり汚したりしないでください。
3. 訂正は消しゴムできれいに消してから行ってください。

学年	1年	2年	3年	4年	その他
	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

記入例 良い例 悪い例

学科	経営	国語	会計	法政	経済	英米	中国	スペイン	機械	電子	情工	デザイン	国際	その他
	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

【選択肢の凡例】 5:強くそう思う 4:そう思う 3:どちらとも言えない 2:そう思わない 1:全くそう思わない

I	受講する姿勢や動機について	5	4	3	2	1	II-5	話し方や声は聞き取りやすいですか。	5	4	3	2	1		
I-1	あなたはこの授業にどれくらい出席していますか。	⑤ 90%以上	④ 80%以上	③ 60%以上	② 40%以上	① 40%未満	II-6	教員と学生との友好的なコミュニケーションがありますか。	5	4	3	2	1		
I-2	あなたは自分の健康と運動・栄養・休息に関心を持っていますか。	5	4	3	2	1	II-7	教員は授業運営に必要なリーダーシップを発揮していますか。	5	4	3	2	1		
I-3	あなたはこの授業でやる気を持って積極的に取り組んでいますか。	5	4	3	2	1	II-8	この授業は身体活動にふさわしい雰囲気には保たれていますか。	5	4	3	2	1		
I-4	この授業を受講した動機はなんですか。最大3つまで挙げてください。(ただし、この科目が必修科目である場合は、回答の必要はありません。) ⑤講義要項を読んで興味を持ったから ④教員にひかれて ③単位が必要だから ②単位取得が楽だから ①この時間帯が空いていたから						II-9	授業の内容はよく理解できましたか。	5	4	3	2	1		
		5	4	3	2	1	II-10	この授業のテーマに関する知識あるいは技術が身につきましたか。	5	4	3	2	1		
							II-11	この授業は学生生活及び健康・体力維持に役立ちましたか。	5	4	3	2	1		
							III	総合的に見て、この授業に満足していますか。	5	4	3	2	1		
II	授業の内容や進め方について	5	4	3	2	1	IV	学部等設問項目	5	4	3	2	1		
II-1	授業の狙いや重要なポイントは明確に示されていますか。	5	4	3	2	1	IV-1	履修したスポーツ種目の選択と内容はあなたの希望にそっていましたか。	5	4	3	2	1		
II-2	授業の難易度はどうですか。 ⑤難しすぎる ④やや難しい ③ちょうど良い ②やややさしい ①やさしすぎる	5	4	3	2	1			IV-2	受講した時間帯は適切でしたか。	5	4	3	2	1
II-3	授業の進度はどうですか。 ⑤速すぎる ④やや速い ③ちょうど良い ②やや遅い ①遅すぎる	5	4	3	2	1			IV-3	次年度以降、あなたの好きな「生涯スポーツ応用演習」(自由科目)を履修したいですか	5	4	3	2	1
II-4	説明は分かりやすいですか。	5	4	3	2	1					5	4	3	2	1

自由意見欄(自由意見欄が不足する場合は、裏面に記入してください)

○この授業で良かった点は、なんですか。

○この授業で改善してほしい点があれば書いてください。

○この教室の環境（アリーナ・グラウンド・トレーニングルーム・更衣室・シャワールームおよび用具＜ボール・ラケット等＞）について意見や要望があれば具体的に書いてください。

アンケートへのご協力、ありがとうございました。

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○
○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

平成26年度 「授業改善のための学生アンケート」 工学部・実験・実習科目用

このアンケートは、あなたの授業担当教員が学生諸君と共に授業をより良いものにする目的で実施するものです。建設的な気持ちで、以下の問いにお答えください。

授 業 科目等		担 当 教員名	
--------------------	--	--------------------	--

整理番号	授業科目分類コード	教員コード	曜日	時限	期別

- (記入上の注意)
1. HBの黒鉛筆(シャープペンシル)で枠内にしっかりとマークしてください。
 2. この用紙は、折り曲げたり汚したりしないでください。
 3. 訂正は消しゴムできれいに消してから行ってください。

学 年	1年 <input type="radio"/>	2年 <input type="radio"/>	3年 <input type="radio"/>	4年 <input type="radio"/>	その他 <input type="radio"/>
------------	-----------------------------	-----------------------------	-----------------------------	-----------------------------	------------------------------

記入例 良い例 ● 悪い例

学 科	経営 <input type="radio"/>	国 語 <input type="radio"/>	会 計 <input type="radio"/>	法 政 <input type="radio"/>	経 済 <input type="radio"/>	英 米 <input type="radio"/>	中 国 <input type="radio"/>	ス ペ イ ン <input type="radio"/>	機 械 <input type="radio"/>	電 子 <input type="radio"/>	情 工 <input type="radio"/>	デ ザ イ ン <input type="radio"/>	国 際 <input type="radio"/>	其 他 <input type="radio"/>
------------	-----------------------------	-------------------------------	-------------------------------	-------------------------------	-------------------------------	-------------------------------	-------------------------------	-------------------------------------	-------------------------------	-------------------------------	-------------------------------	-------------------------------------	-------------------------------	-------------------------------

【選択肢の凡例】 5:強くそう思う 4:そう思う 3:どちらとも言えない 2:そう思わない 1:全くそう思わない

I	受講する姿勢や動機について	5	4	3	2	1	II-3	授業の進捗はどうか。 ⑤速すぎる ④やや速い ③ちょうど良い ②やや遅い ①遅すぎる	5	4	3	2	1
I-1	あなたはこの授業にどれくらい出席していますか。	⑤ 90% 以上	④ 80% 以上	③ 60% 以上	② 40% 以上	① 40% 未満	II-4	説明は分かりやすいですか。	5	4	3	2	1
I-2	あなたはこの授業のために事前準備を行っていますか。	5	4	3	2	1	II-5	話し方や声は聞き取りやすいですか。	5	4	3	2	1
I-3	あなたはこの授業のレポート作成にまじめに取り組んでいますか。	5	4	3	2	1	II-6	教材等(実験機材・教科書・配付資料・板書・OHP・パワーポイント・ビデオ・模型)は授業内容を理解するのに有効ですか。	5	4	3	2	1
I-4	あなたの受講態度(遅刻状況、授業への集中度、私語の有無などの総合評価)はどうか。 ⑤非常に良かった ④良かった ③普通 ②悪かった ①非常に悪かった	5	4	3	2	1	II-7	教材(実験機材・テキスト・配付資料・OHP・ビデオ・模型など)の使用は適切ですか。	5	4	3	2	1
							II-8	教室内は学習にふさわしい雰囲気には保たれていますか。	5	4	3	2	1
II	授業の内容や進め方について	5	4	3	2	1	II-9	授業の内容はよく理解できましたか。	5	4	3	2	1
II-1	授業の狙いや重要なポイントは明確に示されていますか。	5	4	3	2	1	II-10	この授業のテーマに関する知識あるいは技術が身につきましたか。	5	4	3	2	1
II-2	授業の難易度はどうか。 ⑤難すぎる ④やや難しい ③ちょうど良い ②やややさしい ①やさすぎる	5	4	3	2	1	II-11	この授業を通じてものの見方や考え方が深まりましたか。	5	4	3	2	1
							III	総合的に見て、この授業に満足していますか。	5	4	3	2	1

自由意見欄(自由意見欄が不足する場合は、裏面に記入してください)

○この授業で良かった点は、なんですか。

○この授業で改善してほしい点があれば書いてください。

○この教室の環境(教室の大きさ・エアコン・照明・防音・備品など)について意見や要望があれば具体的に書いてください。

アンケートへのご協力、ありがとうございました。

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○
○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

科目別集計様式

平成26年度「授業改善のための学生アンケート」科目別集計表（スポーツ・トレーニング科目用）

整理番号	1-E-****		****		****		****		****		****		****		****		****							
	実施年月日	****/****/****		****		****		****		****		****		****		****		****						
		年	1年	2年	3年	4年	その他	学科	経営	国	比	会計	法政	経済	英米	中国	スベ	機械	電子	テザ	国際	その他	回答者	随修者
学年		*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*
件数		*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*

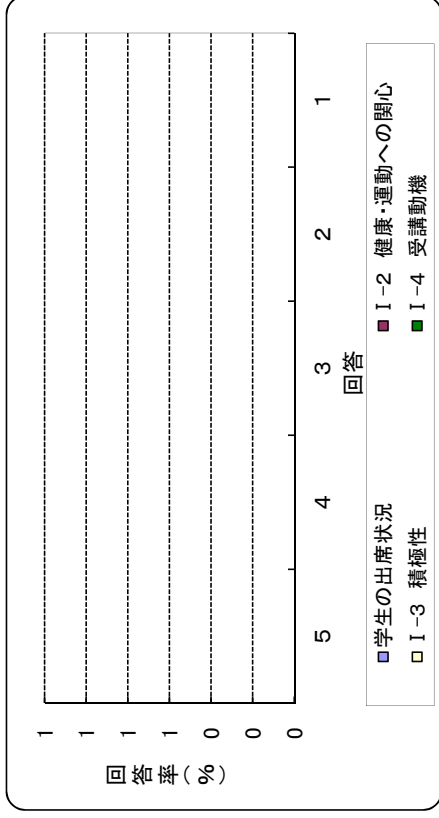
1. 各設問の回答の分布・標準偏差・平均値

設問項目	有効回答数		エラー一件数		標準偏差		全体平均値		注	参照
	5	4	3	2	1	1	2			
I-1 学生の出席状況	*	*	*	*	*	*	*	*	-	-
I-2 健康・運動への関心	*	*	*	*	*	*	*	*	-	-
I-3 積極性	*	*	*	*	*	*	*	*	-	-
I-4 受講動機 (複数回答)	*	*	*	*	*	*	*	*	-	-
II-1 狙いの明確さ	*	*	*	*	*	*	*	*	-	-
II-2 難易度	*	*	*	*	*	*	*	*	-	-
II-3 進度	*	*	*	*	*	*	*	*	-	-
II-4 説明方法	*	*	*	*	*	*	*	*	-	-
II-5 声の大きさ	*	*	*	*	*	*	*	*	-	-
II-6 学生とのコミュニケーション	*	*	*	*	*	*	*	*	-	-
II-7 リーダーシップ	*	*	*	*	*	*	*	*	-	-
II-8 授業の雰囲気	*	*	*	*	*	*	*	*	-	-
II-9 理解しやすさ	*	*	*	*	*	*	*	*	-	-
II-10 知識・技術が身につく	*	*	*	*	*	*	*	*	-	-
II-11 健康・体力維持に役立つ	*	*	*	*	*	*	*	*	-	-
III 満足度	*	*	*	*	*	*	*	*	-	-
IV-1 希望科目	*	*	*	*	*	*	*	*	-	-
IV-2 時間帯	*	*	*	*	*	*	*	*	-	-
IV-3 次年度の履修希望	*	*	*	*	*	*	*	*	-	-

注) 平均値: 授業の出席率が90%以上の学生による回答

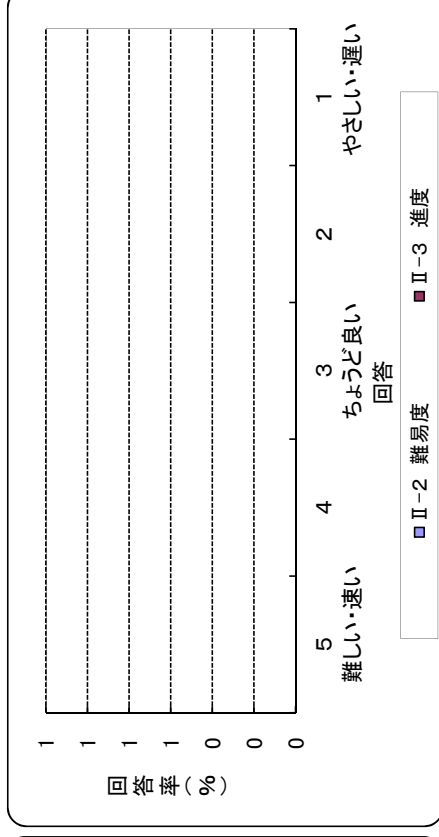
【選択肢の凡例】 5: 強く思う 4: そう思う 3: どちらとも言えない 2: そう思わない 1: 全くそう思わない

2. 受講する姿勢等について(回答の分布)

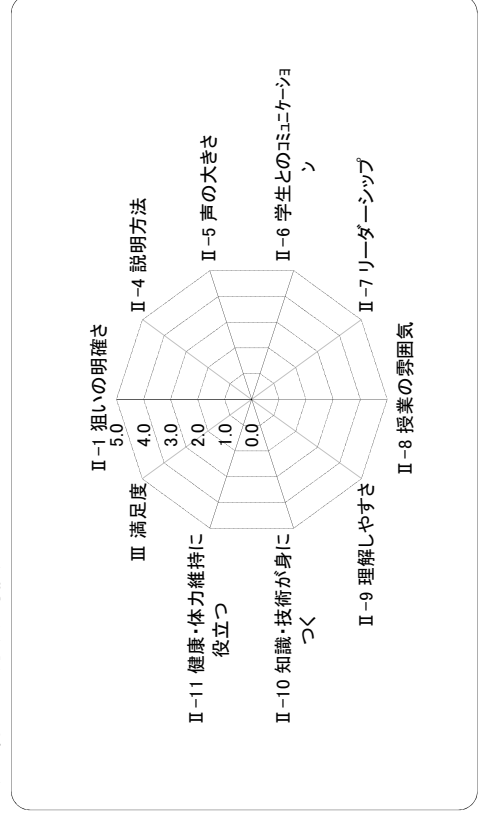


3. 授業の内容や進め方

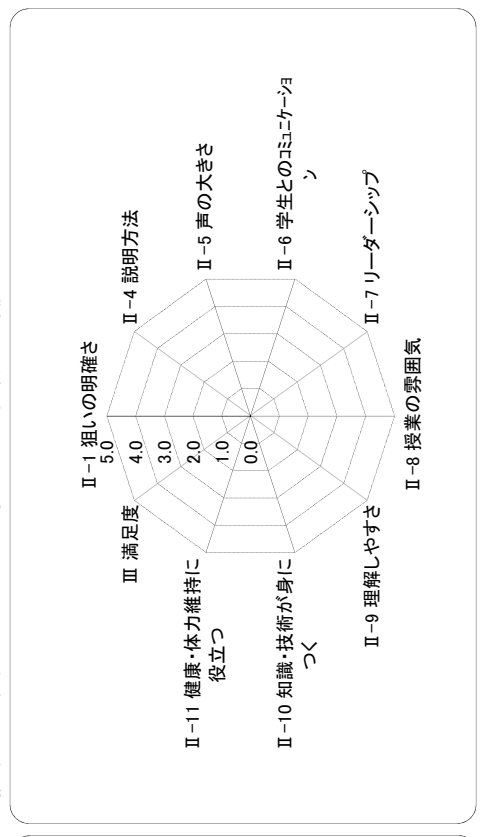
1) 難易度・進度(回答の分布)



2) 内容・進め方(平均値)



3) 授業の出席率が90%以上の学生による回答(平均値)



所属	**学部	身分	フリガナ	****	****	****
所属コード	***	身分コード	担当教員名	****	****	****
			教員コード	**	**	**

科目別集計に対する担当教員の所見

1. 自由意見欄での主な要望・指摘

--

2. 科目別集計及び自由意見欄に対する担当教員の所見

--

3. 改善に向けた今後の取組方針

--

※字数は問いませんが、各項目の枠内に収まるように記入してください。

平成26年度「授業改善のための学生アンケート」科目別集計表（工学部・実験・実習科目用）

整理番号	1-E-****		科目名		*****										科目コード	****																
	****/**/****	教室コード	****	****	キャンパス	****	曜日	*	時限	*	期別	**	科目分類	****																		
実施年月日	1年	2年	3年	4年	その他	学科	経営	国	会	法	政	経	済	英	米	中	国	ス	ペ	機	械	電	子	情	工	予	ザ	国際	その他	回答者	履修者	
学年	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*
件数	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*

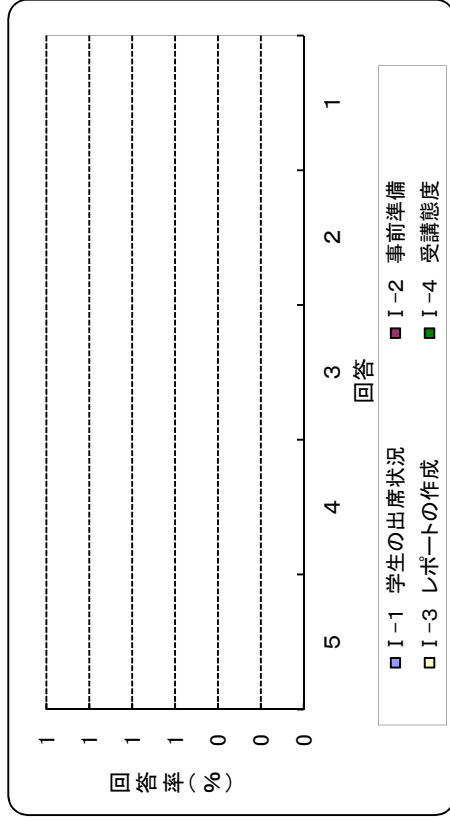
1. 各設問の回答の分布・標準偏差・平均値

設問項目	有効回答数					標準偏差	全体平均値	注)参照
	1	2	3	4	5			
I-1 学生の出席状況	**	*	*	*	*	-	-	-
I-2 事前準備	**	*	*	*	*	-	-	-
I-3 レポートの作成	**	*	*	*	*	-	-	-
I-4 受講態度	**	*	*	*	*	-	-	-
II-1 狙いの明確さ	**	*	*	*	*	-	-	-
II-2 難易度	**	*	*	*	*	-	-	-
II-3 進捗	**	*	*	*	*	-	-	-
II-4 説明方法	**	*	*	*	*	-	-	-
II-5 声の大きさ	**	*	*	*	*	-	-	-
II-6 教材等の効果	**	*	*	*	*	-	-	-
II-7 教材の適切性	**	*	*	*	*	-	-	-
II-8 教室内の雰囲気	**	*	*	*	*	-	-	-
II-9 理解しやすさ	**	*	*	*	*	-	-	-
II-10 知識・技術が身につく	**	*	*	*	*	-	-	-
II-11 見方・考え方が深まる	**	*	*	*	*	-	-	-
III 満足度	**	*	*	*	*	-	-	-

注)平均値:授業の出席率が90%以上の学生による回答

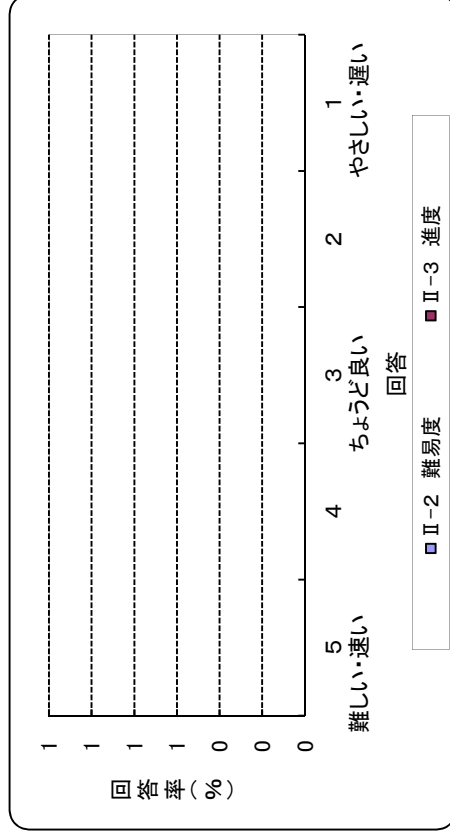
【選択肢の凡例】 5:強く思う 4:そう思う 3:どちらとも言えない 2:そう思わない 1:全く思わない

2. 受講する姿勢等について(回答の分布)

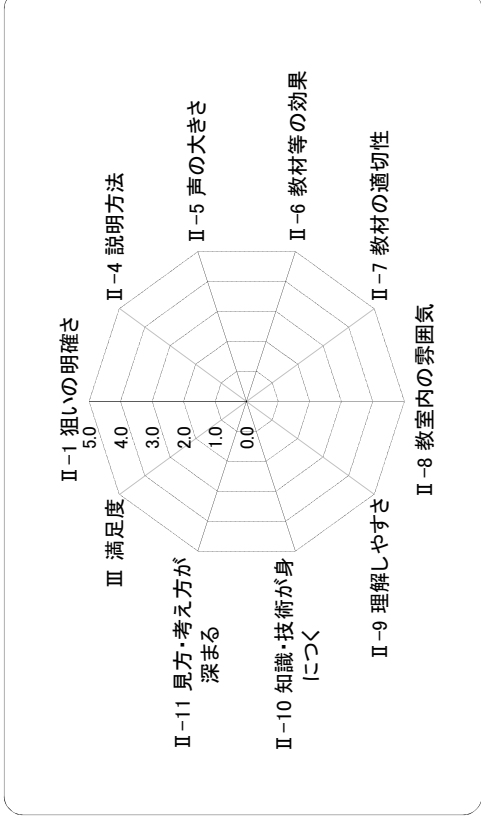


3. 授業の内容や進め方

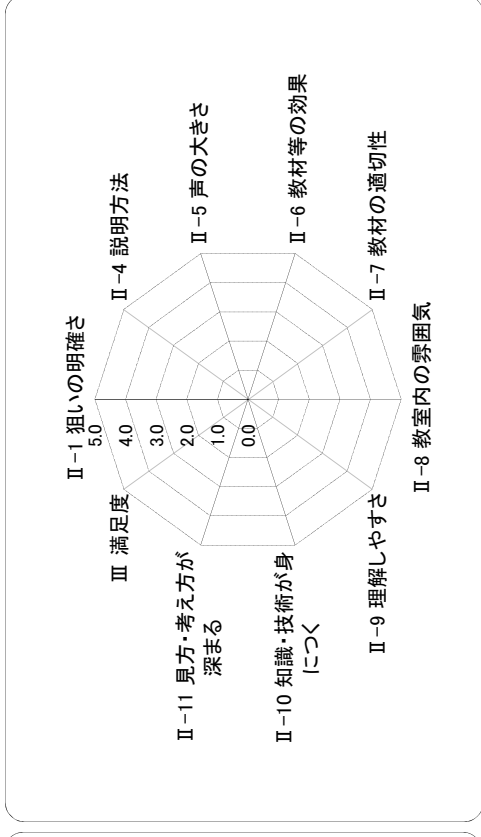
1) 難易度・進捗 (回答の分布)



2) 内容・進め方(平均値)



3) 授業の出席率が90%以上の学生による回答(平均値)



所属	**学部	身分	****	フリガナ	****
所属コード	***	身分コード	**	担当教員名	***
科目別集計に対する担当教員の所見				教員コード	****

1. 自由意見欄での主な要望・指摘

2. 科目別集計及び自由意見欄に対する担当教員の所見

3. 改善に向けた今後の取組方針

※字数は問いませんが、各項目の枠内に収まるように記入してください。

平成26年度
授業改善のための学生アンケート報告書
- 全体集計 -

第 部

平成27年3月発行

編集・発行 拓殖大学 F D委員会

〒112-8585 東京都文京区小日向3丁目4番14号

電話 03 - 3947 - 7299 (学務部 学長事務室)